臺灣日日新報 夕刊
八月二十五日
夕刊定價一部一錢
發行兼編輯人 前野 節君
發行所 臺北市榮町四丁目三十二番地 臺灣日日新報社
大阪支局 東京支局

内田外相、兩院に於て 堂々滿洲對策を披瀝

支那政府の反省を求む

【東京二十五日發電通】二十五日の議會に於いて内田外相のなせる外交演説要旨左の如し

恒久平和の爲 滿洲國を承認

滿洲國が益々健全な發達を遂げしつゝあるは同慶の至りである、帝國政府は新國家に對する承認を以て滿蒙の事態を安定し引いて極東の恒久的平和招來の唯一の方法と認むるものである、從つて政府は速かに滿洲國を正式に承認する決意の下に目下著々準備を整へつゝあり右滿洲國及び支那の不日承認斷行の筈である

新國家は不戰條約に觸れず

抑も近年極東に於ける國際關係惡化の主要原因は支那の混亂と其の革命外交の遂行に存し列國權益を侵して來たのである然るに之が糾正を要求し其他の不和關係に求むることの至難なるは支那の事情を知るものゝ首肯し得る所で滿洲事變も實に我方の正當防衛の發動に外ならぬのである、然るに之をもつて不戰條約違反なりとの說をなすものあるも同條約は自衛權の行使を制限するものにあらずその事實に即せざる謬論なること言を俟たず、右日本の自衛行動に依り張學良政權は潰滅的解消を見るに至り、然も滿洲人士は張家の惡政を忌避し決然起つて新國家を創建するに至つたので、即ち滿洲國の成立は支那本部に對する獨立運動の結果に外ならぬ、然るに斯くして成立せる新國家に對する帝國の承認をもつて九國條約違反なりと主張するものあるも九國條約は前述の如き支那の分離作用即ち支那の一地方の住民が自己の發意に依つて獨立國を建設することを禁止するものではない、從つて日本の滿洲國承認は同條約に抵觸することはないのである、又帝國が滿蒙に何等の領土的意圖を有せざるは多言を要しない

滿蒙諸問題の根本的解決案

更に政府が滿洲國承認をもつて滿蒙問題解決の唯一の方法と認むる所以を述べんに政府は左の二點に即して問題の根本的解決を圖る要あることを痛感するものである

一、その住民の正當なる要望が滿され且つ日本の權益が確保さるると共に同地に内外人安住の樂土を築き極東不和の禍根を剷除す

一、感情論、抽象論を排し滿蒙に於ける現實を基礎として同國の解決を期すること

然るに近時支那本部政權を何等かの形式に依り滿蒙に關係せしむることとし以て一時を糊塗せんとする解決案を考慮する向あるも之は結局滿洲に紛爭禍亂の情態を繰返す結果に終るべきこと多年經驗に徵し疑ひなき所で日本の斷じて承認する所にあらず

滿洲國の前途 實に洋々たり

又支那本部政權の滿蒙返還は滿洲國人の容認せざるべきことは火を見るよりも明らかである、之に反し滿洲國は建國宣言對外聲明等に於て極めて公正妥當な政策を掲げ殊に對外關係に就ては條約の義務履行、門戶開放其他正義と平和と親善とを主とし又その實行の誠意を有するものと認めらるる次第である、從つて之を承認し之を援助することは即ち現實の事態に基いて滿蒙に樂土を築く所以であつて、之實に滿蒙問題の恒久的解決を齎らす唯一の方法である、滿洲國にして此の外國の確實な精神を發揮し努めて已まざれば其の前途實に洋々たるものがある、唯眼前の障害、財政難を過大視するものあるも斯かる悲觀說には賛成出來ぬ、余は必ずや滿洲國が健全なる發達を遂げ支那本部更生の好模範とならんことを期待する

此際支那政府の反省を望む

支那本部は内政紛亂、共匪跳梁國民政府の前途に暗影を投じ然も排外排日止まず列國との關係紛糾を豫想されその結果國内の紛亂を助長すべく之に伴ふ國民の窮苦は同情に堪へぬ、支那が今之を反省し誤まれる對外政策を放棄し内政の整理に努め以て日滿支三國が各獨立國として相協り相援け世界平和に貢獻する日の一日も早からんことを望んで已まない

内相糺彈の聲 政友内に起る

人事問題に關して

【東京二十五日發電通】政友會内に永井拓相派動の聲高き際、更に山本内相糺彈の聲が擡頭し政務次官問題その不信任案を提出すべしと強硬に主張してゐる、山本内相糺彈派は樺太長官時代刑事事件を惹起した某氏を大阪府知事に任命したからである

臺米陳情委員 關係各方面歷訪

『統制圏外に置け』と陳情 三氏の負傷は心配なし

臺灣米統制反對陳情のため上京した陳情委員から二十四日夜十時木村苑左の電報があつた

昨日以來各方面を歷訪し臺灣米の使命と特質を述べ統制圏外に置かれたしと述べ臺灣米の植民地米統制については相當理解ある對策を攻究せられん旅を切望する旨を陳述し總督これを諒としたるをもつて吾らは直に民政黨本部に若槻總裁を訪問したるも留守のため衆議院に轉つて面會を求め總裁に代つて松田總務は武富總務と共に吾らの陳述を詳細に聽き臺灣米については拓務省にある時よく研究して承知してゐる、政府が如何なる案を提出するか判らぬが諸君の理由とする所を充分に收用して盡力する、との回答を得一同大いに喜び午前十一時大藏省に大臣を訪問したるも面會出來ず堀切政務次官代つて面會す吾らは『米穀統制案が全國的なれば勢ひ植民地米も取上げとなる故

豫算内示會

衆議院の各派代表を招いて永田町首相官邸に於て行はれた（寫眞は說明してゐる齋藤首相）

齋藤内閣が第三次臨時議會に提出すべき時局匡救豫算及びそれに關聯する諸法案を說明する豫算内示會は二十九日午後四時より

素晴らしい性能の 獨逸製飛行機

我が軍部で購入に決定

【立川二十五日發本社特電】陸軍航空本部技術部では獨逸ユンカース會社から近くユンカー K四七複座戰鬪機一臺を購入する計畫である同機は金屬製、米穀統制案を全金屬製で自重千五十瓩全備重量千六百三十五瓩、發動機はペガサス十一型、エフ一型五百七十馬力を裝備し時速二百九十二粁最大速力三百十五粁の性能を有し五千九百米の上空でも三百三粁のスピードが出るその半面に一萬百米の上空に上昇し得ると言ふ素晴らしい性能を有してゐる當局は語る

コンカー型四七複は戰鬪機中の所謂右翼で英國のフオツカー、ハード、佛國西のブレリエの四機と共に世界的優秀な戰鬪機とされてゐる軍部でこれを購入するか如何かまだ正式に決定してゐない研究機として是非備へたいと思ふ

陸戰隊巡邏兵を 虹口路方面に配置

上海の排日テロ防止で

【上海二十四日發電通】帝國海軍陸戰隊本部では二十四日から虹口路方面に巡邏兵を配置する事に決定し日本人に對する營行為及排日テロが虹口路方面の日本人にも及ばんとする形勢あり、陸戰隊は二十四日一時から小兵を日本電信等一の報告頭紙的手段を執るに決し午後陸戰隊は兵を配し兵の配置を終へ治安維持に努めてゐる旨發表人に安心せしめよと說明した

明年シカゴで 世直し博覽會

日本も參加に決定

【東京二十五日發本社特電】萬國博覽會は來年六月一日シカゴで開催される事になつたがこれは世界的不況打開を目的とする世直し博覽會で豫算は二千五百萬ドル、今の爲替では一億圓である目下全世界に向つて出品を勸說中であるが對日本代表アルバート・ド・ピー博士は去る十七日來朝、各產業團體に參加を求め其他諸計畫を說明した結果、牧野忠篤子を會長とするシカゴ博覽會出品協會が成立し二十四日正午帝國ホテルで會合、同博士より日本側の覺悟を求めた

博士は語る

從來世界博覽會は西洋方面に片寄り東洋方面の出品物は附屬物のやうに取扱はれた今度は東洋殊に極東の出品を盛んにしたいと言ふので私がての任に當つた日本が大いに骨を折つてくれないとオリムピツク以來アメリカは日本に注目してゐる

世界經濟會議で 銀價回復を審議

米大統領から聲明

【メールトレーキシテイ（ユタ州）廿三日發聯合】今秋聯盟主催で開かれる世界經濟會議に銀價回復問題が上程されるや否や、米の銀產地の中心たる當地では特に重大視されてゐるがフーバー氏は廿三日上院財政委員長スムート氏に經濟會議では銀問題を議題とすと代表中には銀問題の權威者を選出する旨正式に言明した

金一匁十圓

高雄地方の昂騰ぶり 買占もあるらしい

【高雄電話】金が昂騰したので高雄地方も騰貴が盛んに行はれてゐるが現在の相場は匁り一匁十圓、前が八圓六十錢見當で市内金銀細工商の中では高値を見越して相當買占めたものもある模様である

澎湖に於ける 巡視日程

總督は二十七日 馬公著

【馬公特電二十四日發】中川總督の澎湖初巡視は豫定の通り二十七日より行ふ筈であるが澎湖廳作成の巡視日程は左の通りである

△二十七日午後五時馬公著（定期船湖北丸）第二棧橋上陸直ちに澎湖神社參拜、五時十五分澎湖廳著、官民接見、廳長狀況報告（この間十五分）同六時十五分から廳會議室に於て總督招待の茶話會、六時十分總督は松島記念館別館に入り投宿△二十八日午前七時記念館發馬公郵便局、觀音亭

知事、部長 水害狀況視察

中瀨臺北州知事は二十五日午前七時半から、上野地方課長、三上文書課長隨へ臺北市内の罹災たる某用地被害狀況を視察し正午歸廳したが更に同元内務部長は前田土木課長を隨へ同様被害の現場を詳細に視察した

クールベー碑、陸軍墓地參拜、八時五十分要港部著訪問九時三十分要港司令部著訪問、同十時五分要港司令部發、同五十五分記念館發、同十時四十分馬公街役所發文石書院を經て馬公街視察、ここに於て三浦街長報告、同二十分記念館著、同五十五分記念館休憩第二棧橋より乘して十一時三十分高雄に向け發、臺灣務課長は臨時代理として二十五日馬公發高雄迄總督一行を送る筈

税金の納期を 本月末迄延長

臺北州で告示

本年度前半期の戸稅臨時附加稅の納入期は二十五日までとなつてゐたが臺北市内は二十三日來の暴風雨のため其の淨化米に多忙を極めてゐるので臺北州では本月三十日迄納期を延長することとなつた

米棉新高値 に昂騰

【ニユーヨーク二十四日發電通】米棉市場は新棉生育狀況不良に拍車をかけられた賣手の手控へりに目覺ましい昂騰を續け、現物先物各限を通じ全部八仙臺に押し上げ、昨年來の新高値の後現物五十ポイント高の八仙三十、先物四十七ポイント至五十ポイント高（新値二圓九十錢）高と引けた

紐育株式好調

【ニユーヨーク二十四日發電通】二十四日のニユーヨーク株式市場は鐵道の貨物輸送高增大の報に鐵道株一二三ポイントまでの高値を誘ひに諸株暴騰を示した、然し手仕舞ひは時々利喰に出會ふ稍に軟調を示した、引値は稍高かつたが二十四日の大勢は之までの續上りを留める位のものであつた、スチールは四十五弗八分の五と八分の六高に引けた

屋根を剝がれ 三百袋雨濡れ

廿四日の潮から夜へかけての大暴風雨の爲め、大稻埕構内にある米原利用組合所有倉庫の屋根吹き飛ばされ、雨水侵入して在庫米の中約三百袋をぬらした、米穀商組合長黃金來、理事黃水鏡氏は倉庫借人、應急策其の他の對策につき朝早くから大騒ぎを演じて居る

このに時局解決の途中ため總督府出張所に引揚げの途中、某氏勤前にて自動車衝突し蔣大江氏約一週間、第延陵氏三日間の傷を負ひ日北谷病院に入院し林熊徵氏は既に丸の内ホテルにて靜養中である、蔣大江氏は顏面に二針の縫傷と他は胸部打撲なるも何れも元氣にて心配なし

この場合には特別會計法の改正により内地米買上げと同じ方法をもつて中央政府において買上げの手續を願ひたし」と陳情したるに次官は

また關係者より正式に何らの要求がないから陳答は出來ぬが陳情の理由は充分聽いておく

との回答であった

歸途 元總督府總務長官た

人事

▲三好德三郎氏 二十五日神戸發大和丸に乘船二十八日歸臺する

無絃琴

「流水河岸に滲み浸透臨んだ」と澎湖の淡水河岸の石堤が決潰したことと▲ゴンドラの女給が浸水街花したことを殘骸をもとに見ると何の事かツエー・ゴンドラの女給を可愛想な。カツフェーらしい氣分を出させてゐたものだ、一昨年の出水の時も萬華河岸の料理は此んだり倒壞したりした、街の花が出し物に湯分の宜い川邊の商場には被害も多いやうだ▲北部の暴風雨と出水とでは何れも大小の被害がいふ、馬公から第二十五號遂艇の來航に當つて株式でもないことを……と聞いて見ると

その日その日

○
臺灣北部も大暴風雨に水害、人畜に相當の死傷あり、之で天災も南中北一巡、無かつたのみなしだ
○
暴風の豫報は早くから注意して用意するが宜い、ゴンドラの様に人間諸共流失して了つてはおしまひ
○
天災と一口に云つて了へばソレまでだが「安全第一」に留意し平素から用意して置くと大分違ふ
○
「米の代表」中の三名が東京で自動車に衝突、小傷、命は恙ないお氣の毒
○
蘇芳相の不愼もある様だがコレ以上に今は出來ないと蘇氏は大蘇
○
この對策で臺灣の財政が出來ればコレに越した事はない、今となつては之でやつて見る外ない
○
砂糖や生産の現況で一寸人氣が出る、諸株もピンと跳ねる
○
政界を見越し投資物による時局政策をメドとしての買ひ煽りだらうが、思い入れ通りにはならない
○
民政黨の某々氏は上ツギリ流の傾向を顧るも、どうしたのだ

商況（廿五日）

正米市場 前場休場

立會場破損で

正米市場組合では立會場の屋根が剝れ顧客一同感を呈してゐるが二十五日前場は遂に臨時休業するのやむなきに至つて居る、但し後場からは平日通り立會をなす筈である

米況

大阪期米

	前場 寄	中	引
一節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京期米

	前場 寄	引
當	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]
安	[illegible]	[illegible]

神戸期米

	前場 寄	引
當	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]
安	[illegible]	[illegible]

株式

大阪短期

	前場 寄	引
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
日鐵	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
淺野	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
日毛	[illegible]	[illegible]
東電	[illegible]	[illegible]

大阪長期

	前場 寄	引
大株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
日鐵	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]

東京短期

	前場 寄	引
東新	[illegible]	[illegible]
日鐵	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
日日	[illegible]	[illegible]

東京長期

	前場 寄	引
鐘紡	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
東電	[illegible]	[illegible]

日清紡	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
臺銀	[illegible]	[illegible]
臺拓	[illegible]	[illegible]
日本米	[illegible]	[illegible]
酒	[illegible]	[illegible]

火の鳥（174）

加能作次郎作　石塚輸畫

ネオン・サイン（九）

暫らくそんな風にして、とりとめもない話をしてゐた。その中十二時を打つた。

「さあ、もう寢ようか」と貢夫が言つた。

「はい、ではお寢みになりますか。」

お絹は、珍らしく訊ねた。

「もう十二時だからな、お前眠いだらう。」

「いいえ、ちつとも。」

そして一寸間を置いてから、お絹は自ら否笑して。

「私、さつき居眠りをしてゐたのでございますよ。」

だから眠くないといふ意味なのである。彼女はまだ何か云ひたさうにしてゐた。

見ると、隣家の屋根の上高く澄みひかぶさつた松の梢越しに、形の崩れた二十日過ぎの下弦の月が、淡く懸つてゐる。

「ああ、いい月ね。」

「ようございますわね。」

「ああ、静かだな。」

「それに靜かですこと。」

貢夫は上の空で言つた。眼は空の月に向けられてゐたが、その心は、鈍感にも、彼をその肩、首の邊りに支へながら、自然の光に浸つてゐる雨戸の横に倚つて立つてゐる、お絹のふくよかな肉體の上に注がれてゐた。

お絹は無心に月を眺めてゐるやうな風を裝ひながら、ちつと身動きもせずに立つてゐる。そして時々、故意に自分の上に倚はれかかるらしい貢夫の身體を、その背や肩のあたりに感じながら、その快さに、それとなく後へ押し返すやうにした。

快よい緊張と抵抗――二人は交互にそれを感じながら、やや暫らくさうして立つてゐた。瞬とらしい、小さな深い嘆息と、微ましげな深い吐息とが入り亂れた。

「さあ、寢やう。」

「はい。」

お絹は靜かに戶を締切つた。そして最後に下のサルをおろして、貢夫はいきなり、背後から兩手を彼女の兩腕を伸ばした刹那に、その肩にかけた。

一時し彼は強く抱きすくめやうともせず、却つて恐る恐るのやうに左手でお絹の肩先をおさへ、右手をそつと腕の上に置いた。

「あら、いけません。」

お絹は口の中で囁きながら、急にそこに崩れ落ちるやうに身を折り曲めに、けれども彼女は、強いてそれを振り退けやうとするよりも、一寸暫く自分の脇の上に打ちつけやうとするかのやうだつた。

ゐたいといふやうな様子だつた。

「さうかい、俺も今夜はちつとも眠くないけれど……だが、お前もう寢てお寢よ。朝が早いんだから な。」

「はい。旦那様は？」

「うむ、俺ももう今夜はこの眠氣も冴えてゐるけれど、もう酒の氣もなくなつたしるよ。」

貢夫は夜中の一時二時頃まで、讀書してゐることは珍らしくないのだつた。殊に千代子の死後は、眠られぬ夜の孤獨の寂しさをまぎらす爲か、殆ど毎夜のやうだつた。

「では、雨戶お締めしませう。」

さう言つてお絹は立上つた。

その間に貢夫は便所へ行つたが、戾つて見るとお絹は、まだ戶袋の所を一尺ばかり開け殘して、その間からぼんやりと外を眺めて居たわ。

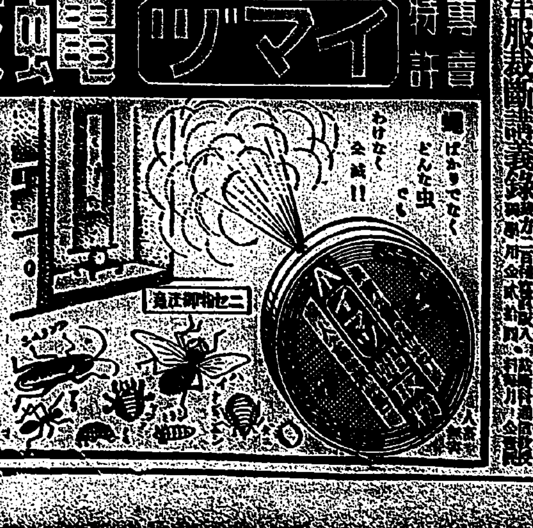
「今時分にお月様が出て參りましたわ」

彼女は顏だけ振向けて貢夫に言つた。

「さうかい？」

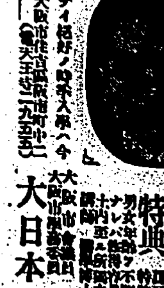
貢夫はお絹の背後に來るやうに立つて、その肩越しに東の方の空を見上げた。

「ほんにな」



洋服 黑セル 上衣A四圓・B五圓
白セル ズボン A四圓 B六圓
白ポプリン A三圓 B六圓
セルズボン A四圓
オーバー A三圓 B八圓
洋服裁斷講義錄
財團法人 大阪洋服學校
大阪中之島

月やく
「流下の最良手當法」
不安なとまりで御心配の方、他の無効藥に失敗しお困りの方に夜ぬる時に飲むだけで流下する……
奈良市小西町 松葉ゑん



▲一生安心ナ新職業
他デ絶對マネノ出來ナイ
專賣特許 NY電療術
實地短期講習生募集
特典
大阪市住吉區阪南町中二ノ今
大日本電醫學校

秋冬 メリヤス 在庫豐富
大阪市東區南久寶寺町四丁目
卸問屋 岡本龜之助商店

ネクタイ ヅボン吊 皮バンド カフスボタン ガーターカラー 卸
製造業 秋物冬物品揃 カタログ送呈
石田作治郎

萬十錢均一品 卸商
約千點在庫品豐富
新荊銭型出來
大阪市東區久寶寺町
鈴木光雲堂

惨たり、颱風一過の跡！

南署から注意したが 聴入れぬゴンドラ主人

「ゴンドラの慘事に付南署側の談

第二水門の溺水ゴンドラの沈没事件に關し南署では左の如く語つてゐる

× ×

「第二水門外の危險なことは前よりも知つてゐたので二十四日午後二時頃古亭町派出所より電話で注意するとゴンドラの主人は「前の繋留に頑丈な方法を用ゐてゐるから大丈夫です」と語つてゐたが危險は益々加はつて來るので再度注意すると「女は全部避難させ、男四人が船に殘つてゐるが之も何時でも避難出來るやうに用意してゐるから」との事であつた、五時半頃[illegible]部補が現場に行つた時には既に電話は不通となつて居り新莊方面から吹きつける風はものすごく

波浪高く [illegible]して話は全然聞きとれない、仕方なく[illegible]く主人と話をしたが船に殘つてゐる者は四、五人のやうであつた、[illegible]を向けると未だ他に人があるやうであるので電力會社に交渉して電燈を點じ救ひ出方に努力したが遂に救ひ出すことが出來なかつたものである

上れと勸められても 呑氣に構へた女給連

新調の靴や服に氣取られて ゴンドラの主人と女給の話

ゴンドラから辛うじて岸に泳ぎついた主人の杉本三[illegible]氏は語る

淡水河増水の恐れがありましたから私は二十四日の夜通しにすべての女給に對し船から上る様勸め又バーテンダーの奥村にも[illegible]んで再三させましたが少しも聽入れぬため

女給連中 はちつとも[illegible]しないらしく五目並べをやつたり、唄を歌つたりして[illegible]してゐました、[illegible]の方から上陸を勸告されたと申しますがあれは午後三時頃のことで既に岸とは交通不能に陥つた後でした[illegible]

ツバメは [illegible]しながら語る [illegible]の[illegible]見たいに[illegible]して[illegible]とて足を開いて見せる[illegible]にマスターとバーテンダーからしきりに上れ〳〵と勸めたのは本當です、[illegible]いふことに[illegible]のない女給達は何れも文字通りの[illegible]に乘つた氣持ちで五目をしたり唄をうたつたりして[illegible]をしてゐた位です、また[illegible]らなかつた

他の原因 はエナメルの上等の靴や仕立たばかりの文服などを脱ぐのが惜しかつた[illegible]

しく[illegible]といふものはどんなものか一つ見てやらうといふ好奇心が手傳つてゐたこともあります、七時半頃のことでした船の底に水が溜り[illegible]ものですから屋上のコンクリートが[illegible]しマスターの二階に上れの大聲と共に一同二階に上りそれから大[illegible]が始つたのです、私

著物を脱 ぎ水に[illegible]れると同時に[illegible]が死んだ他の人は大抵[illegible]をきたり[illegible]をしめたりしてウロ〳〵して困りました

死んだ人と助かつた人（死んだ五人右から）吹雪、春日、吾妻、三笠、不知火（助かつた二人）上は千早下は[illegible]

ゴンドラ主人に 集まる風評

ゴンドラの女給女給その他十人の者が溺死したことに就いて主人の杉本三[illegible]氏に對する風評を聞くに女給は[illegible]から水上[illegible]の危險[illegible]

なることを[illegible]した主人といさかひしたこともあつたといひ、また杉本氏は[illegible]の[illegible]少きことに[illegible]の[illegible]をなし女給をして[illegible]ぜしめなかつたことは[illegible]人としての[illegible]ではないかといひ、更に杉本氏が女給を抱いて[illegible]に泳いだこと及び[illegible]の上に[illegible]かないさかないことが[illegible]つたことは[illegible]人の噂であるが、併し助かつた女給やその他の人の話を聞けば止むを得なかつた事情も[illegible]分ある様だ

カフエー組合から ゴンドラに弔慰金

臺北南カフエー營業組合ではゴンドラの[illegible]及び死者を出したのにつき二十五日組合長[illegible]氏[illegible]は集合、組合より五十圓、各組合員より金三[illegible]を弔慰金として贈る事を申合せ且つ遭難者女給及[illegible]に對し各組合員[illegible]は[illegible]一人一圓以上、女給及[illegible]は一人一圓宛を醵出し贈る事となつた遭難者の葬儀によつては葬式[illegible]組合に於て見る[illegible]で[illegible]一同は[illegible]を[illegible]その[illegible]を[illegible]た

ゴンドラの慘事で 溺死者と助かつた者

死者男四人、女六人、救はれた男三人

二十四日夜暴風雨による淡水河大増水のためカフエーゴンドラが沈没し濁流に押し流されて溺死したものと見られる者は左記の十人(男四人女六人)である

◇溺死した男

臺北市元園町一ノ一 六 木[illegible]
臺中州[illegible] [illegible]
[illegible]ヤ(二八)陳 [illegible]
新竹州[illegible] 陳 [illegible](一八)

◇溺死した女

臺北州七星郡[illegible] 濱田[illegible]
秋田縣[illegible] [illegible]
三重縣[illegible] 森田ミチ子
香川縣[illegible] 星野[illegible]
[illegible] 佐田マサエ
[illegible] 岡本[illegible]
[illegible] 山本[illegible]
[illegible] 田中[illegible]

助かつた人達

熊本縣[illegible] 女將 松本シゲ
大阪市[illegible] 二十四
五バーテンダー奥村太郎(二六)
臺北州文山郡新店庄大坪林 何[illegible]
新竹州[illegible] 玉[illegible]

[illegible]に濁流に押し流され[illegible]にかかつて淡北州[illegible]まで[illegible]つき後十一時頃救助された者は

縦貫線全部開通

二十五日正午頃より

暴風雨で縦貫線北部十數ケ所の破損は復舊工事を急いだ結果、二十五日正午頃基隆から高雄まで全部開通するに至つた

淡水線の列車顚覆で 乗客十名と車長即死

輕傷四名、淡水に逃れたらしい

二十四日午後三時三十分淡水驛を發した一九五號混合列車が暴風の[illegible]した[illegible]は[illegible]の如くであるが目下[illegible]のため[illegible]三時一[illegible]が[illegible]したものの[illegible]

未だ何の[illegible]もありませんが、車長今本勇以下乘客約十名が死んだらしい、輕傷の四名は昨夜おそく淡水に逃れた

顚覆原因―突風のため

續です、列車事故で乗客に死傷を出したのは大正七年以來で[illegible]なかつたのですが甚だ殘念です、正[illegible]を[illegible]んで[illegible]列車を出すことになつてゐます

鐵道被害

[illegible]による鐵道被害は

十分[illegible]	三[illegible]
山子腳間	[illegible]
樹林間	板[illegible]
山子腳間	鶯歌
竹[illegible]間	桃[illegible]
大山[illegible]間	淡水
公司[illegible]間	後[illegible]
南勢間	苗[illegible]
坂[illegible]間	[illegible]
崁子[illegible]間	[illegible]

で何れもバラスの流出、土砂崩壞等の程度のもので二十五日中には不完全ながらも全線の開通を見る見込み

基隆桃園間 廿五日開通

基隆桃園間は二十四日夜以來不通となつたが二十五日午前九時開通した

淡水線は 運轉不能

淡水線は二十五日は運轉せず

宜蘭線は不明

宜蘭線は[illegible]不通のため[illegible]狀態判明せず

市外電話は 全部通話不能

基隆、士林線のみ やっと通話

暴風雨一過の翌二十五日市外電話は大多數不通、嘉義、臺南、高雄、[illegible]、上宮[illegible]への[illegible]交換[illegible]は[illegible]手古[illegible]だ、[illegible]すぐ相手方が出るグラハムベルが[illegible]のである、[illegible]時に[illegible]するの[illegible]さしめた、市外電話は[illegible]ウンされて[illegible]ての[illegible]通する

のは基隆士林線ばかり新竹、臺中[illegible]、臺南、高雄([illegible])全部通話不能である、[illegible]何れも[illegible]であるらしい[illegible]から[illegible]早く[illegible]するかも知れない、工事[illegible]中である[illegible]かしいかも知れませんが[illegible]と[illegible]しさうである

救援に赴く途中 北署の金子巡査殉職

自動車諸共二丈の深みに沈み 青木部長は幌を破り助かる

二十四日夜は[illegible]來にない大暴風で臺北市内は各所に出水あり、之れが爲め[illegible]の[illegible]につとめたが[illegible]日午後三時頃から市内[illegible]山[illegible]を中心として[illegible]の平地に[illegible]のため[illegible]一[illegible]した、所轄北署では大宮、[illegible]所の[illegible]により午後八時四十分[illegible]に出かけたが三十分を過ぎても一行の消息が不明であつたので金子[illegible]

自動車 [illegible]を下して[illegible]木[illegible]部長を同乘させ一行の[illegible]の[illegible]山[illegible]と[illegible]の中間に[illegible]た[illegible]水二尺[illegible]自動車の進行[illegible]なので[illegible]とるやズルズルと[illegible]の深水中に自動車諸共[illegible]んだまま[illegible]してしまつた、[illegible]部長は幌を[illegible]

出て漸く浮かび上つて[illegible]所に[illegible]ぎついたが金子巡査は[illegible]出來ず[illegible]死してしまつた、一方[illegible]を[illegible]た[illegible]木[illegible]部長は[illegible]北署に[illegible]

遭難を [illegible]したので[illegible]署長以下[illegible]の所在を[illegible]したが[illegible]なので[illegible]を得ず二十五日[illegible]を待ち[illegible]

田[illegible]の[illegible]水夫を[illegible]つて附近を搜査した[illegible]午前十時半頃二十五尺下の水中にある自動車を發見し[illegible]引揚げた車内を[illegible]べると金子巡査はハンドルを[illegible]つたまま[illegible]死して居たので死體は一先づ北署に引取り殉職者として[illegible]つた

殉職した金子[illegible]巡査は石川縣河北郡[illegible]の人で明治四十年[illegible]十五年臺北[illegible]巡査を拜命し、[illegible]勤務となり[illegible]勤務となり[illegible]自動車[illegible]に[illegible]には[illegible]であつた事故の[illegible]であつた人である

葬儀は[illegible]として二十六日午後[illegible]時より[illegible]に於て行はれる筈である

家屋崩潰で 即死六名

松山庄の被害

二十四日の暴風雨にて松山庄は[illegible]く[illegible]し、夜十一時頃[illegible]山[illegible]二四五の二[illegible]が[illegible]して即死三名[illegible]三名を出し又同庄五分埔一四七[illegible]家十戸が[illegible]三名[illegible]十名を出し、[illegible]の[illegible]を[illegible]し、二十五日朝となつて[illegible]は[illegible]

軍部側も 相當被害

二十四日夜の暴風雨による陸軍[illegible]の被害は相當ある模様で歩兵第一聯隊、山砲大隊の[illegible]木共他、[illegible]乃木町、南門町、[illegible]山町官舍の[illegible]等などは吹き飛ばされ[illegible]自動車小屋其他の[illegible]など可成りの[illegible]ある模様である

基隆市内も 電話不通

【基隆電話】基隆[illegible]の觀測によると昨夜の暴風雨は午後八時が[illegible]で風速二十一米六、雨量は二八・三ミリ[illegible]四石であつたが昨夜午後六時頃から午前一時頃迄[illegible]が不通となつて[illegible]との[illegible]をたれ[illegible]をして大いに[illegible]せしめた

移動カフエー變更

來る二十七日[illegible]の[illegible]であつた[illegible]移動カフエーは今回の暴風雨の爲め九月三日の土曜日に變更した

基隆市の被害

【基隆電話】基隆市内の暴風雨による被害のその後判明せるもの左の如し

一、明治町三の二五[illegible]が倒れた下敷となり溺死の[illegible]を[illegible]うた

一、第一小學校[illegible]の[illegible]に[illegible]した

一、[illegible]により[illegible]の[illegible]る

一、西町[illegible]内[illegible]水家屋は[illegible]

町三百戸[illegible]が百戸[illegible]五百戸[illegible]人に達して[illegible]するものは千七百人約六百戸のみなる[illegible]十五日朝から一齊に炊出しを開始した

[illegible]部長、[illegible]市尹は二十五日朝から再び各方面に亙り[illegible]の[illegible]を行ひつゝあるが市外方面は[illegible]不明である

下り夜行 運轉の豫定

二十五日午後十時三十分の下り夜行列車は[illegible]の[illegible]も二十五日午後五時に[illegible]の[illegible]で[illegible]する[illegible]く手配りされてゐる、[illegible]行は高雄より[illegible]する筈(午前十時)

解警報 颱風支那大陸に入る

臺北測候所は二十四日午後六時四十分[illegible]第七報を出し[illegible]心が更に勢力を増し基隆の北方五十浬の海上を通過する旨發表した

が二十五日午前七時三十分を以て次の如く全島の警戒を解除した

第一區、第二區、第三區の警戒を解く颱風中心は北緯二十七度東經百二十度の邊にあり勢力稍衰へ七百三十粍となり西北西に進む、颱風は二十五日午前五時福州附近より支那大陸へ入りしものの如く天候漸次回復に向ふべし

『榧』乗組の水兵 一名、激浪に浚はる

『竹』だけ今朝基隆入港

【基隆電話】暴風雨のため無電途絶の[illegible]となり所在不明を傳へられた[illegible]の[illegible]第二十五驅逐隊の[illegible]『竹』の三艦はおもおもしく[illegible]

になり、遂に[illegible]水兵一名の[illegible]者を出す程の大[illegible]を[illegible]けて[illegible]よりも一日遲れて二十五日午前五時半『竹』だけが漸く基隆に[illegible]

りついた[illegible]第二[illegible]に[illegible]されるのを待って[illegible]全員不眠不休の[illegible]艦は[illegible]の如く疲れきつてゐた

風雨と激浪で 遂に僚艦を見失ふ

蘇澳沖で位置を確め入港 『竹』の當直將校語る

當直將校は[illegible]來の[illegible]につき次の如く語つた

馬公出港は二十三日午後四時で澎湖水道で北上と共に[illegible]行ひ終了したのが午後九時それから北上[illegible]に向つたので我三艦は直に基隆への航程についた、二十四日午前七時頃から[illegible]ポツ〳〵荒れ初め、八時四十分基隆から西北二十浬の地點で

一水兵 が激浪にさらわれたので二時間程も三艦協力搜索[illegible]

海面は 雨のしぶきで眞白になり本艦からは二番艦が見ますつのり咫尺を辨ぜずつたのが十一時頃から風雨[illegible]水兵の[illegible]を中止して基隆へ向つたが、[illegible]の[illegible]せずのだ、[illegible]の[illegible]の[illegible]見えず山の[illegible]が[illegible]四十米、[illegible]のため百米[illegible]

[illegible]につとめたが遂に[illegible]何しろ當時の風速三十五米から[illegible]

えなかつた程だ、一番艦に[illegible]二番艦に[illegible]、三番が本艦だつたが當時[illegible]は[illegible]に一番艦[illegible]を見失つてゐた、午前十一時三十五分本艦も[illegible]に二番艦[illegible]を見失つた、かくて三艦チリ〳〵になつたので本艦は[illegible]沖合を通過して蘇澳附近に行き午後九時[illegible]

位置をたしかめて今朝漸く入つて來た[illegible]だが、別れた一番艦と二番艦[illegible]は昨夕六時頃花蓮の東北五十浬の沖合で出會ひ合同したとの入電があつたから何れその内に入つて來るだらう

瑞穂丸 明朝出港

【基隆電話】二十五日午前十時出港の[illegible]の瑞穂丸は列車不通のため乘客申込[illegible]と[illegible]も少いらしくベラスの代りに米を積取り中である、出港は二十六日午前十時と變更された

少年航空兵 受驗準備講義録

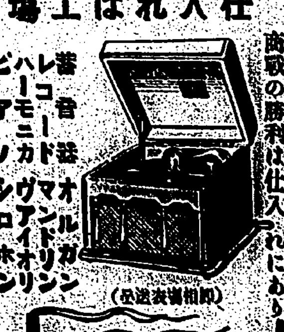
少年空の守り！！少年航空兵こそ昭和少年の誇りであります。

競爭試驗の烈しい少年航空兵の採用試驗に指導と準備教育をするのが、本講義録であります。試驗問題の傾向を良く知つて勉強してこそ必勝を得る秘訣です。

内容見本に詳しい説明がありますから希望者は直ちに「少年航空兵受驗準備講義録」見本入用とハガキで申込んで下さい。

申込所 東京四谷大番町十 帝國航空教育會

仕入れは工場へ



商戰の勝利は仕入れにあり

蓄音器 レコード ハーモニカ ピアノ オルガン マンドリン ヴアイオリン シロホン

(S) 名古屋市[illegible] 佐藤樂器工場

[illegible]月やく止り人知れず 御心配の御婦人方よ！ 一カンサ

馬鹿を勝つ 勝山黒直[illegible]

何んな皮膚病にも斷然有效な

皮膚病新良劑 泰皮

各藥店にあり 發賣元 臺北京町[illegible]

りん病 世界療法 廣告

天氣概況（二十五日）

颱風は本島北部通過後次第に進行速度を増し昨夜九時頃北緯二十五度半、東經百二十二度に、今朝五時には北緯二十六度半、東經一二〇度、即ち大陸沿海に去り本島は次第に天候回復しつゝあり、因に颱風は七三〇粍位に衰へた模様であります

▲天氣豫報（二十六日）

一區(北部) 南西の和風晴後曇
二區(東部) 南の和風曇り勝
三區(西部) 南西の和風曇り勝ち
(南部) 南西の和風曇り勝ち
臺北地方 南西の和風曇り後晴

各地氣温(二十五日)

臺北	二八・四	二三・四
基隆	二九・六	二二・〇
花蓮港	三一・〇	二二・六
臺南	三二・八	二四・〇
高雄	三二・六	二三・五

海山郡大埔公學校長高日[illegible]

[illegible]

殘月譜 (263)

志乃田廸司作　清水三重三畫

刀 (六)

疾風で開いた、あたるを倖ひ、薙ぎ倒し、斬り倒し、とは此の態だな、と三子ケ瀬、いい氣なものである。

「えいっ！」
「やっ！」
「それっ！」
「うわーっ」

さまざまな懸け聲で、三子ケ瀬大暴れの態勢だ。

所が、一向反應がない。知らぬ間に、素晴らしい腕前になつたものだなあ！と、われから三子ケ瀬は心中で感心した。

門前の小僧、習はぬ經を讀むと云ふが、矢張、達人の家に幾間奉公でもして居ると、知らず〳〵に相當の腕にはなれると見える。

三子ケ瀬、斯う勝手な理屈をつけて、なほも劍の舞を續けて居る

と、忽ち、耳邊に、聲を聞めた浪士に、驚いてしまつた。

「あつ！」

刀を投げ出して、ごろり、轉がつてしまつた。

「やられたつ！」

そして、悲鳴をあげて居る。

「これ〳〵」

引き起されて、三子ケ瀬、恒之助の顏を見た。

「おや旦那さまはお無事で！」

「はははは、どうだ、まだ舞ふか！」

「舞ふか、とは何です、賊は、みな斬られましたか？」

「はつはつはつ、もう逃げてゐないぞ」

「はて――」

と、邊りを見廻した三子ケ瀬、

「なーるほど」

と感心した。一人も居ない。

「どうです、旦那、えらい腕前になつたものでせう」

三子ケ瀬、得意になつて居る。

「ふむ、誰か一人だけの身體には其方の刀も當つたな」

「あたつた！」

聊ない顏して、三子ケ瀬は云つた

「あたつたんぢやありませんや、斬つたんですよ、それから敵は恐れをなして！」

「ははは、馬鹿云ふな、其方は誰も居ない方へ、刀を振り立て、振り立て、行つたぞつ」

「へつ！」

三子ケ瀬、自分から呆れた聲で

「それぢや、旦那さま、どうして賊は逃げたんで――」

「わしが、一寸手傳つた」

「あ、さうですかい、それで納つた。劍術は、矢張、門前の小僧より確かしいぞ」

「何を云つてるのだ」

三子ケ瀬、立ち上りかけた、其時に、居る浪士の背を叩いた。

「觀念して下さい、なむまいだ」

「おい〳〵賊はみな逃げ去つた、安心せい！」

三子ケ瀬、大きな聲だ。

「さ、行かう」

恒之助は云つた。

「こんな場所は早く去るものだ」

「へい、おい町人、これから氣をつけなよ」

三子ケ瀬、那隈だから、刀の鞘を、ひよいと拔いて捨てて、恒之助について歩き出した。

義樂が聲も云はずに、金作の腰を立たせやうと一生懸命だ。

新大東京風景 (二)

松波治郎

その他に 世田ケ谷區に玉川村と駒澤村とが入る。駒澤のゴルフ場は十數萬坪の芝生で總會は千圓もの入會金を取つたが今は一般に公開された入場料二十錢で天晴れゴルフズボンが闊歩を致くする。玉川村は玉川と云ふ名がいいから代表して區名にしろと不平をこぼしたが通らなかつた。澁谷區には明治神宮が擁される、編入されるのが、澁谷町、代々幡町、千駄ケ谷町だ、澁谷町には皇族御三方がいらせられる、此の外

貴顯紳士 の邸宅が多く代議士ばかりが六十四人住んで居て、小數黨なら、いつでも出來上る。それから代々木の練兵場が此の區へ入る、國民の敬禮を受けて千古に微動だにしない忠勇なる軍隊精神が此處では見られるのだ、更に此の區には學校が多い、早稻田、東京女子大、立教、青山學院等、高級なるインテリ製造所だ。

此の新區は其の名に於ても既に東京市の一部のやうな感があつた、だからして、大東京市編入と云つても、ちつともフレッシュな感じは起きて來ない **淀橋區も** 淀橋町と大久保町と戸塚町とを含むのであるが、此處も既に東京市らしい感じの所であつた、ただ、落合町や十二社が東京市になると云ふ所に默新らしい氣がする。近頃「五錢で萬歳ＯＫ」なんて安酒する十二社の花柳界が、東京市へ入つてしまふとなると、さて郊外らしい氣分を失つて極端な場末の俗つぽさを發散させることであらう、ただ、新宿四十七番士で有名な堀部安兵衛使跡ちの土地『高田の馬場』が東京市へ入つて來ることは **一寸痛快** な氣がする戸山ケ原も此の區の一名物だ、中野區は、落合町、中野町、野方町である、これが所謂武藏野の區域であつた、つい先だつては蟹の天才低能兒の德川家の愚紀相川太郎の出現した土地だ、が、此處には今回の日文市長に熱鬧を立てた中野魔風がある、兵隊さんが、オチヨの蹴合で、喧抗を打ち込んで居るのは飽つた氣分だ、かわいい嬉だが、いつも空高く飛んで居る。ユーモリストの生方敏郎君が附近の居發議と共に **東京市民** となるのである。いや云ひ忘れた、おと圖いが新井の藥師さまと一緒に、だ、紘野區は、杉並町、和田堀町、高井戸町、井荻町である。さて、此の區こそは警察がいつも頭を痛ます所だ、左翼文士の巣窟だからである。それだけに警視廳の區域なんかけ盛迷して小商人はこぼすこと、こぼすこと、此處へ、その昔は江戸入りの街道として、かず〳〵の物語りを綴した甲州街道の一部、高井戸町も入るのだ **豚小屋の** 多い町、ぽつり、ぽつり田畑の中の一軒家が、みんな東京だ

法窓漫談 「自分の財布を」拾つた話

末廣嚴太郎

ある本にかう云ふ話がのつてゐる。

「ぼさつと、何か足にさはつたものがあるので拾つて見ると、それは、私のに非常に似てゐる紙入れであつた。世の中には、私と同じ好みの人もあるものだなと、兎に角私は警察へ屆けた。中味をあらためてから、例の如く、私は遺失物拾得の證明書みたいなものをもらつて引きさがつたのであるが、さて何かの買ひ物の時に氣がついて見ると私は紙入を落してゐる何だ、私が屆けた紙入は私の落した紙入れだつたのだ私はあわてても一度警察へ飛け込んで事情を話したのだが警察では――一年たつても落とし主が知れない時は、拾ひ主のものになるのだが、君は拾ひ主と落とし主を兼ねてゐる。ちよつと困るね。――私が落とした のは事實だから返して下さい。――いやそれはわかつてゐるがね、萬一他に落とし主と言ふものが現はれた時、君に渡しておいたのではこちらの手落ちになるからね。と、らちがあかぬ。結局、私は私の金を自分で拾つたばかりに、一年間待つことになつたのである」

◇

いかにもユーモラスない小話だと思ふが法律家の眼から見ると此處に又何とも言はれぬ面白味がある。此事件の落し主兼拾ひ主は世間的に見て極めて意識的に且正直に振舞つたさうして其結果思はぬ困難に陷つたのである。若しも彼が少しでもちの惡い男であつて自らあわてて警察に駈け込むやうなへマをやらなかつたならば決して六かしい問題は起らなかつた。例へば自ら警察に屆け出さずに、友達に事情を明して落し主になつて貰ふやうなことをすれば、形式上ともかく警察をだまして拾得者は別として紙入を取り戻すことだけは容易に出來た筈である。又若彼がもつと惡い男で拾つた紙入をそのまま猫ババをきめこんだとしたならば、後で自分のものだと氣が付いた際に多少の矢張を感ずる以外何等の問題をも起さずに濟んだのである。所が不幸にして正直者であつた。さうして意識的にして而も多少のあわて者であつた。

◇

自分の物を拾つたのだから返して貰へるのは當り前だ位に考へて警察にかけ込んだ、此處に彼の失策があるのである。何故なれば彼は警察に向つて自らの落とし主たることを證明してゐない。警察の眼から見れば他人の物を拾つた後自ら落とし主なりと偽つて屆け出る者との區別が立ち得ないからである。正直であることは善いことである。けれど唯正直に振舞つたと云ふだけでは世間に通用しない。

◇

本人が如何に自ら正直だと主張しても、世間は直にそれを信じてくれない。成程法律それ自身は正直者の味方でなければならない。けれども或人が正直であるかどうかは法律を取扱ふ――神ならぬ――人間が之を判定するのである。警察官も裁判官もすべて人間である以上彼は事實證據によつてのみ判斷し得る。其結果自ら正直なりと證明し得ない正直者は終に法律の保護を受け得ないこととなるのであつて此事件の「彼」も亦自ら其正直なることを證明し得ない正直者に外ならないのである。

正直な田舍者が法廷に立つて、「私は村で、有名な正直者、嘘などは唯の一度も言つたことがない」と如何に大聲を張り上げていきり立つても、證據を出さない以上勝つべき訴訟に見す〳〵敗けて仕舞ふのが訴訟の實際である。保護の時效を中斷するには「請求」をしさへすればいいと言ふ話をきいて、手紙で請求するよりは口で言ふ方が確かだらうと言ふ考へから態々汽車に乘つて請求に行く男は訴訟に負ける男である。請求をする以上必ず其證據を整へねばならぬ。だから口頭よりも手紙の方が確かだ。配達證明付内容證明郵便と言ふ制度はその爲めに設かれた制度である。

◇

法律の女神ユスチチヤは布で眼隱しをしてゐる。さうして其左手に天秤を下げてゐる。彼女は自らの眼を以て何物をも見ない。彼女は唯證據と言ふ「人間」が天秤の上に載せる材料たるべき何物かをのせられるのを待つてゐるのである。だから彼女の前に「正義」を求めんとする人々は「證據」によつて其「人間」を動かさねばならぬ「人間」が動かされて彼等「正義」を求むる人々に有利な證據を認定してくれるとき、彼女は始めて彼等に正義を與へてくれるのである。だから世の中の人々はユスチチヤの女神は眼隱しをしてゐるといふ事實に注意せねばならぬさうすれば世人の「法律」「裁判官」等に對する非難はかなり減少すると思ひない。これは極めて平凡なわかり切つた事柄であるが、世間の人々は案外このことに氣付いてゐない。

臺日謠壇

選者、何數無制限、何人も投書し得、筆名に本願寺

△梅上りかけ三日月様は妻しにやう痩て身が細る　北投　文子
△思ひ未練な手管にや乘らぬけれど言ひます男なら　宮北　非熊
△九尺二間の裏店なれど月の風情は劣りやせぬ　雙連　伊知地
△折るにまかせる道邊の小百合思案したとて儘ならぬ　宮北　かしく
◎雨が降れればねん〳〵合歡の葉末淋しく日が沈む　大安　恒洋
（評）爽快だ唄　迎加
◇濡いばかりは留まれませぬ雨が濡した昇清水　如狂

童話 壺

大河原ひさし

ある海邊 に貧しい漁夫の父子が住んでゐました、子供の三郎は老いて病を患つてゐる父をいたはりながら、けなげにも海へ出て網を打つて魚をとりそれを町へ出てうつて日々の生活を立ててゐました。ある晴れた夏の朝のことであります、三郎は油のやうな海原へ小舟を浮かべギラ〳〵と黄金色に光つてゐる朝日の光をすこやかな氣持に一杯うけて元氣に網を投げてゐました、すると **重い手答** へがあつて網に何かかかりました、大きな魚かと喜いで上げて見ると一つの重い丸型した壺が入つてゐました、三郎はコワ〳〵とそのフタをとつてみました、するとスーツと一條の煙が上つて大きな大きな妖怪が彼の前に立ち上つたのであります

「おい小僧、わしは永い長いことをしてこの壺に入れられて **海へ投げ** こまれた惡魔の子だ、今お前に助けられてこの世の中へ出て來たのだ」

「ムツ！惡魔の子か」

「さうだ世の中へ惡いことを敎へるために廣々を歩き廻るのだヘヘハさしあたりわしを助けたお禮にお前の病氣の親父を殺してやらうよハハハ」

三郎はとんだことになつたと **すつかり** たまげてしまひましたが賢い子ですからニャ〳〵と笑つて

「さうかい、君は大きなことを云ふが一體何でも出來るのか？」

「何だと、わしは何でも出來ないことはない、ウソだと云ふならせせら笑つて云つたのです

「何でも云つてみろ」

そこで三郎は今の大きさより十倍になれと云つたのです、惡魔は **海一面に** 大きな霧になりました

「どうだ小僧おどろいたらう」

「實にえらいものだ、こんどはその萬分の一になつて僕の掌にのれる位の小さな霧になつてごらん」

すると惡魔は得意になつて小さな小さな鮪になり三郎の掌にのつかりました三郎はそれを素早くも壺の中へ投げこんでしつかりとフタをしてしまひました。そして **海の深い** 深い所へ投げこんでしまつたのです。これを知つた海の神様は大へん感心して三郎の網に黄金の一杯入つた黄金の壺を入れてやりました三郎はこわ〳〵とそれを開いてびつくり、この神様の下された黄金で父さんの病氣をなほし、氣樂に海邊で一生を送つたといひます（をはり）

公開欄

本欄は讀者の自由投稿の不可▲行數は十五字六十行以內▲筆名にても作所氏名は別に投書人の要求に取捨は係に▲あり

荒み果てたる世相を何と見る

老松浪士

◇今の世の中、世が逆様で、石が流れて木の葉が沈むとは阿呆陀羅經の文句だ、昔は君臣の分は申すも愚か、師父と子弟、雇主と雇傭の關係は陰陽の如く嚴然、義理と人情は縦となり相待り相扶けて理想的な美風をなしてゐた、然るに近來は權利だ、義務だの一天張で上は下を劫し下は上に抗して互に讓らざる厭ふべき世の中となつた。

◇師父と雖も子弟の意思を拘束するやうな事はよくない、雇主と雖も雇傭の人格を無視するやうな事はいけない、理窟は正に其の通りであるであらうが人間同志の交際は理窟扱でなければならない、斯く言へば若い人達は舊頭が古いと來るだらうが如何に、理性に勝れた人達だとて今の此の世相を直視して無條件で買讚を表し得る者が幾人あるだらうか。

◇先般、政府の一部には時局匡救非常策として農村モラトリアムを實施し樣といふ意向もあつたらしいが、よし、手段方法に拔かりがなくとも之が影響する所いかに大なるかに想到する時思えず肌に粟の生ずる、幸ひ流産に終つたからよいやうなものの若もあれが眞に實現を見るならばさらぬだに險惡な空氣は一層深刻味を加へ治安も保存も保てなくなる樣な結果を招來しなかつただらうか。

◇昔は地主、家主、金貸等に絕大の勢力があり貧民を泣した行爲をして見たの蛇だのと罵られたものがあつたと歴史は傳へてゐるが今日はまるで反對、小作人借子乃至借金者の方が遙かに強い、家賃を下さいと藪を低くして頂戴に行くと明後日來いと追ひ拂ふ、明後日行くと今度は來月來いと斷はる、全くいやはや、僭越代金などになると更に猛烈で、折角人の我意をしてゐるのに煩いと怒鳴り付けられることさへある。

◇法いの悪いのと申しても思想取締の方針が確立して居り興論も不當を失つてゐないから當分は大した事もあるまいが五年か十年の後が思ひやられる、この儘で日本は將來何處へゆくだらう

芝居とトーキー のコンデンス

――五代座の新劇刷―

五月信子、高田稔等の新劇と松竹との提携がなつてこの九月から東京に開演する事になつたが常に大衆劇を目指して來ては栄天地に新途を築き飛げに長い間の沈默を破つて今度はトーキーを劇の中に入れて舞臺の人物と畫面の人物が話し合つたり畫面から飛出して來た男が花道へ駈け込んだり映畫を引斷つて汽車が舞臺へ驀進すると云ふやうな今迄にない凝つた技巧を用ゐて觀衆に新エポックを畫しやうと云ふのだ

×

五月は十八番の「詩」等ものに實穀を與へてやり高田は生きた演技と飽き打つて在來の新劇に見ない味の出なかつた新味あるもの『新しき様と云ふ』『闇の中の假』、脚色した澤田兵盛作劇「木曾」、鈴木英一の諸氏が近代座の爲めに新らしく大東京、小僧、山高シャッポン、一茶などの新作をどし〳〵と執筆してゐる。

×

無聲に五月信子はトーキー漫劇撮影の爲めに富士第三期〈ロケーション〉に出發した

日滿親善は兒童の親善から

滿洲學生團のお土産で近く滿洲兒童の作品展覽會に新興滿洲國を空から紹介し

日露戰ふか？

建國の歌を述べた我が母作模は目出度くその使命を果して滿洲國を訪めた同國作模は、東京市を始め全國の小學校兒童が心をこめて滿洲國の小學校兒童に贈いた手紙や繪畫等を託され、これを滿洲國の兒童に送り屆けたのであるが、更に同國國都に際し、こんどは滿洲國の小學校兒童からその作品數百點を託されて歸つた。これを近く全國の小學校を巡回展覽する事になり、日滿兒童の親善に供せられる筈である

新刊紹介

◇女性の時代（八月號）本號は現今心中の批判を主とつた特輯號である、我等の世相を描いた問題を取扱つて最も新に適應した論説の所論は讀んで感銘されるところが多い

×

編輯長に今村氏を迎へて以來途然紙面に精彩を加へて來たことは刮目に値する點である

作小說「三四の娘」「日の出」「丸月號は大衆號！」有名な東京海山、鶴丸郞氏が急逝する東京の市民の爲の慰問に派へた特作小說「第三の嘆」出て來て新

名家敗退將棋 (四)

（石井氏一回勝二人目）

平手△六段　飯塚勘一郎
先▲六段　石井秀吉

△飯塚氏（持駒）角歩歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
v香	v桂				v王		v桂	v香	一
	v飛			v金		v金	v銀		二
			v歩		v歩		v歩		三
		v歩	v銀	v歩				v歩	四
v歩									五
		歩	銀	歩	銀		飛	歩	六
歩	歩		歩		歩				七
		金							八
香	桂		玉		金		桂	香	九

（圖は九五步迄の局面）（v＝後手の駒）

▲石井氏（持駒）角歩歩

▲七九玉△四二金左▲一五歩△三二玉▲一四歩△一二歩▲三五銀△八五飛▲七五歩△同歩▲二四歩△同歩

▲石井六段曰く　七九玉は他の手では九六歩同歩九七歩と利かされ如何にしても指に位負けが出來る形は惡いが穩定で釣合は取れてゐると思ふ

▲飯塚六段曰く　四二金は七三桂と跳ねる策もあるが玉の防備の厚いが確かであると思ふが實際は深く讀むべきであつた

▲石井六段曰く　一五歩は指過ぎては大勢であるが同歩と取られれば一三歩でよろしいでせう

▲飯塚六段曰く　三二玉は止むを得ない一五步同步と取つては一三步で大きい殺が生ずる

▲石井六段曰く　三五銀は大勢鼠略となつてゐるが八五飛と轉ると六九角と打たれる味が危險で滑り如く二四歩と敵玉に迫りました

▲大崎八段講評　後手四二金は敵に一五歩と端を攻められ甚だよろしくない七三桂と跳ぬか又は三一玉と寄つて三二銀の出を狙ふべきである先手三五銀の出は深く讀んだ遊びで咎むべきではないが指過ぎである五八金と寄り三八歩ならば其の時三五銀と出る方が三ケ歩成で同歩となつて取つて攻めに用ゐられる

臺日案內

料金　三行　五十錢　七行　一圓　十一行　一圓五十錢　十五行以上　一圓八十錢

書籍　讀物月刊雜誌新本　畔見書店　臺北市本町二　文化教育會社

創立法トシ推奬書籍奉仕特賣　新起町一　[illegible]

藥種商　エナモル　各地有名藥店にあり　臺北岸本商店電三八〇四

醫院　小林醫院　臺北大和町電一四二　內科小兒科　入院設備あり

寫眞　寫眞機御買入の時は先づ「本町角の」西尾商店へ

新鋭カメラ各種新着　臺北市榮町　フタバ寫眞機部

料理屋　活動寫眞は　臺北市表町二丁目　電話二八

五錢めし　大井一力　臺北市建成町（千田發電前）

雜件　ベニヤ板　日本家具木工部　臺北市新起町

特許商標　辨理士　岸喜鑑事務所　臺北榮町三ノ八　電二八七

麻雀一組拾圓　文藝堂　臺北下奎府町二

和田はメガネ專門　臺北本島町電話一五〇

小口貸金　即時取扱　臺北老松町三丁目　電二九二二

頭痛にパラヂウム

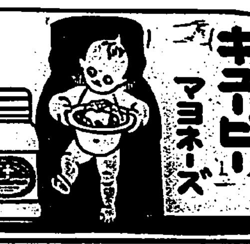
新發見（頭痛ぬり藥）　臺北市本町四　岩田製藥研究所

自動菓子釣機（類似品に御注意あり）

東洋發明品商會　特約店大募集　大阪市西淀川區福町中二ノ二　電話西四〇番

最高級　ヒクトリヤ　帝經月

便所くさみ止　臭氣を止め芳香を發す　專賣特許　イマヅ芳香油



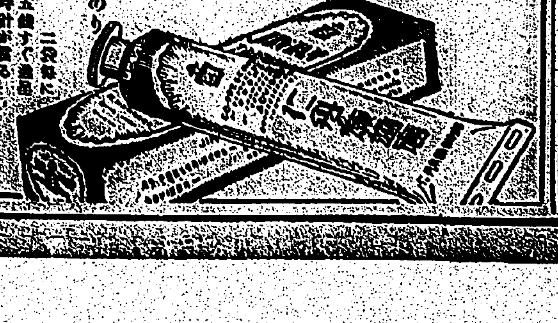
キューピーマヨネーズ　不意の御來客に毎日の御食膳に

赤玉ポートワイン　びみ　じよう　ぶどう酒
一杯の健康！二杯の幸福！

効果百％　專賣特許　淋病內服新藥　ホトンコー　喘息新藥　ホスタイン　小林藥學研究所　大阪市東成區今里町三〇九

トテモヨクキク　菊牡丹かとり線香

シッカロール　アセモ　タダレの豫防と治療に　どこの藥店にもあります　和光堂



齒磨なら斷然仁丹　錬三十錢　外に粉ハミガキあり

ツバメ石鹸

漢文 臺灣日日新報

請願確保農民生活權
要求改正諸保障法
十二府縣代表陳情

二十三日東京電。欲確保農民生活權。十二府縣代表二十三名。二十四日午前十時。到貴衆兩院。提十萬人署名之低資融通、强制執行法改正、開墾助成、移民助成法、俸給令改正所謂五箇條請願書。多數提出。在副議長室。與植原副議長會見。長野代表。訴農民生活苦。提出請願書。代表以爲願爲不足。欲將與農民生活有密接關係之民事訴訟法第五百七十條第一項十二號。第六百四十一條國稅徵收法第十六條九號。第十七條等。改正爲農民最低保生活保障之程度。在建議案提出。與各派議員交涉中。

國稅滯納時
立毛牛馬等勿差押
農村對策委員會提案

二十四日東京電。二十四日院內各派有志議員之農村對策委員會。風見章氏。謂今議會。國稅徵收法律中改正法律案欲提出。滿場一致可決。此乃國稅滯納時。從來差押立毛、牛馬農具之事。欲爲中止也。

堀切長官
要望議案審議
政友首腦部大體承認

二十四日東京電。堀切法制局長官。承政府意向。二十四日午前九時。訪政友會山口幹事長於院內控室。希望對於大臣質問。應以一日截止。二十六日開豫算總會。其他重要法案。亦於二十六日本會議上程。即提出附於委員會。山口幹事長。即欲諮問幹部會。然後返答。幹部意向。大體承認之。

會期延長決議案
政友會單獨提出

二十四日東京電。會期延長問題。國民同盟。與政友會折衝中。兩者意見不調和。歸於不合議。政友雖爲反對。而與各派有志議員之農村對策委員會合流。欲單獨提出會期延長決議案。

會期延長決議
暫不提出
幹事長希望

二十四日東京電。政友會山口幹事長。二十四日午前十一時。對於農村各派有志西方。山本其他諸氏會期延長決議案。至於實之方針決定之間。暫時不提出。然之緣制勿案。有所注意。一同諒之希望適當時期。

貴族院
質疑通告者
順序決定

二十四日東京電。貴族院對於國務大臣質疑通告者在事務局抽籤。順序決定如左。

一、榊原保直伯（研究）
二、青淨重雄（研究）
三、勝田主計（研究）
四、紀俊秀男（公正）

美棉好調

二十三日紐育電。美棉市場。因金融市場及地出排買行情上進。一時一仙超半弗。其後小軟。然終口買氣持續。引値超五六波引。

東京滙水
維持廿二弗

二十四日東京電。二十四日滙水市場。因紐育美日滙水。紐落至二十二弗五十六仙四分一。市況軟弱。比前日低落約一波引。後上海爲二十仙。爲二十二弗四十仙。引際始得維持。二十二弗笠。對美二十二弗八分一買。四分一買。對英一志三片十六分五賣。二分一買。

基隆外港
有四隻停船
消息不明

北部大暴風雨。基隆地方去二十四日晚。風雨更加猛烈。午後七時。市內西町旭町。高砂町一帶。皆浸水二尺以上。降雨依然繼續。各方面。有相當被害。

▲港內　繫于元町岸壁之中國型帆船。因繫纜切斷被强風所吹。漂流于第四岸壁方面。

▲入基隆港汽船四隻。因過暴風。不能入港。故下錨假停泊港外。晚間海上黑暗。且波浪甚强。小汽艇不能近。消息全然不明。關係者甚爲掛慮。切斷被風所吹街燈。

▲市內消防隊警護隊總動員。非常警戒中。全市電燈全滅。各員在暗中活動。

▲基隆神社。下午六時五十分。拜殿石垣。突然崩潰。警官二名。急赴保護神寶。

▲雙葉町人陳旺生。年三十二。因改築中住家天井墜落。被破片强打腦天。即昇往濟生醫院治療。未幾斃去。

▲第一公學校雨天體操場屋蓋大破。家屋全壞三戶同半壞甚多。電柱倒者數處。電話線切斷不少。

▲午後八時頃。基隆無電接待泊港外之春丸來電。謂鳳山丸。被風吹向燈塔方面於是關係者甚爲憂慮。即由基隆無電。拍電問鳳山丸。接其回電。謂本船揚起錨。得進退自由。準備臨機措置。於是一同始告安堵。又蓬萊水產會社爲我丸。在暴風雨圈內。會社非常憂慮。漁船因接警報各不敢出漁。

▲市內電話線切斷。各方面被害不明。至午後十時風力稍弱。市民始安堵。本社基隆支局。亦浸水數寸。市內有相當之被害云。

炊飯六千人
街路濁流滔滔

基隆市西門町派出所管內午後九時頃。街路增水。濁流滔滔。深約六尺。浸水家屋五百餘戶。住民求救助。避難于派出所者。達百五十餘戶。其他天神町。日新町。觀音町方面。住家多數浸水。市役所與警察署協力救助中。下午十一時頃。降雨稍歇。漸有減水。又二十五日朝。市當局出炊六千人分救助云。

暴風雨後
蓬萊米昂

去二十四日來朝暴風雨。蓬萊米因朝米欲勢。仍不脫低迷範圍。當限六圓三十七八錢。中限五十六七錢。先限六十六七錢。二十五朝知被害甚烈。場外騰勝。當限四十七八錢。中限七十錢。先限八十錢。人氣甚懸云。

汪張確執兩旬
究無何等所得
學良主宰北平軍事

二十四日上海聯合電。行政院長兼財政部長宋子文氏。二十五日歸南京。就任行政院長代理。又狗汪精衛辭職。提出辭表之各部長中。實業部長陳公博以下各部長。辭表撤回。或被却下。使汪精衛氏代行事務面作中央常會會議及中央政治會議委員。暫時滯在南京。又張學良以軍事委員資格。在留北平。作北平分會長蔣介石氏之代理。決定主宰軍事分會。兩旬汪張確執劇。究無所得。告一段落云。

市乘合車
全線停駛
因雨中浸水

市營乘合車六張犁線。三張犁線及枋寮線等之郊外線。二十四日午後五時。中止運轉。而市內線。亦至是夜七時。因風雨益烈。路下不能運轉。以是全線停駛。至午後五時。尚冒雨運轉。同六時。因道路浸水。三十餘臺。全部停駛。

各郡被害
廿四夜八時

二十四夜八時。臺北州下各郡被害狀況略左。

▲七星　木島人住家半壞一棟。住家床下浸水百二十五戶（士林街）。道路流失一處。水田浸水百甲。

▲淡水　午後六時。金山淡水間乘合自動車不通。

▲基隆　七堵庄五堵公學校七堵分教室。午後六時五十分倒壞。午後四時。基隆河漲水十八尺。郡下專用電話。全部不通。

▲宜蘭　頭圍庄外澳大里間警察電話不通。鐵路沿電柱倒壞十七本。橋梁流失等。

▲文山　午後三時。非住家全壞十棟。其他有橋梁流失。私設埤圳崩潰等。新店溪增水九尺。渡船中止。

▲海山　午後六時半。鶯歌三峽間。道路浸水二尺交通杜絕。又鐵道線路（山子脚附近）。埋沒約五間崖崩修理後徐行。住家全壞二棟。田園浸水約十甲。輕便鐵道橋梁流失。高壓線警察電話線切斷等。

▲新莊　營盤。和尚洲。貴寮。三重埔方面。全部浸水。乘合自動車之樹林新莊間。新莊山脚間。臺北和尚洲成子寮間。洲間各線。不能運轉。

知事部長
視察出水地

二十四日北部颱風。市內低地。大部分浸水。頗有相當被害。爲是中瀨州知事。與田警務部長。于二十五日午前九時半。同驅自動車。視察市內各浸水地。

自動車及搭乘者
被匪所捕行踪不明

二十四日間島局子街電。二十四日午前八時。百草溝領事分館掘內主任木山。山下兩警部補所搭乘自動車。及軍用自動車。乘合自動車。搭乘者五名。向局子街途中。被匪賊團所襲。搭乘者行踪不明。

臺北全市暴風雨慘害
入夜更豪電燈停電交通杜絕

連日山側候所發表暴風雨將來襲北部警報。已如本紙所報。至二十四朝。形勢早告不穩。外出之人。各派攜雨具。過午益猛。際至午後六時。忿形山崩岳頹。銀河倒瀉之勢。路樹次第。被風倒仆。而各處之塌山屋益少。市營乘合車。至七時。全線運轉停止。而與寄之自動車。亦復禁其往來此間通行中被浸水。進退維谷者。約有三十輛左右。人力車更甚及被風飛去不見蹤影。於是市內之交通。全告杜絕。通行之人。非避難者。即出爲警戒之警官消防隊。電燈自七時半起停電。爾合社當局。極力修繕。中雖有送電。亦不過三四分間。惟九時間。有從小部分。得見光明。由全市言之。可謂變成黑暗都市。

風速最高二十一米
雨量多者廿八粍

二十四日下午六時至七時之間。風速二十一米。自七時至八時之間二十米。八時至九時之間十九米。雨量最多者。爲九時至十時之間。即二十八粍稍三四年來。未有之颶風云。

北部一帶鐵道
颱風害殆歸全滅
板樹間暫時無望復舊

二十四日朝來之暴風雨。北部一帶鐵道。殆歸全滅。是夜新竹基隆間。（含宜蘭線。平溪線。淡水線）列車全部中止運轉。同十時半。臺北驛發南下夜行列車。亦中止運轉。又高雄發二十五日朝抵臺北驛夜行車。止于臺中。又不通之處。

▲縱貫線　板橋樹林間。大料崁溪南岸南下線約百米築堤崩潰。運轉不能。復舊將無望。

▲鶯歌　山子脚間。上下行列車。運轉皆不能。

▲汐止　南港間。上行線不通。南下線徐行。

▲崎頂　竹南間。上下行皆不能。

又臺北鐵道。于二十四日午後六時以後。運轉全部中止。

臺北黑暗
基隆亦停電

二十四夜。臺北市內電燈全部消滅。全市變爲黑暗世界。關係電力社配電所員之努力。至午後八時。後于幸町。千歲町。兒玉町。若竹町。築地町。新起町方面一部。總督官邸方面點燈。其他大部分。黑暗過一夜。據配電所員談。同所雖準全力配電。然因各處斷線。及樹木爲風所倒。電線故障。又因看板吹飛之危險。市內大部分。不能配電。營局道路。市外松山。汐止方面及基隆市內。亦因斷線。唯士林淡水方面有點燈。然因電話線故障。詳細不明。

淡水線江頭竹圍驛間
列車顛覆即死十名
乘客二十名中其他重傷

此番颱風。因通過北部海上。臺北地方。二十四早以來降雨。士林街道。午前中。已浸水。同日午後風雨猛烈。三時三十分發臺北驛之一九五號混合列車。駛至江頭驛與竹圍驛間。即午後五時。客車急三輛顛覆。旅客約三十名中。俄頃名。負傷僅過出外。即死十名。其餘皆負重傷。淡水郡。接此急報。警察官。立分乘貨物自動車一臺。往現場與壯丁團。努力救護。一面鐵道部。接此急報。午後八時十二分。急派救援車。搭乘橫田技師以下運轉課係官。急同現場。然因進行困難。至圓山驛。遂不得再往云。

萬華河岸酒場浮船
十名慘遭溺死
外三名流至臺北橋獲救

萬華河岸昂魯拉酒場（浮船）至同夜八時。急將陷于危險。急欲避難之時。連接陸上之浮橋。已被激流捲去。南署接其急報。急派刑事主任急引率司法刑事。及消防夫二十餘名出動。努力救助。然因風雨猛烈。爲非容易。至同九時。女主人及女給等登上船樓時。救出主人杉木三藏氏。與使用人日高氏。女給千惠。萬四人。泅水近岸。其餘女主人杉木氏。女給春日大其他。於同九時半。被吹落。三笠。吾妻。不知激流吞去。

酒場居住者
計十八名

萬華河岸昂魯拉酒場。居住者計十八名。即主人夫婦二。養女春江一。酒保日高一。掌櫃一。女給七。本島人六。被激流捲去者十三名。即女主人一。女給五。掌櫃一。本島人六名。除在臺北橋附近。獲救三名外。溺死達十名。

漂流中三名
幸被救起

市內河合町附近。二十五早。有內地人一名。本島人二名。漂流中。爲該地居住民救起。二本島人。遂急救治。得以不死。而內地人。則一息奄々。

太平町八九丁目
避難民四百名
市役所臨時炊飯
經青年團手配送

臺北市太平町八九丁目。及河合町一帶。浸水四五尺。避難民四百餘名。二十五日午前九時半。由市役所。臨時炊飯。經大稻埕青年團之手配送。

金子巡查
自動車顛覆
溺死溝中

二十四日暴風雨。入夜猛烈。北署爲傳令於該地派出所。同夜十一時。由金子巡查。運轉自動車。搭乘青木部長。驗往圓山方面。及至運動場附近。因風雨猛烈。急欲回避之時自動車後輪。陷入深處顛覆。金子巡查。行衛不明。惟青木部長。冒風雨調查。至翌早。發見溺死溝中。

淡水河漲水
二十八尺

二十四日午後五時。淡水河刻々漲水。乃將第一、二、三水門閉鎖。同四日午後八時。水量如左。

▲淡水河川端町二十八尺萬華第三水門十九尺。臺北橋下十七尺五寸。

其他酒場浮船
與昂魯拉並列
全部幸免

昂魯拉酒場並列之尼科尼科酒場浮船。浮橋亦被捲去。內地人二名及本島人二名。呼喊求救。被求援隊。努力救助結果。至同夜十時半。全部無恙。

梅庭普及會
卒業式學藝會

臺北市梅庭國語普及會。于來二十七日午後七時半假太平公學校講堂。舉行第十八回卒業式。卒業生十一名。全部爲女子。式後。續開學藝演習會。有會話、唱歌、對話、舞踊。前後十四番云。

東京市內諸銀行
決定預金降利

二十四日東京電。東京預金利子協定加盟銀行。二十四日午前十時。及午後一時。各於銀行集會所。開臨時總會。可決預金協定利子引下之事。

市役所
臨時炊飯救助
約千人分

臺北市役所。二十五日午前中。臨時炊飯救助。配給于市內太平町八九丁目河合町。建成町。製糖會社。愛愛寮。日新、建成兩公學校之避難民。約有千人分。

意外多數
電信電話故障

此番暴風雨。電信電話故障。意外多數。臺北、草山間一、二番。電話線。午後三時五十分。同北投間七時四十分。宜蘭。雞東間。六時半。基隆線。七時。花蓮港線七時六分新店。深坑。坪林線。七時四十分。臺中線。九時十分皆見不通。而市內不通之處。凡二百軒。海底線却無異狀。電信因暴風雨。對岸中華方面。通信不能乃經由長崎通信。

興行物旗亭
一齊休業

二十四日夜。風雨交加。風速達十八米以上。臺北市。化爲黑暗。行人絕跡市內興行物。及旗亭、酒場全部休業。

避雨無事
游弋花蓮港
廿五驅逐隊

第二十五驅逐隊椎、梨、竹三艦。初擬于二十四日午前九時。由馬公入基隆。因于暴風雨中。甚爲憂慮。適至午後十一時。據馬公要港部。電達臺北驛。在海軍武官。三艦照豫定。于二十四日朝。至基隆外港。時適暴風雨。港內諸船舶往來頻繁。未離入港。乃再出港。爲避低氣壓中心。游弋于花蓮港。全員安然。俟風雨靜歇。決于二十五日入基隆港。關係者一同始展愁眉。

臺北低地化成澤國
人家紛々避難
家屋倒壞人畜死傷

二十四日北部暴風雨。自辰至夜。風狂雨驟。過午風雨漸猛。山間尤甚。各溪增水。午後六時頃。臺北市港町、有明町、綠町、堀江町、蓬萊町、東園町一帶。已化成澤國。堀江町附近人家。浸水數尺。人家紛々避難。午後十一時龍山寺前一帶濁浪滔々。水已侵入人家。綠町遊廓浸水二三尺。低下人家。夜半紛々挈眷避難。幸二十五日午前三時過。風雨漸歇。水亦漸退。龍山寺前榕樹。倒折無算。有明町人家。倒壞一戶。各處交通機關杜絕。被害程度尚未判明。臺北市內電燈幾乎全滅。雖有一部分送電。要時即滅。全化黑暗慘狀莫名。

板橋被害
江子翠最慘
役場炊飯救助

去二十四日正午風雨猛烈海山自動車。運轉停止。至五時。道路浸水。交通杜絕。郡警察課員。街役場吏員。壯丁團等。總出動。徹宵警戒。對附近浸水住民。全部救出。而江子翠。被害最慘。全村浸成泥海。浸水深者九尺。淺者六尺。戶數二百九十三戶。人員一千五百人。家畜流失不計其數。翌早街役場。從事炊飯救助。而板橋街管內被害如左。

一、家屋倒壞十二棟浸水戶數五百餘戶人員三千餘人。
二、浸水面積水田五百九十八甲甘蔗三百八十三甲其他百甲。
三、流失面積甘蔗二甲甘藷十八甲蔬菜二十二甲
四、埋沒面積水田二甲甘蔗六甲甘藷十六甲蔬菜十五甲。

右農作物總損失金約一萬八千圓。

被害告訴
蘇澳有持勢毆人

蘇澳庄蘇澳字南方澳一番地吉山萬次郎。長男吉山瀧雄。年二十七。去二十日。有雨林鐵工場見習生揚三興。年十六才。經過南方澳海岸。過瀧雄之女年八歲。以石擊船。在其發動機船中游戲。欲止之被其女罵清國奴。三興罵其牛蕃。是日午後六時半瀧雄竟以拳足毆打三興。致上下兩眼瞼。及右下腿脛骨中央部。心窩部。腹部要處。負十餘傷。一時人事不省。扶到蘇澳某醫院診斷。爲所拒絕。不得已到羅東竹津醫院診斷治療要一週間。三興之母心甚不甘。去二十二日向警察課。提出傷害告訴云。

瑞穗丸
內地行延期一日
即廿六朝十時發

大阪商船瑞穗丸。向訂二十五日午前十時。由基隆望內地發。乃爲暴風雨拜然起。結果。板橋鶯歌間。汐止五堵間。淡水湖大山間。列車不通。南北一般乘客。多不及時至基。一時決定只載貨物。照期而發。嗣爲顧慮歸校學子。及他方面要望。因爲延期一日。即訂二十六日午前十時。望東出帆。據基隆大阪商船支店發表云云。

新竹
測量港灣

新竹州土木課。目下派遣係員。前赴竹南郡公司寮。併新竹郡舊港。測量兩港地勢。併土地高低。按本月末終了。

陳情團自動車衝突
謝大江氏右眼裂傷
全治須二週間
林郭兩氏輕傷

二十四日東京支局特電。林獻堂。郭廷俊。謝大江氏等。今朝到大藏省。訪大藏次官歸途。同乘自動車。午前十一時頃。到眾議院正門前。忽豪雨傾盆附近多數自動車。冒雨疾走。走到佐久間町方面。一自動車與林氏一行自動車正面衝突。林氏自動車欲避之。該自動車。衝突林氏自動車橫腹。運轉手更欲避之。觸及路傍樹而停車。是時林郭兩氏。胸部受打撲傷。謝氏顏面右眼上負裂傷。到日比谷病院。應急治療。全治要二週間。林郭兩氏打撲傷。但爲輕傷也。

是々非々

埤圳崩壞。農夫爭水械鬥。某家父子。以二毆一。可謂橫暴極矣。被害者負傷極重。向某分室。提出告訴。今乃以庄長之妥協爲。而恃以無恐。公理安在（庄民慣憤）板橋某巡查。往々拔劍砍剮人用物。而人被傷欲泣。不敢出訴（テロ行爲）三峽某處通行道路。任路婦女。披曬衣袴其上。異々使通行者。生出無限厭惡（取締之何如）新竹籠請茶。動輒使路友人破毀。不發氣。益深刻。實體尚且支納。豈可再令人破毀。廢止何如（一不顧飲茶者）

製氷募股

新竹市王築陳大送。魏清淵。關福枝。外數名。出爲倡首。籌設冰塊製造會社。社名稱爲新竹丸越製氷塊販賣株式會社。每股五十圓。按募一千株。二資金十萬圓。現陣募將達豫定株數。不日開發起人總會云。

告訴傷害

新竹郡香山庄南油車港謝陳氏劍。年四五。去二十一日早朝由些少事故。與同處彭氏却口角。遂至格鬥。陳氏將持宅內竹梢。毆傷彭之頭額部。致彭流血滿地昏倒。即由家族。昇往新竹醫院。受醫診族三星期之重傷。翌二十二日。向當局提出告訴。

消防行事

新竹消防組闘習修了式。去二十日上午八時起。由國谷警務部長。谷保安課長。及諸防署長以下列席。定刻由署長授與證書。次部長訓示。田中組長答辭畢。繼舉喞筒操縱高登雲梯。手非操演等項。至海齊各携家眷。齊集於南寮。開納涼懇親會。

盂蘭節約

古曆七月尚慣。有普施餓鬼之舉。當此殺人的不景氣之秋。有識人士。提倡節約。馬公城內首先示範於城隍水仙宮。及四標各廟。並大街普施。俱節減祭品。少宰殺畜等物。而湖西庄管內鄉村各廟普施。亦不預戲。至無益燒之高搭等。亦改良。或罷除。聞者多之。

暴力兩誌

去十八日。馬公街管內蘇捜鄉因占據捕魚場。無漁業許可。一航漁業者。無端出漁。爲內地人江口氏。租屋在翁某家。且爲其漁夫。以錢引受漲大衆之漁場。慎無可阻。逐於是日投告保正吳斎江氏。適翁某在附近場。即行毆打。致翁受重傷。又同日馬公街內。爲上魏氏洗澡實。一群無知煮子圍觀。林修氏喃遂某放。致受爽傷。並與徐基氏演一武鬧。現已受當局取調中云。

服食者鑒

湖西庄轄青螺鄉。李後之甚李勘氏家。素有婦人病。爲口渴閉一殷氣罐詰吃下。不數分鐘間。發吃下熱米粥一小碗。逐入臥房假息。約三句鐘頃。七歲兒入房。任呼之不應。詳視之眼已吊上。因大驚。呼家人入內施救。奈已氣絕。無可回生。年幾四十一。大凡吃生菜子。不可即食熱。茶及湯粥等於生樣及鳳梨酸冷品。尤宜禁忌。可引爲鑒云。

澎湖
基金處分

澎湖本廳水產會。所有之成就丸。發動機船一艘。馬力五十馬。噸數三十九也二六。船價萬四千圓。自去年貸付林聽及保證人徐查等。各與約濟。船員用漁人。高雄黃田氏及木島大興漁夫外數氏。於去十二月二十四日午前六時。由高雄出港比律賓方面出漁。不圖於本年一月八日。午前三時半。機械折損。航行失其自由。幸漂著至南洋郡島船員雖竹報平安。奈至今流離困苦。不得回籍。家中人望眼將穿。帝國南洋總領事木村氏。亦念汎催促設法。使其回航。本期水產會長。臨時召集。評議員會議。已得一同贊成。就基本金。先爲費出救濟船員回籍。最爲爭要云云。其他該船。或在該島發賣。或如何處置。必使告一段落云。

會事

▲新竹州女子青年團指導者之講習會。經於去二十三日上午九時。由西村敎育課長臨場。舉行開會式。於新竹高女。西村課長。對講習員四十名訓示後次木村視學。關於青年團之使命。終由講習員總代答辭式畢。

▲宜蘭女子公學校同窓會。訂月二十八日。午後一時起。開於該校講堂。披閱現在卒業生數有六百餘名。屆期可望盛況云。

▲竹東郡下各庄。爲謀講股前溪漁業組。開水產座談會。日期竹林去十九日。南河去二十日。橫山二十二日。二重埔九月一日。竹東三十日上坪四日。寮坑五日。

▲彰化郡南郭公。第三回卒業生第七回同窓會。訂來二十八日午後三時開於母校。

▲彰員北斗街人會第五回總會。訂來二十八日午前九時。開於北斗公會堂。當日審通議事以外。將舉役員總改選也。

人事

▲新竹州西村實業補習學校教諭。者番爲參加農業大學所開合講習會。去二十日出新竹啓程上京。又同州補習學校伊藤教諭。亦同日自竹首途上京。擬參加於東京夏李之講習會。歸途巡視東京々都兩府。外五縣下之實業教育。

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁

家庭百科重寶辭典

婦女界十月記念號特輯大附錄

好期來る!!

この空前無比の百科全書を本社創立廿周年記念として婦女界愛讀者に無代贈呈!!

全四巻一千餘頁!!

萬語數約一萬語!!

説明密畫約一千個

單行本では、どんなに廉く見ても、五圓以下では頒布出來ないものです。

▼凡そ主婦に必要な知識なら、悉く本書に集錄!!

▼十月以降順次毎月添付します。

▼第一巻は婦女界十月記念號（十錢）に添付し、二巻三巻は十一、十二の普通號（十五錢）に添布します。第四巻は昭和八年一月特輯號に添付いたします。

▼部數に限りがありますから、この機會を逃すと永久にお手に入りません。

スグ予約下さい

この廣告を御覽になり大至急最寄書店か、直接本社へ御予約お申し込み下さい。

内容見本進呈

全國各地の書店に内容見本あり。書店に不便な方は新聞名記入直接本社にお申し越し下されば、早速お送りします。

東京市丸ビル二階 婦女界社

預金利息改定

預金利息割合八月二十七日ヨリ左ノ通リ改定致候

定期預金 六ヶ月以上年四分七厘以下

當座預金 百圓ニ付日歩四厘以下

小口當座預金 百圓ニ付日歩九厘以下

昭和七年八月二十六日

株式會社 臺灣銀行

預金利息改定

預金利息割合八月二十七日ヨリ左ノ通リ改定致候

定期預金 六ヶ月以上年四分七厘以下

當座預金 百圓ニ付日歩四厘以下

特別當座預金 百圓ニ付日歩九厘以下

昭和七年八月二十六日

日本勸業銀行臺北支店
日本勸業銀行臺南支店

預金利息改定

預金利息割合八月二十七日ヨリ左ノ通リ改定致候

定期預金 六ヶ月以上年四分七厘以下

當座預金 百圓ニ付日歩四厘以下

特別當座預金 百圓ニ付日歩九厘以下

昭和七年八月二十六日

株式會社 三十四銀行臺灣各支店

預金利息改定

預金利息割合八月二十七日ヨリ左ノ通リ改定致候

定期預金 六ヶ月以上年五分貳厘以下

當座預金 百圓ニ付日歩四厘以下

特別當座預金 百圓ニ付日歩壹錢以下

昭和七年八月二十六日

株式會社 臺灣商工銀行
株式會社 華南銀行
株式會社 彰化銀行

預金利息改定

預金利息割合八月廿七日ヨリ左ノ通リ改定致候

一、普通貯金 百圓ニ付日歩壹錢

一、特約普通貯金

期限	壹ヶ年	貳ヶ年	參ヶ年	四ヶ年	五ヶ年
百圓ニ付	九五・〇〇	九〇・〇〇	八五・二〇	八〇・五〇	七六・〇〇

一、定期預金 六ヶ月以上年五分貳厘

昭和七年八月二十六日

株式會社 臺灣貯蓄銀行

速記大學 貸費 給費 傳習生募集

蛔虫驅除 蛔取粉

協立煉乳　滋養雄厚　味道純正

食慾不進に どりこの

つめたい滋養飲料 カルピス

文藝春秋 九月号 四十錢

愛郷塾生と農村問題を語る座談會

東京市麹町區内幸町大阪ビル 文藝春秋社

早稻田大學講義

早稻田大學創立五十周年記念　秋季新學期開始

獨學で中等學校卒業以上の實力が得られる最新最良の講義錄。特に今回の入學者には十月に早大五十周年記念品を贈呈する。

中學講義

小學校を卒業した人なら誰でも容易に中學卒業の實力が得られる日本一の中學講義。内容益々充實し、今回は時勢に鑑み支那語の講義をも加へました。自分の力次第で前期後期のどちらへでも自由に入學が出來る上に、卒業後は早稻田大學特別入學や學費給與等の特典もあります。

高等女學講義

小學校卒業程度の學力さへあれば、この講義に依て一日二時間位づつ僅か一年半勉强すれば女學校卒業程度の學力が得られます。また專檢や小學校教員檢定受驗者にとってはこの上なき好參考書です。受驗手續や勉强法については、附屬雜誌「早稻田」で詳しくお教へいたします。

商業講義

小學校を出ただけでも貧業上の知識さへあれば就職も早く、商店・會社・銀行方面でいくらでも出世ができます。本講義を讀めば一ヶ年半の獨學で甲種商業卒業の實力が得られ、又文部省や商工會議所の資格試驗にも容易に合格ができます。本講義こそ眞に成功の鍵です。

文學講義　建築講義　政治經濟講義　電氣工學講義　法律講義　電氣工學豫備

内容見本進呈

東京牛込 早稻田大學出版部

コダック ヴェリクローム フヰルム

盛夏の雲と海の寫眞には强大な整色性を有つヴェリクロームを

コダック ジャパン リミテッド

足を愛せよ 水虫を絶やせ

滲透性殺菌力の強い爽快な液剤ボンホリンの使用により水虫、マタグサレの苦惱は一掃されん

水むしに ボンホリン

エビオス ビール

●歯痛に頭痛はカオカンで直る●

メンソレータム

外傷の名薬として化社の秘薬です

赤箱 マツダランプ

經濟の統制

何づれのお部屋もマツダランプですか？均等せる品質、素晴しい明るさ、僅少な消費ワットは赤箱マツダランプの唯一の特徴であり電燈經濟解決の要諦です。

川崎市 東京電氣株式會社

臺灣と風水害の根本對策

山を愛さぬ惡習は頗る厄介

（二）

淺草區の本田を負く近くに持つ臺灣としては、暴風雨や水害に對して平素から特別の施設や用意をして置く事が極めて必要であり、この用意を怠つてゐる地方に其の被害の多いのに苦しまねばならぬのであらう。殊に北部の問の中南部の水害や二十四日夜から二十五日にかけ北部の浸水等を見ても臺灣の風水害なるものが好い加減の考へ方や一時的の施設だけでお茶を濁して置けぬ事をしみじみ痛感させてゐる。

三

元來臺灣の地勢は、中央に高峰が屛風の如く南北を縦走し、此の連峰は西海岸方面に向つて急勾配で傾斜してゐるので、急雨の際に山地の雨水は一度に同一方向に向つて押し流され、土砂による崩壊、山くづれ、出水による平地の耕作物等の被害など決して輕視はできず、甚だしいのになると今回の出水の如く人畜の死傷等も夥しい數に達するのである。而その上、本島の實際に就て見るに、バナナや茶や其他の栽培から斷崖に山の傾斜面を利して了ふので一度豪雨が來ると直ちに斜面の土砂は洗ひ流されて河底を埋める。山を愛せぬ臺灣では山を製せずして盛んに木を伐り出すのみ、耕地にもならぬ樣な傾斜地をよく掘り返して時に二重にも三重にも水害を引起すべき素因を作り出してゐるのである

三

臺北近郊は、昔海底であつたと伝はれる程に底地であり、淡水、基隆川等が合流して淡水の海に注ぐのだが、それが奥地の山を荒してゐるので河底の埋る事は怖るべき勢で、出水毎に臺北が水浸しとなるのは見え透いた所である。殊に周期的にでもなると淡水河は泥流し易い、この水害を徐々軍からじめてゐる、この状態を此の儘に棄ておくと臺北市の將來は誠に寒心に堪へぬものがあるであらう。而して是等の問題は臺灣に永住を期する多數の住民に取つては可なりシリアスな案件であつて其場だけに任せて安閑たり得ぬものと信ずる。吾人は今年の中南部及北部の水害等に鑑み風水害に對する根本對策を今少し眞面目に且つ眞劔に考慮するやう一般世人の注意を喚起したく思ふ。

本舞臺に入つて猛烈なる質問戰

第一陣を承はつた森恪氏

滿洲國承認で外相に當る

衆議院本會議

【東京二十五日發電通】二十五日の衆議院本會議は三大臣の演說後政友側の猛烈なる質問戰に入ると言ふので傍聽人達々押しかけ大入滿員の盛、議場も何となく緊張味が漲つてゐる、午後一時十分秋田議長着席開會を宣したる後

秋田議長 諸君が議會の品位維持に御配慮下さつてゐること を感謝す

と議場靜止に一本釘を刺し首相を初め

齋藤首相 登壇、貴族院に於けると同樣の施政演說をなし終つて

内田外相 登壇同樣演說し、次で高橋藏相登壇追加豫算に關し說明演說をなし終つて愈々質問に入る、第一陣として

森恪氏（政友） 政府は滿洲國承認を單に法律手段と考へ政治的重大な意味を輕く見てゐる、政府が斯かる見解を有するは極めて危險なり

と斷じ滿洲國承認が聯盟アメリカとの關係を惡化せしむる惧れあるを指摘しその重大性を述べたる後

政府は神聖なる承認をなすと言ふ、在昔日を徒らし、靜觀を經つた形跡すらない、日滿問題であるが、承認の結果生ずる列國との關係惡化に對應する措置又は對內的國民思想悪化を防ぐる組織の完實等の重大問題は顧みられてゐない、滿洲國單獨承認は斯かる重大な意義を含むものと諒解してゐる、而してこの意味の承認は私が亞細亞に返れと多年主張し來た所と一致するのである、即ち日本精神に返り亞細亞を護ることである、この意味に於て果して政府はなすべき準備を有するや

一、承認の準備程度と程度如何
一、滿洲國の承認に依る國際情勢變化を判斷し居るや

等を質問する

と述べて降壇

内田外相 森君の質問は意見の開陳で質問部分のみ答弁する
一、準備の種類程度は答へられぬ
一、我國の行動は不戰條約違反でなく列國も次第に諒解して來た、國民もこの公正な主張を飽國一致貫徹するの熱心を持つてゐるから何物も恐れる必要ない

と說し

森氏（再登壇） 外相は國を焦土としても滿洲問題を解決する決心であると言ふ、然し國を焦土とする前に善處するのが外交であり政治である

と一矢を酬ゆ

對し執るべき態度と見解と方針とを明示した、最後に於て隣邦支那政府の反省を促し日支提携して進むことは東洋平和の基本的原則である事を高調した邊り當然の事とは言へ國民の容易に首肯し得る所である。吾人は定評ある我が國外交が、今日に至つて漸く自主的外交に轉向した事を國民と共に喜ぶと共に現政府及び内田外相が萬難を排して此の大道を突き進むやう望まねばならぬ。

内田外交の自主的色彩

其の方針演說も大體に好感

内田外相が自ら「最後の御奉公」を期して外交の難局に當り、懸命になつて時局に善處しつつある態度は大體に於て國民に好感を與へてゐるやうだ。國民が外相の外交方針に對し特に共鳴を感じてゐるのは、此の外務大臣に至つて初めて自主的外交の大道に立ち戻つたからだ。尤も内田伯の此の方針が何時迄續くかは固より豫測を許さぬが此の自主的外交方針の續く限り國民は内田外相を支持し支援することを忘れぬだらう六十三議會の外交方針演說は、内田外相として最初のものだけに識者も國民も特に留意して傾聽したものと思ふ新外相の方針としては滿洲國承認を改めて明言し、帝國の行動と滿洲新國家の出現とが何等不戰條約に觸るるものに非ざる點を強調したる後、日本として滿洲國家に

公債は百億でも心配は要らない

大口氏の質問に對して

高橋藏相が答辯

次いで

大口喜六氏（政友） 今日根本の問題は前途を如何にするかで政府は國救濟界の財源を公債に求めてゐるが公債は七十億を越えて利子のみで三億五千萬圓以上で、この際でどうなるか目前の国救は出來やうが根本の国救をどうするか、之が現内閣の使命である

と述べ農村問題を取上げ

對策の問題で農業問題の要點は下落に對する安定問題で、どの國を標準として安定さすかが問題である、當面の措置として國内における正貨保有高を増大することが必要である

齋藤首相 經濟案は時局匡救を目的とし農山漁村の救濟が中心になつてゐる

と答へ、藏相の答弁を政友會側の希望に入れの答弁に譲る

高橋藏相 大口君は公債の殖える事を心配されるが、この國救案に依り國民所得増加し經濟界回復すれば公債が八十億百億になつても心配は要らぬ、

の安定は生産力を起し在外資金を必要とする我國も英米の如く在外資金を有して居れば爲替安定策も講ずる道があるかも知れぬが、哀しいかな在外資金がない、大口君は何故買上金を海外に出すかと言はれるが之は二億の外債拂に充てられてゐる

大口氏 私は今から在外資金を蓄積しては如何と言ふのである、又公債發行が不可と言ふのでない、增發された公債を如何にして利拂消化して行くか政府の所信を承はりたいのである

とて質問を打切る

犬養氏の暗殺事件

今議會中に報告

濱田氏の質問に首相答辯

濱田國松氏（政友） 現内閣は思想問題を重視してゐるが疑多過信の點多い

と前提し犬養前首相暗殺の公表を迫る、次で明治問題に鋒を向け四千萬圓の脫稅は思想的に重大なる影響を持つ、この問題で司法、大藏兩省の呢合あるは遺憾であるとし皮肉たつぷりの質問を爲して降壇

齋藤首相 犬養前首相暗殺事件は今議會適當な方法で報告する、岸本樺太長官問題は事務上の

と言ひかければ政友側總立ちで首相暗時立往生し、國き兒て一旦何かしやべつてさつさと降壇、政友

負債整理につき考へて居らぬ

川崎克氏の質問

川崎克氏（民政） 一、負債整理と限定貨幣低化のための產業資金の融通とは金融疏通のため是も必要である、その目的達成のため國家の補助が不可缺である、然るに政府は負債整理に就ては殆んど考へて居らぬ、既定貸整理も不動產金融事業村に就ては稍々見るべきものあるも中小商工業者には薄い樣でない、この點甚重視すべきでないか
一、國救土木事業の確實性をはつきりさす爲めには三年間の繼續豫算とすべきでないか
一、米國の徹底的對策なきや
一、低金利インフレーション政策强の目標は平價切下なりや

山本内相 救濟土木事業中に一年のものあり二年三年の豫定のものもあるがこは今回の豫算實施の結果を見た上で決したい

次いで中島商相、後藤農相等所管事業の内容を說明し

川崎氏（再登壇） 負債整理には國家の補助が絕對必要だ

高橋藏相 個人間の負債整理に立入つて國家が考へることは難かしい

議場々湧き立つ

永井拓相 岸本氏に辭めて貰つたのは一つに植民地產業政策に疑惑あるものに代つて貰ふためだつた

と弁明政友依然騒ぎ立てる

中野正剛氏（國同） 今日の農村は絕對絕命、努力すればする程損をせねばならぬ、この事實を見ずして自力更生を說いては何等の效果もない、自力更生を說くならそれだけの餘裕を與へてからするがよい、各省提携の豫算を集めただけでは非常時豫算とは言へない低資融通にしても大した效果を望めない、現内閣は擧國一致でなく官僚内閣だと長廣舌を揮ひ次で外交問題に入り

前議會で滿洲國の速かな承認を決議してから二ケ月經つたが何等形勢の進展を見ないのは議院の決議を尊重しないものと言はねばならぬ、外相が不日承認すると言はれたのは武藤全權の着任次第承認すると言ふ意味か、スチムソン米國務長官が日本を侵略者呼ばはりしたのは日本に對し外交的挑戰だ、外務當局はどんな措置を執つたか、新聞では釋明で出淵大使は直ちに水に流すとあつたが中學校の文法見たいな言辭で濟む問題と思ふか

と詰め寄り之に對し齋藤首相、内田外相等登壇答弁を爲し午後六時二十五分散會した

低資融通に依り（臺鮮米は現地保管）

植民地米移入管理法案の議會提出不可能となる

【東京二十五日發電通】大藏拓務兩省間に折衝中の植民地米移入管理法案は之に關聯する經濟界の關稅引上げ、植民地米買上財源等の諸問題解決付かず該法案の臨時議會提出は不可能となり、低資融通に依る臺鮮米の現地保管に依る外なく豐作見込に出來秋の米價維持は悲觀さるるに至つた

殺げば八割近くを埋た議席は寂を存んで傾聽する、首相の演說は十時二十分終了し

内田外相 代つて登壇、原稿用紙に細かに書いた草稿の東を左手に持つて演說を初む、何劇は一本調子の朗讀句調ながら内容は極めて簡明的であり、且つ明快なので議席も傾聽の外相の態度な印象を受ける、特に現在の外交方針と對立的立場にあつた前後の勢院元外相の如き特に何日出席して終始腕手を胸の上に組み一語も聽き洩さじと耳を傾ける、又荒澤前外相も極めて神妙に拉聽する、外相の演說は二十五分間で四十五分終了拍手を浴びて降壇、次で通告順に依り質問戰に入り、第一陣を承り

柳澤保惠伯（研究） この臨時議會が開かれたのは時局匡救のためであり、その中心は農民及び中小商工業者の救濟にある事明かである、然るにこの方針に反する一種の增稅とも見るべき政策が本月十八日の官報で公布されてゐる、この金額は三千四百餘萬圓でこの内農村、中小商工業者、敎員、勞働者に關るもの二千餘萬圓に達する、之は本年十月一日より實施さるる郵便貯金利下である、之に依つて大打擊を蒙る人々はこの臨時議會に於て救濟せざるべからずと政府が努しつつある階級である、斯くの如きは實に甚だしき矛盾の政治と言はねばならぬ

とて右金額算定の基礎、農商山村勞働者の郵貯率等お得意の統計學上から論じ立て

特に主務大臣たる南遞相は人情に通じた人であるその南君が斯る悪勅令に何故賛成されたか、又之に何故反對しなかつたか、この點特に伺ひたい

と詰つて降壇

齋藤首相 經濟界の打開を計る一手段として通貨流通の圓滑を期するため郵貯利下を爲し之に依つて預金部資金貸付を低ならしめ引いて一般金利の引下を促し產業の振興を計らんため忍ぶべからざるを忍び斷行せるものである

南遞相 この利下は勿論忍びないが新くすることが全經濟界振興の基礎と言ふべき低利資金の圓滑なる流轉の發動となるものと思惟したるが故之を爲したものである、この利下に依つて細民階級が影響を受ける事は否定しないが斯る政策は結局細民階級のためである、又利下の影響を蒙る者は細民階級のみでないから勞くとも之を忍んで貰はねばならぬ

と述べ柳澤伯不滿を述べて質問を終り

郵便貯金の利下は時局匡救に矛盾する

柳澤伯先づ第一矢（貴族院本會議）

【東京二十五日發電通】二十五日の貴族院本會議は非常時議會に對する現閣の方針に關する齋藤首相と内田外相の演說を聽いて異常の緊張を示す、殊に外相の演說は彼の強硬を豫想さるる國際問題を控へ議場は

後的な國の意思表示と見らるるので外交官席は立錐の餘地なき盛況である、午前十時議長と共にモーニング姿の齋藤首相を初め各大臣續々出席、議長席を中心に右側に齋藤首相、高橋藏相、山本内相、三土鐵相、鳩山文相、中島商相、後藤農相の順、左側は内田外相、荒木陸相、南遞相、永井拓相、小山法相、岡田海相、小山法相の順で四五分德川議長開會を宣し直ちに

齋藤首相 登壇、滿場を圍むで悠々黒縁眼鏡を掛け施政演說に移る、首相は痩くも悠々として

貴院に珍しい菅澤氏の堂々の陣

各相次々に答辯に立つ

菅澤重雄氏（研究） 昼食後
一、非常時に於て擧國一致の内閣の首班たる齋藤首相は農村救濟の熱烈な信念を有して居るか
一、農村負債整理法案で完全に負債の整理が出來るものでない、土地國有、少くとも耕作地のみでも國有とせねば根本的解決出來ぬ、政府は之を斷行する決意ありや
一、米價調節對策方法に不備なる點に依り之を解決する意思なきや
一、政府の國策の徹底を計る意思なきや

一、農村の負擔は殊に甚だしく過重である、政府は地租の全廢を實す決意なきや

と熱辯に氣焰を爲した上

本議會に提出の農民救濟や自力更生の唱導では我民國有に就ては、政府に宜しく以上諸項を行へ

後藤農相 一、本議會に提出の案は主として應急対策を應しとしては珍らしく堂々の陣を張り之に對し

一、本議會に提出の案は主として當面の急に應ずる下段中段の手段で根本的なものでない

と答へ

一、土地國有は關係する所廣範で重大問題なれば今直ちに實行し得ない、國家國民とも必らずしも利益とは思はれぬ
一、米穀法は實行可能か否か、可能でも果して效果あるや疑問であるから政府としては既定方針をやつて行く許りである

高橋藏相 土地國有が實現せば地租は無くなるが之が實行に就ては考へて居らぬ、且つ地租全廢の準備もしてゐない

小山法相 本法は太政官令に

けふの兩院

【東京二十五日發電通】二十六日の兩院

貴族院 午前十時本會議開會時局匡救助成金改正案（政府提出）を上程、次で國務大臣に對する質問に移り藤田主計氏（研）細川護立男（公正）の質疑する筈であるが藤田氏の質問内容は時節柄大いに注目されてゐる

衆議院 午前十時より豫算委員會を開き政友會の大口喜六、若宮貞夫、田子一民外各委員十數名立つて政府に突擊を試み同時に請願委員會を開く、又本會議は午後一時開會日程に入り

貴族院雜觀

【東京支局特電二十五日發】貴族院議會も愈々本日より本格的となつた今迄ドンよりとした天候も今日からしつかりと定まり傍聽席等は晴られる樣な盛況だ、何れも扇子を一杯にひろげて煽いでゐる、豪傑連中の如く突しい、唯議席の大臣達は決して扇を使はない御苦勞な事です

—○—

首相外相の演說が終る頃は道の十六代様も十五夜お月樣の樣な圓顏を議長席にしどけなくグチヤリと据たへる、各大臣もそろそろ姿勢を崩しはじめたが矢張鹿島出身大臣は姿勢等お構ひなしの様だ

—○—

齋藤首相は相變らず下向きかげんの朗讀演說、そして一度も議院席に目をやらぬは感心だ、内田外相久々で壇上に立ち落年の口の隅い癖でやり出したが矢張年のせい

とも云ふか後には聲も落し濁り掛けはなかつた

—○—

柳澤伯の質問に對し南遞相答弁を試みたが一寄居士の觀あるだけに「郵貯利下げは非常時の我慢だ少し我慢して」と云つた樣な口調でやつつけた

—○—

次に菅澤氏の質問に對し後藤農相なか一寸困つた顏で「農村救濟問題は之が根本問題に觸れるとか觸れないとか云つてゐる場合ではない取敢ず當面の急に應ずるの策だ、今すぐの間に合せる方法だ根本策は後廻し」と云つた調子でなかなか要領がいいかにも後に見えた、更に角今度は南、後藤兩相が立役者らしい議場振である

—○—

會期中になにか突發事件が起りはせぬかと見られてゐるが田邊熊一氏の話では會期は或はのびるか幾つかの法案は結局通過だらうと

請願案上程

總督の地位に關する

廿六日下院委員會に

【東京支局特電二十五日發】貴衆兩院の總督の地位に關する請願案は愈々二十六日の下院請願委員會に上程することとなつたこれが說明は岩多紹介議員がなす筈

依り公布されたものであるから、その後該勅令は改正して來て居るので政府として此の際に於て改正すると言ふ所迄極めて大なので目下の所改正すると約束することは出來ない

齋藤首相 先程の演說で申した以外格別申上げる事はない

之に對し菅澤氏自席より「あれだけでは國民は納得致し兼ねる非常時に應みもつと切りしたところを行つて戴きたい、自力更生の指導位では救はれない、次の議會にはもつと突切りしたもの出せ」と詰へ

齋藤首相 今後三年位で根本的救濟する積りでこの議會に出すものは根本策でなくその一部にすぎぬ

と答へ之にて菅澤氏の質問を終り十一時五十三分散會

移入統制案

政友會提出

近く議會に

【東京支局特電二十五日發】政友會にては内地農村救濟問題に關聯し植民地米の内地移入統制に關しても既に成案を得居り、近く議會に提出する筈であるが、その内容は植民地よりの移入米は全部政府に於て買上げるものであると

民政黨はまだ動搖か

民政黨内で幹部を非難

政友の拓相彈劾につき

【東京二十五日發電通】二十四日民政黨を脫黨せる町田若水氏は政部の態度にも滿ぜず遂に第一議院に入ることになつたので三木武吉四名となつたが更に富田幸次郎、松田竹千代、俵孫一、宮古、平代木勝吉氏等の進退も注目されてゐる、殊に一方安達氏の國民同盟に參加するもの八名も國民同盟入を豫想さる傾があるので幹部は勢ひ一致の打開策に腐心してゐるが同黨は內紛の波瀾は免れぬ模樣である

【東京二十五日發電通】政友會の一部に起つてゐる永井拓相彈劾問題に關し民政黨幹部が之を輕視して何等防止策を取らぬのは怪しからぬとの論が民政黨内に起つて來たので二十五日の院内代議士會で松田源治、頭本元貞らより決議を放任してゐる譯ではないと釋明した

各豫算案

衆院に提出

【東京二十五日發電通】政府は二十五日衆議院に左の豫算案を提出した

（第一號）昭和七年度歲入歲出總豫算追加案
（特第一號）昭和七年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
（追第一號）豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件

借行社長後任は井上大將

【東京二十五日發電通】武藤大將の榮轉に伴ふ借行社長の後任は井上幾太郎大將が任命された

臺電の新經理部長

臺灣電力參事水上清次郎氏は二十五日經理部長に任命された

蓬萊丸より（米航）

門司發便乘者數、二十四日夜半より波高くなりし爲搖少く淺野中佐、木村少佐、竹藤經濟會社長、熊井、横田、猶永、小野大尉、小川、飯野南中尉、外多數一同無事二十六日午後一時着の豫定（二十五日發無電）

船車發着表

本日の本紙に添付

九月分船車發着時間表を本日の本紙附錄として添付した、爾本月號より鹿島線及び臺北自動車の發着分を新たに加へた

辭令

臺北帝國大學敎授　日比野信一

補總督府臺北醫學專門學校長

敍勳六等 二百七十四下賜

シナチク

▲臺北地方は淡水と目と鼻の間だ、臺北市は淡水から十八尺しか高くない、▲ソレも淡水の海と云ふ所で里を距たつてゐる▲市を少し增水すると直ぐ影響を受けへラヘラしなくてはならない▲市を貫通して流れる淡水河は鮮だに保つて大丈夫だが其の下流で基隆川と合流する處で急に水位が高くなり淡水河から下へ流れるのが逆流して來る▲それで今日臺北市が浸水するのは淡水河からではなくて實は基隆川の逆流に依る前を流れ下る基隆川の增水が上流からかけて來るのであつてそれで臺北市の浸水は大下水を伸び淡水河からのみにならぬと說明して之が完成しても臺北の大濁水を防げるかどうか▲若し基隆川の岸に浚渫工事をしないと▲暴雨が臺北市内の水は淡水河と結び付けて高い堤防を作り浸水と云ふものは河川で水を流し出してゐる處に更に都市は沈水と云ふので心配はないだらうといふ。

廣告

開業廣告

新協發商店

臺北市京町二ノ二

◎革命的黑板拭

臺北市新起町四ノ一　大德商行

基隆　醫學士有山周郎氏を聘し自今診療に從事爲致候

久恒小合堂醫院

追て院長久恒は病氣全快次第有山と共に院務に精勵可致候

菊松　白鹿

玉冠景品附

高砂の生瓶詰

高砂生ビール

暴風雨一過の慘澹たる光景
（上）臺北市兒玉町派出所附近（下）大正町六條通り

七堵の避難民二百名が 隧道で戰慄の一夜

基隆郡の住家倒壞大小破四百戸

【基隆電話】暴風雨の基隆郡下被害は電話不通のため不明であつたが二十五日午前十一時頃より七堵、暖暖方面が漸く開通し一部が判明した午後一時迄の右三庄の被害總計左の通り

住家倒壞六十五戸、同半壞三十五戸、同大破百十三戸、同少破二百八十六戸、浸水七十四戸、七堵庄避難民二百名は五堵トンネル內に寒さを凌いでゐた、非住家は倒潰大破等合せて約七十棟其他　暖暖派出所同小學校及宿舍は大破道路橋梁の被害は計り知れぬ

暴風雨後の奇怪な現象

井戸に毒瓦斯發生し 二名窒息死亡す

救援の二名も人事不省（七堵）

【基隆電話】二十五日午前十一時過基隆郡七堵庄瑪陵坑の井戸が崩壞したので同地本島人男が修繕に入つた所惡ガス發生してゐたため窒息救助に赴いた男も同樣窒息死亡するに至つた、更に續いて又二人の男が救助に赴いた所これ亦窒息人事不省に陷つたが漸く救助された、目下郡警察課吉田警部が現場に出張詳細取調べ中

死亡者の氏名判明

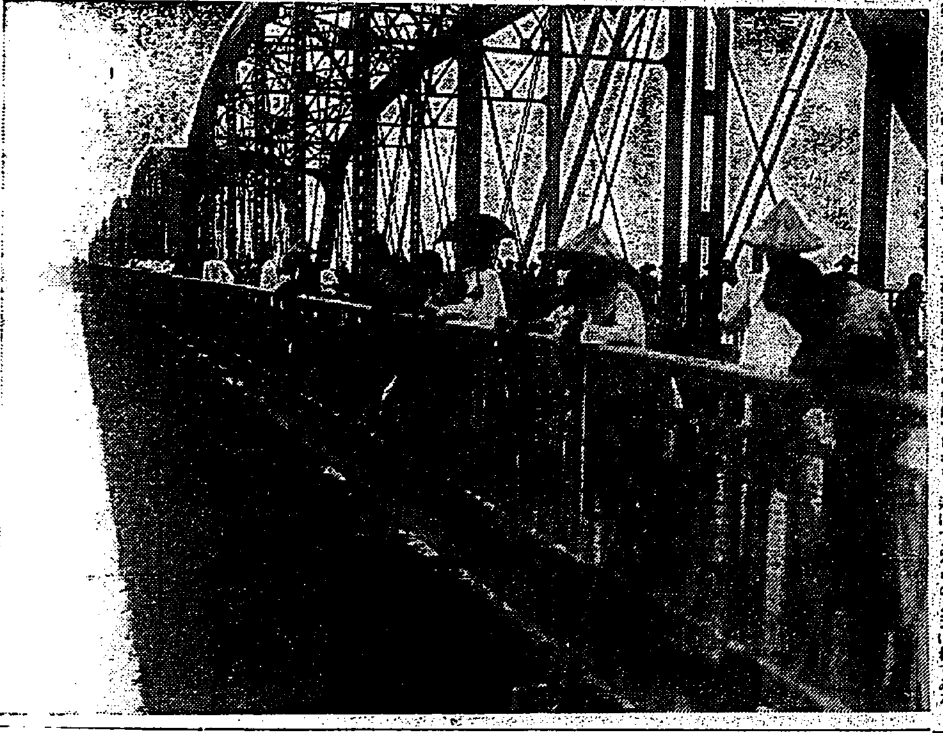
【基隆電話】既報基隆郡七堵庄瑪陵坑井戸に於て死亡せしもの左の通り判明した、同地一〇番地商店人林春來（二〇）及び同地二二番地張財發（三〇）で同日午前十時五十分同地一三七王坐所有井戸の水揚ポンプ修繕のため先づ林が入り次に張が救助に赴き兩名とも其のまゝ炭酸ガスのため窒息死亡したものである、尚後から救助に赴き同じく窒息瀕死の狀態にあつた二名の男は漸く救助され同地公醫の手當によつて蘇生するを得た

山崩れで家屋倒壞し 一家三名壓死す

慘澹たる新竹州下の被害

【新竹電話】新竹州下に於ける其後の水害は左の如く二十五日午前七時山崩れのため家屋倒壞し竹南郡三灣庄崁頂寮三〇九楊羅雙妹、楊黃氏冬妹（三）楊氏妹（三）楊玉金（三）は壓死し新竹郡關西庄石岡子八十一番地羅志良（三）は二十四日午後四時頃豪雨のため家屋諸共押し流された、又新竹、臺北間の電話は二十五日午前十一時電話線に午後三時頃何れも一回線だけ開通した其他の被害左の如し

警察官派出所被害（略）本島人三名、牛負死三頭、牛流失二頭、家鴨流失三十四羽、鷄死九羽、住家全壞七十一戸、同半壞百三十六戸、同流失十九戸、住家大破八十戸、同小破百五十戸、浸水百四十六戸、非住家全壞三十戸、同半壞三十四戸、同流失四戸、同大破十九戸、同浸水八戸、道路流失十五ケ所二百二十間、同埋沒五十ケ所五百四十四間、同破損八十ケ所八百五十二間、橋梁流失三十七、同破損十七、私設軌道線路流失十六ケ所二百二十五間、同破損七ケ所八十八間、同埋沒三十四ケ所百十九間、軌道橋梁流失十ケ所、同大破三ケ所、同破損六ケ所、同水田流失百二十甲、同荒廢六十九甲、同埋沒二十四甲、水田砂入百六十一甲、同浸水一百三甲、畑流失一甲、同砂入三十甲、同浸水七甲、堤防流失十四ケ所五百ケ十九間、同破損二十九ケ所九百二十五間、埤圳破損十七ケ所七百八間、電柱倒壞四本、警察電話流失十七本、同倒壞二十四本、電線流失二百間、同切斷六ケ所、山崩れ四ケ所、發動機船流失一、傳馬船流失一、竹筏流失一



◇水見物—臺北橋に集つた彌次馬連◇

內臺人四十名入亂れ 血河屍山の亂鬪

雙方重輕傷者を出す

【嘉義電話】二十三日午後九時頃斗六郡古坑庄に於て內臺人四十名入亂れ大格鬪を演じ庄民七名も本島人側に加擔し雙方相當の負傷者を出したが內地人側は既に松、和田他一の兩名負傷、本島人側は重傷者を出し大騷ぎとなつた斗六郡警察課にては急報により直ちに自動車にて現場に急行し主謀者と見なさるべきもの二十名を檢擧目下郡警察課に於て取調べ中であるが原因は賃銀問題で本島人苦力は一日八十錢の約束の所を支拂當日に至り七十錢に値下げせんとせし事より遂にこの騷動に及んだものであると

高雄も豪雨となり 全市暗黑化す

郡部は被害ある模樣

【高雄電話】高雄州方は低氣壓の關係で二十四日夕刻から天候險惡の徵を呈して全く黑雲に閉ざされたが十時頃から雨が降つた、高雄測候所の觀測によると二十四日午後一時から二十五日午前十時迄の雨量は百十二ミリを示し更に二十五日午前四時から五時迄は車軸を流すが如き

豪雨　にてその間の雨量は九十三ミリを算する豪雨勢の如何に激しかつたかを思はしめ同時にこの頃より市內の電燈は消燈して全市暗黑と化し猛烈なる

雷鳴　が加はりて光景物凄く午前四時過ぎ淺野セメント工場內の電柱に落雷を見たるも幸ひに大したる被害はなかつた、風は西北西で最大風力は二十五日午前一時頃の十一米四である、市內には格別の被害なく郡部方面のそれはまだ判明しない

第二日向丸船員 激浪に呑まる

發動機船二隻は沈沒

【基隆電話】二十四日夜の暴風雨で基隆市社寮町に繫留されてゐた發動機漁船第二日向丸の船員一名は激浪にさらはれ行方不明となつたが通信方法なく詳細不明、尚同島に繫留されてゐた發動機船二隻は沈沒したと

漁船十一隻の 行方不明で憂慮

和蘭汽船も未だ入港せず

【基隆電話】暴風雨の際出漁中未だ歸港せざるもの蓬萊水產第六、第七、第十一、第十二各朝日丸、住吉丸、漁丸林兼商店第二十三、二十五、二十七、二十八各金進丸、井上漁業部第五丸の各船で何れも消息不明基隆各方面では憂慮してゐるが漁船は淡水海峽方面に避難を避けてゐるものと云はれてゐる

【基隆電話】二十四日未明入港の豫定であつた和蘭汽船キテンバデン號は今に至るも尚何等の消息がない

死體發見【基隆電話】

基隆社寮島警備中の日向丸で行方不明となつた船員は沖繩縣島尻郡當時基隆市社寮町二二大城清戸（三）と判明二十五日午後二時死體となつて浮き上つたが同人は水產試驗所附近で木船を繫留中暴風に煽られ海中に顚落したものである

東海自動車 運行中止

【花蓮港電話】東海自動車會社では二十四日夜來の暴風雨で宜蘭線不通となつたため辛うじて午前八時の一番便を發せしめたが二番便は花蓮港、蘇澳兩地とも運轉を休止することとなつた蘇澳發一號便は宜蘭線不通の爲郵便物新聞類郵は未着で開通を待つて發送する筈

女の溺死體【高雄電話】

二十五日午前十一時頃高雄街に漂流中の死體を市內湊町陳榮が發見して川岸に引揚げ、その旨苓雅寮派出所に屆出たが死體は二十七、八歲の本島人女で湲潛の入水らしいが詳細不明である

臺中州下の 河川增水し

各所が交通杜絕

【臺中電話】臺中地方における二十四日來の雨は百五十六粍二、一時の降雨量二百八十六粍除風速は五米九にして各河川とも一丈餘の增水となりこれがため何れも交通杜絕し大甲溪は士牛東勢間橋梁八十五間流失、竹山、林內間は濁水溪增水のため軌道橋五十四間流失臺中南投間中南線中寮城北濁間橋梁流失交通杜絕した

花蓮港も平穩

【花蓮港電話】過日來頻發した低氣壓は遂に北部地方を襲つたが幸ひ電話で困つてゐた花蓮港地方は降雨もなく他かに曇天であつたが、二十四日午後三時頃から細雨あり引續き夜に入り二十五日朝に至り北部地方の餘波を受け午後二時頃から風雨となり漸次惡化の天候となつたが三時半頃風は凪ぎ細雨となつたが打續く早魃で一般農作物には慈雨とまで行かず割合不穩な天候で午後四時までの所では海上波浪高きも陸上は何等の被害ないやうである

新竹の雨量 二九一ミリ

【新竹特電二十五日發】新竹地方は二十四日午後九時頃の風速一一米九、廿五日午前十時までの雨量二百九十一ミリ洪戰、竹東間軌道二間流失、海岸線後文湖、大山脚間後龍、公司寮間故障のため上り下り列車とも二十四日夜から運行不能、主なる被害は家屋倒壞

臺南州內務部で 廿六名の大異動

退官六名、轉任廿名發表さる

【臺南電話】先日來風說されて來た臺南州內務部系統の異動二十五日付左の如く發表された

依願免本官	臺南州勸業課長　池田梅吉郎
任州視學	臺南州地方係長　桶谷川　榮
任州視學	新化郡視學　福山　彥治
任州屬	斗六郡庶務課長　池田梅吉郎
任臺南市屬	北門郡庶務課長　川尻　一
任州屬兼任郡屬命斗六郡庶務課長	新化郡庶務課長　山田　辰造
任郡屬命北港郡庶務課長	通譯兼郡屬　大澤　治郎
任郡屬命北門郡庶務課長	東石郡視學　山山　茂造
任郡屬命新化郡庶務課長	州屬　寺島　重之
任臺南市屬	
任州屬命官房文書勤務	臺南市屬　田中　吉次
命東石郡勤務	新化郡屬　野間　隆一
任郡屬命新化郡勤務	吉田　長典
任郡屬命官文書勤務	州屬　前田　輝雄
任郡屬命官文書勤務	森林主事　上迫　信二
命東石郡勤務	虎尾郡屬　市川雄二郎
任郡屬命新化郡勤務	廣山　逸次
任郡屬命虎尾郡勤務	長山　秀夫
任郡屬命斗六郡勤務	松岡　芳夫
任臺南市屬	東石郡屬　肥後　武夫
任郡屬命虎尾郡勤務	臺南市屬　池田梅太郎
任州技手命地方課勤務	新營郡屬　山崎　順次
	北港郡庶務課長　島津　榮作
	東石郡屬　名島　仲藏
	曾文郡屬　館野　範政
	虎尾郡屬　竹尾　吾一
	新化郡技手　江口　幸道
依願免本官（各通）	吉永　義彥

北花蓮港線開通

【花蓮港電話】北花電話線は北部地方暴風雨のため二十四日午後五時三十分不通となつたまゝであつたが二十五日午後零時三十分漸く開通した

山手の交通杜絕で 芭蕉搬出不能

災難續きの蕉作民

【臺中電話】二十四日來の降雨で南投、東勢、竹山、集集、埔里其他山手方面の芭蕉檢査所は何れも交通杜絕し、檢査不能となつたが八月上旬の豪雨の際も交通不便な山手地方面は各

河川增水　橋梁流失のため搬出不能となり、內地移出不向の過熟品が澤山に出來した事がある ので臺中芭蕉同業組合では各檢査所の交通狀況に就て心配してゐた

下淡水溪は 增水十五尺

屛東地方も凄い豪雨

【屛東電話】屛東地方は二十四日夜來豪雨に暴風を加へて暴風雨化し、二十五日朝來稍衰へたが各方面とも自動車交通杜絕し、下淡水溪治水工事現場大溪は午前中增水十五尺、土庫、里港方面は四、五尺の增水を示し各地とも道路や田畑への浸水で相當被害を思はせた

臨海道大荒れ 蘭陽は平穩

【宜蘭電話】羅東蘇澳兩郡下の管內にも風や道路に多少の暴風雨被害を受けたが大した事もなく臨海道蘇澳花蓮港間の臨海道路狀況は今朝暴風が吹きすさび萬一の危險を慮かり東海自動車はこゝ暫らく運轉を見合はす事になつた、尙海上も荒れてゐるので花蓮港通ひの船舶は蘇澳港に碇泊中である

嘉義は 雷雨

【嘉義電話】嘉義地方にては數日來氣溫高く二十四日午後四時頃雷雨となつたが同夜北港溪は八尺增水し兩溪に至り降雨あり、二十四日午後四増水九尺午頃溪は八尺增水し雨溪

このため本島人三名溺死せる外軌道橋梁流失五、橋梁流失二十三、家屋全壞七、半壞四、浸水百七十八、非住家全壞六、田の流失六甲、浸水四十六甲、埤圳流失破損十八ケ所

臺南地方も 多少荒れる

【臺南電話】北部方面を襲うた低氣壓の餘波をうけ臺南市にあつては二十四日夜十一時すぎより暴風雨となり、風速七米餘を示したが立木の折損や竹垣板の吹きとんだものはあつたが格別の被害はなく、同日夜より二十五日朝にかけこの雨量は六十七ミリ五を示し附近河川の被害と稱する程度のものはなかつた

とも竹筏の渡航不能に陷り二十五日には北港線乘合自動車運轉休止し臺南中軌道中埔線は八掌溪橋梁流失した爲運轉不能となつた

惣田鰹各漁場の 復活資金に

六萬圓の低資融通を歎願

【花蓮港電話】花蓮港廳下惣田鰹漁業組合では本年漁期以來の不漁に加へて一昨年の暴風雨に漁場漁具物被壞二十一ケ所に及び、この主なる天災のため來年の漁期には一、二の漁場の外は網入不可能の狀態であるので定置漁業組合では六萬圓の低資融通方を督府へ歎願することゝなり、近く出府の筈であるが目下の窮狀を救濟するには二十數萬圓を要すべく六萬圓借入はほんの其場しのぎの窮策に過ぎず二十一ケ所の漁場被害見積りのみでも一ケ所七千四百平均で十餘萬圓に上ると

六百餘圓の 蘭が盜難

自聯の御大楊肇嘉氏が

【臺中電話】自治聯盟の臺中市新富町五楊肇嘉氏は趣味として各種の蘭を蒐集してゐるが近頃續々として其の蘭を持去るものあり、一兩日前の夜も自慢の其他優種にして六百餘圓の蘭を何人かが持去つたとて二十五日臺中署へ屆出た

高雄視察日程 又變更さる

【高雄電話】中川總督の巡視日程中その後左の如く變更された

二十五日午前八時大武發リキリキ社着二十六日午前七時リキリキ社發浸水營を經て午後一時二十八分着

因に總督出迎のため出張中の野口知事は二十五日牡丹社より恆春に引返し、途中交通杜絕のため總督の出迎に間に合はぬので小林內務部長池尻警務課長が代つて二十五日リキ〳〵社で出迎をなした

赤崁夜話

▲戶田博士のノータイ論一くさりの效果は時局柄と經濟的とに依り可成りの成績で今川知事に午後の外出、日曜の野球見物等にスマートなスポーツスタイルをみせて居る、さて上の好む所下之に……といふ風になつた所一種の時代色として大にやれ〳〵だ▲今川知事就任以來の初試に依り今や野球道路やかならんとする秋となつた、因に城寺商法政投手は近く除隊と共に來南の事となつた臺南の存在を天下に示した〇〇も追つて臺南州勸所の可能性が出來たといふしその途で我と思はんものは追つて引受くる準備があるとの事で行くは現在のチームを消耗して清新なものを揃へる必要があるといふ▲雨上りの臺南市內を市と醫で一週間のやつさもつさ調べ上げた七分通りの危險な屋を市內の表通りで二百九十一軒拾ひあげた、本町二丁目辺りで支柱一本外したらガラガラッと行く家は十數軒續々繫がつて困たとの事で困ながらの恐さを覺えさせる▲之等のものは全部大修繕か改築を勸告するはずだが之に要する工費は建築組合を設けて低利資金融通の方法を取る事とならうが表通りの本故一軒三千圓の割とせば實に八十七萬圓といふ莫大なものとはなる

▲臺南州警務課では市區改正の一端として郊外道路整備を計るため二十二日一行二十名の一團は同所引續き出かけた廳舍上から監視を依頼春秋興亡の跡に時を失ひ外廓を見る際途につく時竹筏に飛び乘つた和田、河野三氏の三君はグングンと遠く竹筏の端にしがみ附いて水面に合はずもんどり打つて飛込んだ肝腎さは眞に迫つて衛井、和手三君が頭に冠つた竹笠を鬪のやうになつてエッサモッサ、足に寄せつけ辛うじて命を助かつた、之が臺南にも復舊金城の三勇士といふ譽るべきものが出現するに至つたといふ事になる

產組大會出席者の 收容で大頭痛

花蓮港で準備打合せ

【花蓮港電話】來る十月中旬開催の全島產業組合大會の準備打合會は二十四、五の兩日に亘り廳會議室に今井廳長、山下庶務課長、金子庶務課長其他の各係長等參集協議したが目下の所出席者の數も未定であるし、旅館の收容力にも限りがあるので全島五百八十組合から二名宛出席者ありとせば一千名を越えるので何等かの方法で人員に制限を加へ大體五百名見當と豫想して諸準備を進めてゐるが出席者は一日間に亘り臨港線で二回自動車で四回に亘り運ばれる筈である、又これら出席者の視察箇所も數班に分つ予定で出席者心を要するので今後なほ各方面と打合せた上で具體案が作製される豫定で あるが此際參會希望者は出來るだけ招待したい意向である。なほ大會には平塚會頭又は榎田副會頭が臨場する

朴子通信

▲朴子公第十三回同級會第三回懇親會は去る二十一日午後一時より朴子カフェー永樂に於て開催、出席者會員の半數を越して一同懷舊談にふけ時の過ごすも忘れて午後五時極めて盛會裡に散會、朴子武場にて記念撮影をなした

▲前臺南州警務部長根君は本月十九日午後七時死去した、本年三十四歲、氏は臺北師範に入り後嘉義官史試驗に合格、嘉義郡庶務課に於て土地整理の事務を務め病を得て辭職した溫厚篤實な士であつただけに一般から惜まれてゐる

▲新築計畫中の朴子信用組合事務所新築工事は本月二十日午前十時より入札に附したが朴子黃金河氏が落札、近く着手し本年末竣功の豫定であるが總工事費は一萬三千圓也だと

▲海尾寮漁水浴場は官民協力の設立步驟だけに工事費の寄附は豫定を超過したが殊に鹽遊として最も八百圓、朴子街租百六十圓寄附會社二百圓、その他商號・自動車會社等も多額な寄附をなす筈である

新高通信

▲客月故人となられた集集郵便局長係山口廣次氏の遺族は氏が生前中所勤の書籍八百冊を庄役場に寄附し保險金及び松尾所長の保管に係はる死亡賜金を手交故人の遺骨を捧へ郵里兒玉島へ向け歸國の豫定だと

▲此の不況時僅か三年間集集電力會社に勤務したと云ふ徐氏先

馬公

▲鈴木博士講演　總督府研究所技師鈴木陸郎博士（臺北總督府水產）は澎湖試驗所に於て二十三日午後六時から馬公小學校講堂に於て「海の話」なる講演を一般のために有益なる講演をなし同夜講堂に向け出發した

釣魚競技　去日の釣魚會は異數の好成績を擧げたが

一等三百五十五匁高浦有明丸機關長（高浦日米二年）二等三百十九匁松野（陸高三〇年）三等百三十四匁梅田船長、四等百十四匁木佐貫工手であつたと云ふ

ルンペン石井君　ラヂオ放送や新聞紙上で御馴染の異彩のルンペン石井君は去日來島二十五日夜馬公街主催で馬公會館に於て實地踏査の國狀其他に就き講演あり聽者多數で盛況であつた

恙蟲病　近時馬公では恙蟲病と稱する熱病の罹り持ち切つて居るが病源の蔓延は至つて寧氣がなく今日迄に於て不幸な犧牲者をみた者は至つて少なく左程恐怖を感ずる程ではないと云ふ事だ

▲再除甲步の官有地貸下を出願した山本庄長さんどこを不評判な風が吹いてゐると思ひ俄に相談に返し内緒に取扱をしてゐるが是が實現の曉にはわか長者に成る事として一般の羨望となつて居る

自讚がいるまいか

豐原

△噺の夕　豐原兒童劇團主催の豐原郡役所及び郵便局附小公學校後援の下に八月二十三日午後六時より郡役所前廣場に於て噺の夕を催した

△孟蘭盆祭　豐原街にては例年通り去る七月二十一日盛大なる盂蘭盆祭を舉行した

今日の番組
J・F・A・K 八月廿六日(金)

午前の部

【六・〇〇】△朝の挨拶△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ(臺北のみ)臺北測候所發表
【六・三〇】夏季特別講座初等科英語講座(第二十一課)三好清記
【七・〇〇】夏休み小學生復習時間三年生の時間壽小學校山形晃六年生の時間樺山小學校石田秀太郎
【八・〇〇】全島氣象通報(東京)
【九・三〇】家庭百科問答△親任式と親補式の差△インチキといふ言葉△四歲の男子、睡眠中手足をぴく〳〵させます

午後の部

【一〇・一〇】家庭料理獻立△鷄肉清涼蒸(附合蓮根甘酢)△茄子グラタン△白ソース
【一一・〇〇】日用品小賣相場臺北市西門市場發表
【一一・五九】正午の時報△氣象通報(臺北のみ)臺北測候所發表
【〇・一〇】放送局揭示板ニュース
【〇・二〇】晝間娛樂時間(レコード浪花節)(臺北のみ)浪花節「召集令」東家榮燕二、畫山伊左衞門吉田奈良丸
【〇・二〇】晝間娛樂時間(レコ
ード演奏)(臺南のみ)マンドリン
【一・〇〇】氣象通報(臺南のみ)臺南測候所發表
【一・二〇】運動放送(野球)臺北高松商業對臺北一中第二回戰臺北市圓山球場より中繼
【六・三〇】子供の時間「ピアノとオルガンとうた」一、ピアノ獨奏(イ)國風マヅルカ(ロ)オリムピア・マーチ(ハ)デイキシーランド蔡氏啓俊二、ピアノ獨奏小林八重子三、齊唱(イ)うちの父さん(奥村チエ子作詞、河村直則作曲)(ロ)水車(田邊貞之助作詞、楊英之紹作曲)鹿島普美子、蔡氏啓俊四、オルガン獨奏(イ)霧島のうた(ロ)蔵王の射手序曲菊谷千代子五、ピアノ獨奏(イ)ローレライ(ロ)樂しき農夫(ハ)舞踏曲鹿島貫子六、ピアノ獨奏(イ)スコットランドの歌調(ロ)我等の知りし喜び(ハ)お父さんあなたのお祝ひは今日だ蔡氏啓俊七、ピアノ獨奏(イ)英國の騎兵(ロ)モナコにて(ハ)ガロップの舞踏曲小林喜代子八、齊唱「帆かけ船」(林柳波作詞、本居長世作曲)菊谷千代子、小林八重、蔡氏啓俊、小林喜代子

夜間の部

【七・〇〇】博物館特別講座「ダイアモンドに就いて」臺北帝國大學教授理學博士早坂一郎
【七・三〇】常磐津(東京)未定
【八・〇〇】映畫物語(東京)未定
【八・〇】映畫物語「旅日記國定忠治」(前篇)和田少陽、伴奏細田管絃樂團
【九・二〇】時報、氣象通報(臺北測候所發表)臺日ニュース(臺北のみ)放送局揭示板ニュース(臺南のみ)臺南新報ニュース(臺南のみ)公示事項、明日のプログラム發表

野球の中繼(臺北)
【午後一時二十分】

臺灣體育協會主催
高松商業對臺北一中
—臺北市圓山野球場より中繼—

先に來臺して先づ一中と第一回戰を交へたが、上陸早々のためか、一中に名をなさしめた高松商業チーム、さすが四國大會にかて、松山商業と決勝戰を行つただけに、その後は連戰連勝、再び圓山運動場に於て北一中と二回戰を行ふ事になつた。實況アナウンサーは猪谷君の響

博物館特別講座
【午後七時より】(臺北)

ダイアモンドに就いて

臺北帝國大學教授
理學博士 早坂一郎

毎月一回第四金曜日に放送されることになつてゐる博物館特別講座の一つ、早坂博士は我國地質學の權威である

映畫物語
【午後八時三十分】(臺北)

▲旅日記國定忠次
—前篇—
和田少陽
伴奏 細田管絃樂團

これは一日劇の映畫物語り、時代物にかけては定評ある和田少陽氏の熱弁で、上州國定村の忠次、赤城より逃れて信州への旅日記

夏休特別講座
【午前六時三十分】(臺北)

▲初等科英語講座
—(第二十一課)—
三好清記

夏休み小學生復習時間
【午前七時より】(臺北)

▲三年生の時間 壽小學校 山形晃
▲六年生の時間 樺山小學校 石田秀太郎

ピアノとオルガンとうた
【午後六時三十分】(臺北)

蓬萊小學校の中村百合子先生のお弟子さん達の出演で、みな少さい小學生の方です

一、ピアノ獨奏 蔡氏啓俊
イ、國風マヅルカ
ロ、オリムピア・マーチ
ハ、デイキシーランド
二、ピアノ獨奏 小林八重子
三、齊唱 鹿島普美子 蔡氏啓俊
イ、うちの父さん 奥村チエ子作詞 河村直則作曲

ニコ〳〵と
ビールのみ〳〵 ラヂオ聞く
おひげの先に 二つ三つ
アワを殘して 聞いてゐる

ロ、水車 田邊貞之助作詞 楊英之紹作曲

かつたり ことり 水車
かつたり ことり 水車
かつたり、ことり
かつたり、ことり
春の山かげ 日はこひし
赤い花が散つてゐる(以下略)

四、オルガン獨奏 菊谷千代子
イ、霧島のうた
ロ、蔵王の射手 序曲
五、ピアノ獨奏 鹿島貫子
イ、ローレライ

ロ、樂しき農夫
ハ、舞踏曲
六、ピアノ獨奏 蔡氏啓俊
イ、スコットランドの歌調
ロ、我等の知りし喜び
ハ、お父さんあなたのお祝ひは今日だ
七、ピアノ獨奏 小林喜代子
イ、英國の騎兵
ロ、モナコにて
ハ、ガロップの舞踏曲
八、齊唱 菊谷千代子、小林八重、蔡氏啓俊、小林喜代子

帆かけ船 林柳波作詞 本居長世作曲

一、帆、帆、帆船、帆かけ船
西風すう〳〵 帆はななめ
ガウ〳〵まいてる 大いかり
入江の朝です 出船です
二、帆、帆、帆船、帆かけ船
時々大波 水しぶき
ゆらゆらゆれてる 帆の上に
もく〳〵白雲 ちぎれ雲
三、帆、帆、帆船、帆かけ船
遠くに帆の影 うねり波
かもめがとんでる 島の上
日が出る〳〵 金の色

晝間娛樂時間(臺北のみ)
【午後零時二十分】

▲浪花節
一、召集令 東家榮燕

浪花節の名曲、召集令を水野草庭子が脚作せるもの、夫は病の床に臥し、頑是なき子は飢に泣く、娘子夫婦の哀別離苦、涙を包む袖袂 唯一枚の紙切れも、我が大君の統べ給ふ、いくさの庭に召さるると思へば嬉し召集令、ここは甲州矢野村の見るもいぶせき賤ヶ家、門途に踊る松岡幸道氏—

二、畫山伊左衞門 吉田奈良丸

兄嫁山伊左衞門に別れをつけて立去つた赤垣源藏、あとに畫山それと知つてのくやみ歌、さて架られぬままに明け渡る東雲呼ぶ臨笛—赤垣源藏德利引揚げの一席

—臺南のみ—

▲マンドリン獨奏と四重奏 服部に四留清さんの獨奏六曲

一、トラバトーレ
ヴエルデイ作曲の歌劇、その中の主旋律を拔萃したものである
二、アモールのセレナード
ドナテイ作曲、愛のセレナード
三、椿姫
これもヴエルデイの作曲になる歌劇、その美はしい旋律が綺麗なトレモロで奏される
四、マゾルカ・コンサート
伊太利のマンドリン作曲家の大家ムニエルの作品、演奏會用のマズルカ舞曲である
五、夜の調べ
グノーの作になるセレナード
六、アロハ・オエ
ハワイの名歌、リリオカラニ作の哀しき別れの歌

家庭百科問答
【午前九時三十分】(臺北)

▲親任式と親補式の差
▲インチキといふ言葉
▲四歲の男子、睡眠中手足をぴく〳〵させます

家庭料理獻立
【午前十時十分より】(臺北) 黑田小梅發表

▲鷄肉清涼蒸(附合、蓮根甘酢)
鷄肉手製肉 二箇
蓮根 一節
寄架豚 少々
酢・醬・砂糖 各少量
▲茄子グラタン
茄子 大五箇
挽肉 七十匁
玉葱 一箇
パン、チーズ、パン粉、バター
油

女學校出の娘さん方の家庭での指導法
日本的なものを尊重する思想を養成したい—
田中寬一

嫁入前の 娘さん方をどういふ風に指導したらよいかといふことは父兄方の心を惱ますものでありませう。一個の女子として將來の主婦として又將來の母として の訓練は高女在學中から行はれるべきでありますが、但し在學中における家庭訓練は斷片的であるのに對して、卒業後には從來の訓練を深め且つ統一する機會を與へられるのであります。即ち綜合的訓練をすることが出來ます。之を料理法についていへば、學校で學ぶ所のものは多くは

理想的な 材料を用ゐる仕方でありますが、各々の家庭では餘つた材料を利用したり、又日々の料理に變化あらしめる爲に同一の材料でも異なつた料理法によらねばならぬ場合が少くない。又他の仕事との都合上時間を經濟的に使用しなければならぬことなどもあります。次には召使の勞務を代行せしめることが必要であります。人を使ふには先づ自分がその仕事をよく知つてゐなければならず、召使の人の仕事についての經驗を有たなければならぬのでありますから勞務の習慣をつける上にも

召使の居 る家庭では實際に召使の仕事に當らしめることがよいのです。それから科學的知識の活用、之は卒業後に限つて特に高調するものではありませんが學校で學んだ色々の科學的知識も之を實際に活用する機會は卒業後に於て著しいものでありますから、家庭に於ける迷信の打破等で、それに家庭の能率作業法の工夫、日常生活に於ける迷信の打破等で、それには兩親はじめ家庭全體の空氣が科學的知識に依賴して迷信を排斥することを心がけなければなりません

迷信の爲 に我々の日常生活が如何にゆがめられて居るかを思ふならば、家庭の人々の態度について餘程考へなければならぬことが分るでありませう。日本的なものを尊重する思想の養成といふことも大事なことです。日本の文化も西洋の文化を急テンポに取入れて長足の進歩をしましたが、そのために外國模倣がいまだ根強く一にも外國、二にも外國と日本的のものを古いと放棄する傾きがありますし、殊に思想の點については外來の思想が新しく、正しいもののやうに誤られ勝ちですから

父母たる 人々は若い娘に日本文化の特異性について正しい認識をもたせるやうに、家庭に於て訓練せねばなりません。要するに將來中堅國民の母となり中堅家庭の主婦たる資格を有する子女を訓練する父母は充分なる心掛けが必要であります

▲萬なかだち

求職一件 一回 一名 其他 倍
貸家 臺北市大正町四條通二ノ五一 中島
募集 外務員 臺北市本町三丁目 紹介所
電話 賣物 電話三六二六
仲居入用 四名 川端町 新茶屋
女中(廿歲以上)及見習若干名 本人來談 一番ケ原
內地 引上に付き 臺北市 ...二〇七八 番山田

婦女界(九月號)

家庭不安一掃號、毎號精鍊から清新巧みに女性の心にピッタリして行くのが見えるへ「女性の悩み」「相談室」は思ひつきであるが、ふかりの「座談會」は、都下の大新聞の女性相談欄は、實用の點からばかりでなく、讀物としても特に女性の興味をつないでゐるやうだが、その他若の打ち開け話は有益であり、又面白い座談會といへば「鳩山家の家庭座談會」も、座談會として新機軸だ△早川雪洲のルース・ノーブルへの公開狀、與謝野晶子の母に寄せての感想記は、本號の特輯だ△模範村赤磐村を訪れて」は、婦女界らしい堅實な讀みごたへのする記事へ那須皓博士の「愛國婦人」から觀への公開狀、「上京半一歩を誤つた私」農村女性の生活、「夏のお祭の思ひ出」等々△別冊附錄は「お稽古ごと手ほどき集」新秋を待つてお稽古ことを始めやうとする人には重寶だ(定價五十錢、送料六錢、東京丸ビル婦女界社發行)

お臺所口から

◇婦人俱樂部九月號「奥様の御手前拜見座談會」に御用聞きに經驗のある商人の方々が出席、夫々お臺所口からの感想を述べてゐるが以て他山の石仲々の名言が續出してゐます

內田式 水壓療眼器

トラホーム 近視、弱視 眼病治療に素晴しく效く
この療眼器は簡單な療眼ですが、どんな眼病の治療にも驚くばかり良く效き、昔近視、弱視を豫防し頭を良くします。
定價 一圓五十錢
一圓八十錢

資生堂化粧藥

汗モに 日焦けに 藥用クレモリン
一個 五十錢・三十錢
皮膚の榮養となる基礎クリーム
東京銀座 資生堂

ベビーゴルフ用品
家庭向のスポーツとしてベビーゴルフ正漸く擡頭して來ました

組合せ家庭用ゴルフセット 一組
ベビーゴルフ用パッター 大 小
同 ボール 上 並
ゴルフパンツ 8.00—9.00
同ストッキング 1.50—5.00
臺日運動用品部

いくら製造しても間に合はない明色美顏白粉の工場では全能力を發揮して皆樣方の御用に應じたいと努力いたして居ります!!

▼餘り美しく附くのでどなたも驚く…▲
明色美顏白粉

專賣特許
明色美顏固煉白粉 白・肌 定價 四十五錢
明色美顏(煉)白粉 白・肌 定價 三十錢
明色美顏水(水白粉) 白・肌・濃肌 三十錢

榮光之上無
浴柄 登錄商標
校造の安物あり
專賣特許に
ムトウ御注意
名古屋醫科大學醫院御常用
610ハップ
六一〇ハップ
◎全國に模範六一〇ハップ發賣あり
(新聞名記入見本請求歡迎)
流感の豫防に 治療に
總ての濕布には 第一等
婦人病 皮膚病 動脈硬化 胃腸病 神經痛 痔疾
ドイツミンを含有
治療の目的を達せしむ
外用 二ヶ年 ポケット 一圓 パイプ 也
外に内服用
合資會社 宅商會
六一〇ハップ

髮洗ひ
花王シャンプー

髮は洗ひ方一つです
汗や脂で髮が不潔になり易い時
手輕に洗へる花王シャンプーで
いつも髮を清淨にお保ち下さい

フケを去りカユミを止め髮に自然の光澤を與へる美髮と殺菌を兼ねた理想的洗髮料です
正價 一個五錢
(六個函三十錢)

東京・花王石鹼本舖長瀬商會・大阪
S15

寫眞…氣勢を擧げる小賣業者大會 東京大阪等で問題化してゐるデパートの壓迫に自衞更生の叫びを擧げてゐる小賣業者の猛運動、寫眞は東京府商店會聯盟が臨時總會を開き小賣工業者救濟促進のため日比谷公會堂に會合せんとする盛況

暴風雨と農作被害

臺北附近は輕微 氣遣はるゝは蘭陽地方

今回の暴風雨による臺北州下の農作物被害は僅少であるが蘭陽三郡が如何なる狀態にあるか殊に氣遣はれてゐるが臺北と同方面との通信は一切杜絕し電信、電話不通であるので被害の程度は全然不明であるけれど第二期稻作は浸水砂入等相當の被害を受けてゐるものではあるまいかと憂慮されてゐる

何しろ今度の暴風雨は風速八十二米以上に達し殊に雨量が案外多かつただけに松山發電所など一昨年七月二十八日の暴風雨で臺北市內が浸水した時同所構內へまだ二尺ほど浸水の餘地を殘してゐたが今度はそれを越して浸水一寸に及び結局一尺五寸ほど水位が高かつたのであるから一般的被害も一昨年七月のそれより多いかも知れません

尙今度の暴風雨は北部だけに限られ中部方面は多少降雨はあつたが風弱く被害殆ど皆無の模樣で日月潭工事も今回は難を免れたやうである

臺北市は當分 蔬菜饑饉?

近郊の菜園畑殆んど全滅

臺北州下を襲うた暴風雨は意外に風力強く且つ雨量も多量であつたので大臺北市に對する蔬菜の供給地である東園町、西園町、古亭庄、士林、新莊郡鷺洲庄、七星郡松山庄などは二十四日夕方から二十五日夕方まで水浸りとなり而も泥水のために各種の蔬菜類は全滅の有樣で價格も著しく昂騰するものとみられ當分は臺北市の近郊からの供給は殆んど望まれない狀態で他地方からの供給を仰ぐの外はあるまい

暴風雨と電力被害

外線の故障が多かつた 廿五日夜に入り殆ど復舊

二十四日の暴風雨は北部地方に猛威を逞うしたので臺北、基隆の大部分と松山方面は電燈、電力の送電不能となり臺北の如きは久振りで暗黑のうちに一夜を過したのであるが、電力當局の語るところによると

今回の颱風は測候所の警報に依り大體北部が中心になるものと推定したので北部の發電所が全部故障を生ずる場合の對策として松山と龜山より入る本線に添し基隆發電所から北部へ火力發電を爲す手配をなし基隆では火力發電の手配をして暴風サア來いと待ち受けてゐたのであつたが、外線の故障が意外に多くその手配も無駄となつて需要家に迷惑をかけた事は實に相濟みません、二十四日夜暴風雨の眞最中當社では全員を本社と兒玉町倉庫に集めて不眠不休で活動し部分的には外科手術を施し點燈送電を敢行したところもあつたが二十五日は早朝より市內の線路故障の實狀を調査の上夜間線を後廻しにして取敢ず晝夜間線の修復送電に努め夜間線も同日中大體復舊同夜は漸く點燈が出來ることになつた、故障は多く樹木が折れたり倒れたりして電線に引つ掛つたもの及看板が吹き飛ばされて之に線を切斷されたもの電柱の倒れたものはなく兒玉町署內や萬華、東門方面に被害が少なかつたのはさうした看板が少いからだと首肯かれた次第である、大稻埕方面へ送電が出來なかつたのは宮前町の變電所が水浸りとなつたからである、

臺北製糖所の風水害

相當多き見込

臺北製糖所は二十四日の暴風雨で大料炭庫及新店溪の增水甚だしく事務所及社宅一面に浸水し工場內にも僅かばかり浸水した、一昨年七月二十八日の暴風雨よりも風力弱く且つ浸水の程度が激しいので蔗園內の甘蔗畑にも浸水倒伏の被害多き見込で目下調査中、尙事務所浸水の爲め二十五日は事務をとることが出來なかつた

小野田問題 順調解決か

【大阪二十五日發本社特電】小野田セメント大連工場の聯合會脫會問題は其後引續き委員會社が斡旋に奔走中であるが聯合會理事白井氏が小野田本社に急行笠井社長と懇談した結果何等か言質を得たもの如く兩氏、谷口委員長と打合す所あり直ちに東上未尾側と折衝しつつあるがこの一兩日の各社態度から見ると問題は案外順調に解決に向ひつつあるものの樣である

臺北組合銀行の 預金利下率發表

二十七日より實施に決定

臺北信用組合銀行では二十五日午後一時より鐵道ホテルに於て會合、懸案の預金利下問題に付協議したが結局、次に表示の如く昨年十二月二十一の利子引上前の狀態に戻つたわけで明二十七日から一齊に實施のことに決定した

甲種銀行
△定期預金 六ケ月以上 年四分七厘以下
△當座預金 百圓に付 日步四厘以下
△小口當座預金 百圓に付 日步九厘以下

乙種銀行
△定期預金 六ケ月以上 年五分二厘以下
▲當座預金 百圓ニ付 日步四厘以下
△小口當座預金 百圓ニ付 日步一錢以下

なほ臺灣貯蓄銀行にては普通預金日步一錢、定期預金及據置貯金は從前通りに据置、定期貯金は六ケ月以上年五分二厘と改定した

臺灣振向けの 第九回低利資金

百萬圓の割當決定

大藏省預金部より融通の第九回低利資金百萬圓の各事業主體別割當に關して先般總督府低利資金調査委員會の議を經て折衝者に照會中であつたが今回大藏省に於て原案に異存なく其旨承認せられた旨通知があつたので關係局に於ては夫々之が關係先へ通知の手配中である、尙ほ今度の決定では今回割當を受けた事業主體は公式通知あり次第速に借入の手續を進められ度いと希望してゐる

第九回低利資金割當決定額

主體別	割當決定額
(內務局地方課)	
臺北市	60,000.00圓
彰化郡北斗庄	10,000.00
計 二	70,000.00
(內務局土木課)	
曾公水利組合	150,000.00
角圳第二水利組合	20,000.00
新豐郡水利組合	40,000.00
計 三	210,000.00
(文教局)	
高雄市	40,000.00
鳳雄信利組合	25,000.00
臺南高工住宅信用組合	20,000.00
城東住宅土地利用組合	20,000.00
大正町土地建物信用組合	20,000.00
第一昇東建築利用組合	10,000.00
朝日建築信用利用組合	20,000.00
嘉義建築信用利用組合	25,000.00
永樂町小建築信用利用組合	40,000.00
員林信用利用組合	10,000.00
臺南新栄信用利用組合	30,000.00
朴子郡栄信用利用組合	25,000.00
計 一二	[illegible]
(殖產局)	
基隆信用利用組合	45,000.00
南屯信用販賣利用組合	20,000.00
元長信用販賣利用組合	10,000.00
新竹州米穀信用販賣利用組合	10,000.00
淡水信用販賣利用組合	20,000.00
樹林信用販賣利用組合	20,000.00
鹽水港信用販賣利用組合	10,000.00
六龜信用組合	15,000.00
新埔信用販賣利用組合	5,000.00
花蓮港定置漁業信用販賣購買利用組合	20,000.00
竹山信用販賣利用組合	5,000.00
中和信用販賣利用組合	5,000.00
鳳山信用組合	10,000.00
大湖信用販賣利用組合	5,000.00
馬公漁業信用組合	5,000.00
板橋信用組合	5,000.00
埔頭信用販賣利用組合	5,000.00
紅毛信用販賣利用組合	5,000.00
北門漁信用販賣利用組合	5,000.00
臨東信用販賣組合	15,000.00
七股信用販賣利用組合	5,000.00
高雄州米穀信用販賣利用組合	20,000.00
集集信用販賣利用組合	5,000.00
橫山信用組合	5,000.00
老松信用販賣利用組合	5,000.00
將軍庄信用販賣利用組合	5,000.00
計 二六	[illegible]
(財務局)	
宜蘭信用組合	25,000.00
花蓮港信用組合	20,000.00
羅東信用組合	25,000.00

臺北組銀週報

預金減貸出增

臺北組合銀行去二十日現在の預金は五千二百四十五萬九千圓、貸出は一億二千二百七十九萬八千圓にして前週末に比し預金は九十六萬七千圓を減少し、貸出は三十八萬圓を增加してゐる、預金、貸出を項目別にすれば(單位千圓)

臺北手形交換所組合銀行營業週報

昭和七年八月二十日現在

項目	定期	當座	特別	諸預	合計
合計	16,815	4,924	21,572	9,118	52,459
前週	17,037	5,403	21,529	9,457	53,426
前年	15,939	5,318	21,008	13,708	56,663

項目	貸付	當座	割引	合計	金銀
合計	79,846	855	42,097	122,798	4,076
前週	79,749	1,073	41,596	122,418	4,500
前年	77,625	921	38,787	117,333	4,800

內地糯米作付面積を調査

臺北糯米移出商同業組合では本島糯米の需給上同業者の參考に供するため內地に於ける本年度糯米作付面積に收穫豫想及び作況を知るべく近日中各府縣農會の狀況を調査することになつた

三製紙會社の 合同案促進

三社代表の會見足踏成る

【大阪二十四日發特電】製紙業界の統制と合理化を目的とする王子、富士、樺工の三大會社合同は多年の懸案であつたが從來合同の障碍となつた樺工の未整理も昨年來社債買入金の整理、工場整理の合理化などで內容著しく改善されたのみならず爲替の暴落から外紙輸入も防遏され前途に一段と光明を認めるに至つたので關係方面の合同熱が急激に再燃し既に藤原王子社長と大川樺工社長は會見して諒解を試み廿三日は大阪から上京した阿部房次郎氏(樺工監査役)も大川社長と會見し問題の實現に乘出し樺工社長の北海道樺太方面の視察後の計畫までたてられ本問題は愈々軌道に乘つたものと見られてゐる現に富士製紙は株式の大半は王子に握られ富士製紙を介し兩者重役が兼任して經營に當り意思は大いに疎通してゐるのでこの上は合同條件の比率問題が折合へば問題は容易に進行するものと見られるが兩巨頭直接の折衝で困難な場合は金融乃至は實業界の巨頭が中に立てば實現の運びは別項の通り投資資本金三億四千五百餘萬圓に上る東京瓦斯に次ぐ一大會社の出現となるべく關係方面が何れも實現を要望してゐるだけに合同交涉の前途は注目されてゐる右につき王子製紙某重役は語る

三大會社の合同は四年越しの問題である各社に夫々の立場があつて條件がなかなか折合はなかつたが昨今は各社の內情もわかつて來たから關係者の努力次第で成る

爲替は底知らず

此際緊急對應策の 實現が要望さる

【東京二十五日發電通】爲替相場は二十五日に至り上海筋の圓賣りとニューヨーク米日爲替投賣を反影し寄付早々對米二十二弗丁度買り二十二弗四分の一賣と富み新安値を出すに至つた對英も一志三片十六分の三乃至四分の一賣八分の三乃至二分の一買唱へとたり今や爲替の前途は全く底なしを惡慮され緊急對應策の具體化が要望さるるに至つた

經濟解說

佛國は如何にして 金を集め得たか(中)

四、賠償金收入

佛國の賠償金取得分は其の戰時債に比較して過大である佛國は大戰後の講和會議に於て飽くまで現金賠償を主張し、獨逸の勞働者をして佛國荒廢地の復興事業に當らしめやうといふ樣な案を拒絕した。獨逸は所謂天文學的賠償金支拂を强制され、其の實額は數年來の物價暴落の爲に更に過重された獨逸は自力による國際貸借上の餘剩のみでは拂ひ切れずして英米其他諸國から借入金をして、やつと賠償を支拂つた、卽ち佛國は獨逸國民の節儉勤勞の結晶と諸外國投資家銀行業者の對獨信任を受取つたわけである、賠償は其の額年々八億マークに近かつた

五、戰債の輕減

佛國が對英米戰債を整理して居た頃はフランス貨が暴落して佛國財政狀態は極度に悲觀視されて居た之が爲、英米兩國政府始め、諸外國に對して寬大な態度をとつた。戰債の無保證部分は一大減額を爲された、一九二八年、佛國が金融力を回復して見ると、戰債減額は佛國を不當に優遇したものなることが判明した、佛國はお蔭で年四億マークの賠償金純收入―戰債支拂を差引いて―を得た

六、平價切下による出超

フラン相場が安定した一九二六年には佛國卸賣物價指數は六二〇であつて、金物價指數に引き直すと一二四である。同一時期の英國卸賣物價指數は一四五、米國一四八であつた、フラン貨の事實上の安定時代の佛國物價水準は大戰世界の物價水準より二〇%低かつた。其のお蔭で自然輸出は促進され輸入は抑制され、佛國は貿易並に貿易外收入を通して巨額の受取超過となつた、その結果としての金集積高はまた相當巨大なものである

七、ポアンカレーの正貨政策

佛國は前後約五年間佛國物價と世界物價のこの水準の開きを維持しやうとする政策に成功した、もし佛國に對する金の流入が、經濟自然の法則に從ひ、通貨の膨脹、物價の騰貴となつたならば、金の流入も疑何もなく禁止されたであらう。佛國は經濟自然の法則に對する人爲的干涉によつて巨額の金を獲得したのだ。一九二六年、フラン相場が一磅一二四フランに安定して以後ポアンカレーは一九二八年六月迄新平價決定の有無に就いて何等の決定的態度を示さなかつた當時佛國經濟に世界各國の期待は佛國としての經濟の面からも又政治上から云つても、新平價は決定を考へぬ、七五乃至一〇〇フラン位で決定するだらうとの意見が多かつた。それでフランの騰貴を見越した資本家は外國に持ち出したフランを急いで取寄せた外國の思惑者はパリの金利が低いにも拘らず、資金をドシドシパリに移した、かういふ事が佛國への金流入に拍車をかけたのである。若し佛國の新平價解決が一九二八年六月より早かつたならば佛國の金蓄積運動はもつと緩慢であつたらう、此の點でポアンカレーの金蓄積政策は成功であつたと云へるのである。フランの法律上の安定後、卽ち新平價解決後、外國思惑者が其の資金を佛國より引揚げた事は事實であるが、此の資金流出の爲に、佛國の金融上の地位を特に弱めるといふことはなかつた。それは佛國が割合に低い相場卽ち五分の一に新平價を決定せる結果による輸出超過で充分補ふことが出來たのである

× ×

斯うして觀察して來ると佛國民の節儉する勤勞だとか、貯蓄のお蔭だとか云ふことは全然關係でないとは云へまいが、金蓄積の主因であるとは考へられぬやうだ

セメント聯合會に 危機至るか

小野田セメントの 態度注目さる

【大阪廿五日發本社特電】小野田セメントが突然大連工場に限り聯合會を脫退する旨を通告したに對し聯合會としてはこれを規約違反として小野田社と認め一應通告書を發送し小野田の反省を促す事に決し聯合會理事は直ちに下阪した臨時出貨問題に關する紛議に對して大阪窯業の如き出した解決案をとらない、三菱の特別出貨立案を行ふと言ふ案に對して九社中六社は賛成し小野田も考慮すると言ふを約してゐたに不拘突然同大連工場脫退の通告して來たので各社共困る意外としてゐるが要は七尾社と小野田社間の感情問題のもつれからかかる結果を招いたもので ある、聯合會としては小野田の通告は契約違反と見てゐるから强ひて脫退を斷行しやうとすれば勢ひ小野田の損害金徵收と言ふ問題も起つてくるし、一方小野田として小野田社へ今回の通告は容易に引込める譯にはゆかないであらうから問題の進展如何によつてはセメント聯合會の危機を孕んでゐる、聯合會としては頗る成行を憂慮でしばらく紛爭する模樣でこれに關して急に臨時總會を開く等の事はあるまいと見られてゐる

活氣立ちも束の間

セメント事業界に 反動的不況襲來

【大阪二十四日發本社特電】財界不況のただ中にその完備せる統制振りを生み、販賣兩方面に發揮しつつ或は

滿蒙景氣 によつてセメント聯合會各社が配當又は增配を行つたのも最近の事であつたが今日この頃期待された滿蒙出貨もその後さつぱり出來ず不景氣時代には土木事業がつきものとしてセメント界には何よりの弱味である事業界の前途も犬養內閣の瓦解と共に滿內一般に政治的經濟的情勢の一轉から期待薄となつて出貨振はず六月末には早くもストック數より四萬基噸の過剩を築き一時は

操短緩和 さへも思はせたものが五月迄の限產率五割は六月から三分五厘を斷張して五割三分五厘とし更に七、八月は季節關係と事業界不振に七、八兩月に亙つて臨時擴張と稱して五割九分と更に各月一分五厘宛擴張を行つたが六月末のストック三十八萬五千基噸から七月末には三十九萬七千基噸と一萬五千基噸の增加を見るに至りこの分では五月總會における想定ストック

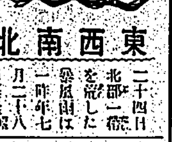
最高數字 (八月末の)四十萬基噸を突破する情勢にあり市況惡化は必至の勢にある所から聯合會では八月の總會に九月以降の操短率を又復二分五厘を擴張し五割七分五厘と實に未曾有の高率に引上げるに至つた九月以降は需要期に入るも新く高率の限產をなすに至つた事は全く事業界不振を如實に物語るものであるが聯合會では

滿蒙出貨 問題をめぐつて小野田七尾の感情問題から小野田大連工場の聯合會脫退問題も未解決のままにあり一時存を誇つ

議會無事見越で 株式、米、綿絲高し

【大阪二十五日發電通】議會無事終了見越とアメリカ財界回復說に因り寄付後場は一般に各市場は今朝入電スチール八分五高、米月三十七仙四分、安米綿一圓九十錢高を受けて人氣更に狂騰し大阪株(新限)十四圓六十錢高の百八十八圓六十錢 綿花二四十錢高の五十九圓砂糖期貨二十八錢高の十二圓五十錢定期米(先限)百十五丁高の二十三圓三十四錢大阪株式短期新二圓七十錢高の六十一圓東新八圓高の百十六圓九十錢大新一圓六十錢高の六十一圓廿錢と新高値に暴騰した

東南西北



二十四日北部一帶を襲つた暴風雨は一昨年七月二十八日北部を襲うた颱風と稍似たところがある、卽ち颱風が沖繩の東方より西に進みアジンコート附近を通過したことと臺北市內に浸水家屋の多かつたことも同じである▲一昨年七月廿七日より廿九日迄の雨量(臺北)四百七十六粍の內二十八日の雨量三百五十八粍九に對し今度の暴風雨は二十三日より二十五日午前迄に雨量三百五十五粍六、內二十四日だけの雨量三百二十五粍八、一昨年七月二十八日のそれより稍少いが、暴風速は前者は十六米三、今回は二十一米六で遙に強かつた、臺北の雨量が一昨年七月二十八日のそれより少いにも拘らず大正町から三板橋、兩成町、宮前町にかけての浸水家屋は却つて多く浸水の水位も遙かに高かつた、之は颱風の勢力がアジンコート附近に來てから更に增大し北部の山嶽に猛烈な西風乃至南風を吹きつけ暴雨となり山地の雨量が非常に多かつたので河川の增水甚だしくそれに二十五日午前四時が淡水港の滿潮時で淡水河や基隆川が逆流した關係だつたのである▲農作物の被害は電信電話の故障でまだ判明しないが、比較的低地の新北部下一帶の二期稻作や北部臺北地方の甘藷作には流失、埋沒、倒伏、脫粒等の被害があらう、蔬菜類も多少いかれたやうだ▲颱風の南中部の水害に較して今度は北部だけの風水害とは天道様も公平だがコンナ公平は決して有り難くない公平だ

商況(廿五日)

米況

臺米現物相場 (基隆建値 前日對比)
南部一期在來米 五八〇 一五高
北部一期蓬萊米 六八三 二〇高
中部同 六八三 二〇高
南部同 七〇〇 三〇高
北部一期丸糯米 六八〇 三〇高

基隆高雄在庫米 (出來高 前日比)
一期蓬萊米 先 六六〇 二〇高
一期丸糯米 先 七一〇 一〇高
總出來高 二七八車

正米市場 公定相場

正米市況(後場)
▲一期蓬萊米 當 中 先
六二三 六八八 七〇一
六四三 六八八
六四五 六九〇
六四〇 六九〇
六五〇 六九二
六五〇 六九二
六五 六八九
六五三 六九〇
六八 六八七

堂島兩建控除俵合
當限 五九、〇〇〇石 買方 廣海、以下十三店
中限 一〇九、七〇〇石 買方 小河以下十七店
先限 一〇九、七〇〇石 賣方 北川以下十四店

各地正米
大阪 中の島 五、六十錢高
東京 深川 一圓四十錢高

大阪期米
[illegible]

東京期米
[illegible]

神戶期米
[illegible]

堂島米況前場
【大阪二十五日發電通】昨日引け後の氣勢は東京高を受けて寄付中節七十九錢と一躍し同事と付けたるが期近拜盤に地場三品筋株式筋の買收り九十六錢と伸び利喰に一旦軟化したるが株式、綿絲の暴騰に買物殺到し後場は三十四錢と大浮動に大引

東京期米後場立會延刻
【東京二十五日發電通】東京は前場大商勢の爲め午後の立會は二時に延刻された

堂島前場先限兩建控除主なる手振
賣方 岡米一、八〇〇石森岡一、八〇〇高井、六〇〇山崎一、四〇〇北川、一〇〇〇太田、三〇〇〇
買方 小河五、一〇〇〇上田一、七〇〇〇中興一、〇〇〇伊藤一、〇〇〇太田三、五〇〇〇妹尾六〇〇

堂島前場先限主なる手筋
賣方 東京筋(岡米北川) 神戶筋

大阪市場も立會延刻
【大阪二十五日發電通】各地合場は一齊暴騰したので大商勢の爲め左の市場は立會中止又は延刻した三品、棉花、綿絲後場休會休業大阪株式取引所後場一時半より立會

東京株況前場
【東京二十五日發電通】前日米國勢メッキリ好轉の氣先を入れ更に寄付は化學、綿絲の五、六四割高と相當活況を示し寄付前場株を中心に大飛躍を示し時頭第一立會東株新四四、五十錢高、紡績五四八十錢方高騰し日紡新三四十錢高砂糖株は一、二四圓高し維株は暴騰的況で鐘紡、日魯、日產、日石一圓內外高第二立會に一段飛躍し鐘紡二圓除高、東株四四十錢、新六四十錢方保稅し熱狂的相場を演じた

株式

東京短期
[illegible]

東京長期
[illegible]

大阪長期
[illegible]

大阪短期
[illegible]

公債

東京銀行賣株
日銀 四三〇 同新三八、〇
正金 一四八、〇
臺銀 五〇、三 同新三一、八
勸銀 六八、〇 同新一六、八
鮮銀 五四、二 同新一二、七

東京國債
甲號五分利 九五、六〇
特別五分利 九五、六〇
第三五分利 九一、四五
第一四分利 八〇、七〇
第二四分利 八〇、八〇
二十八年物 九六、六〇
地方公債 一三七、八
滿鐵出來高 四〇〇一、二七五圓

爲替

神戶日米爲替
米日爲替 二三弗一八仙四分三
米英クロス 三弗四六仙一六分五
同 二三弗八分一買

銀塊

倫敦現物 一八片一六分一
同先物 一八片一六分三
紐育現物 一九仙七二
同先物 一九仙六五

砂糖

大連現物 一〇七、三〇 一〇五、一〇
同先物 一〇八、六〇 一〇六、二〇
玖 一弗一七仙

肥料

シカゴ小麥
九月限 五〇仙八分三
十二月限 五四仙八分一
出來高 五八仙八分五 三千萬ブッセル

神戶豆粕
▲前場
十二限 一、九三
十二限 二、八三

大連特產
▲前場
十二限 三、九〇
十二限 四、〇一

大阪棉花
九月限 六〇、〇〇 五九、〇〇
一限 九一、四〇 九一、九〇
一限 九〇、一〇 九一、〇〇

橫濱生絲

神戶市中相場
大豆現物 五、四〇 同先物 五、〇〇
豆粕現物 一、八二 同先物 三、九〇
硫安內國物 二、六〇 同外國物 六
五、〇 過燐酸 一五、〇五
米肉物 五、五五 麥粉百合 三、四二
骨粉 二、七〇 同上海物 二、七

大溪大湖の稗拔成績
新竹州大溪、大湖兩郡の本年第一期作の稗拔成績は左の通り
	大溪	大湖
作付面積	四、〇〇四甲	一、五〇七
除去面積	三、八〇〇甲	一、〇八三
除去數量	一、五〇〇	[illegible]
除去戶數	一、九八四	一、三〇〇

絲況

大阪綿絲
米綿二四九十錢高 限 綿 休み
[illegible]

大阪綿布

大阪清算
[illegible]

大阪現物
[illegible]

爪哇
[illegible]

スポーツ日本の姿

『寫眞說明』

上段(右)三段跳の王者!世界新記錄一五米七二を跳んで優勝せる南部選手(中央)と二等瑞典のスヴエンソン(左)三等の大島選手(右)

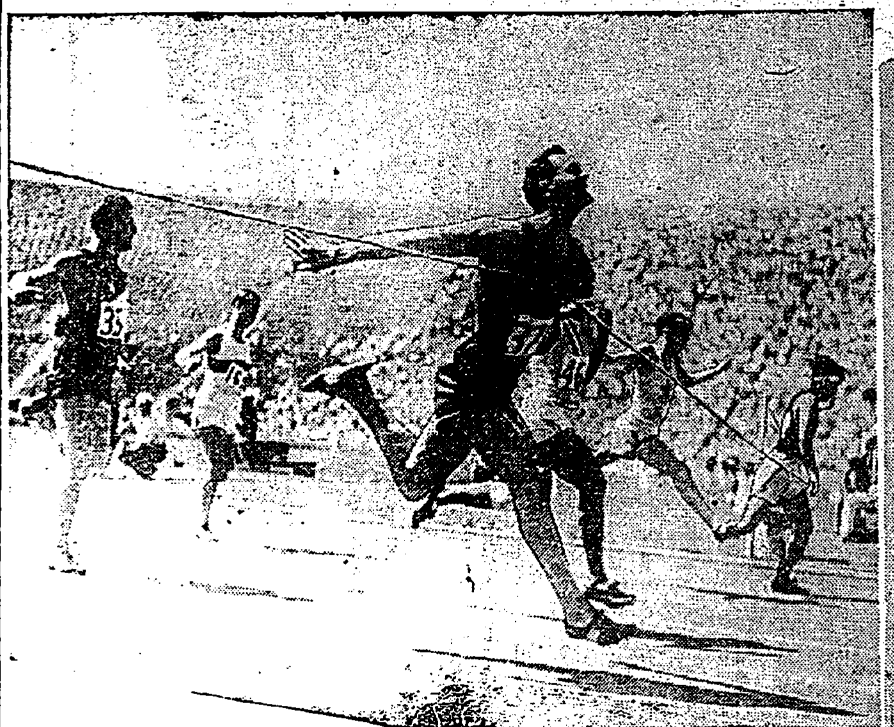
(中)メーンマストに日章旗翻る!三段跳に南部、大島兩選手一、三位を獲て二本の日章旗はメーンマストとサイドマストに輝いた

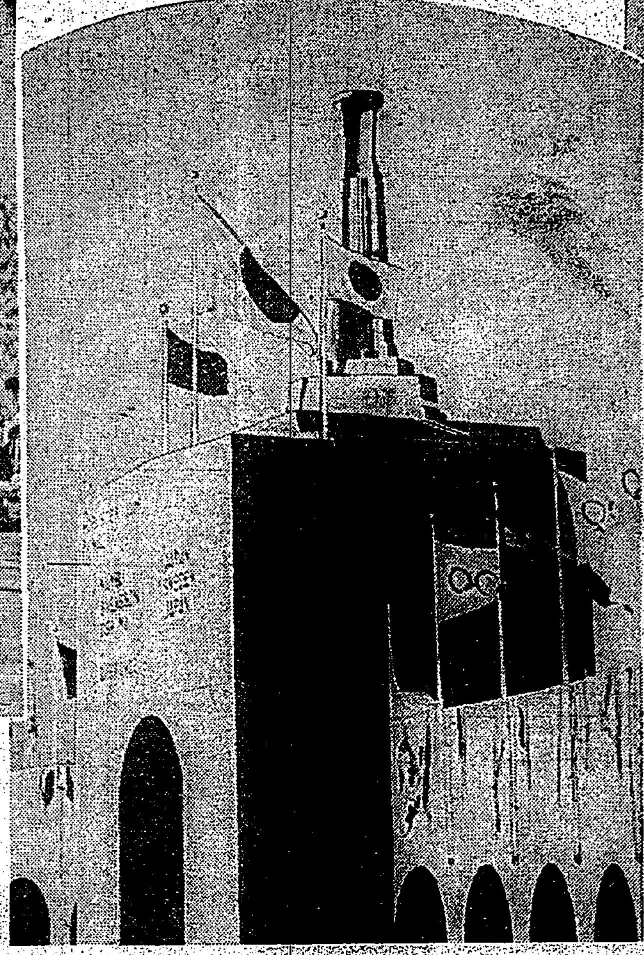
(左)誤審問題を起した日米準決勝のゴール——審判員は一着トーラン(米)二着ジユパード(南阿)三着吉岡(日)と宣告したが寫眞で見る如く一着は吉岡選手で既にテープを切つてランデングをしてゐる、若しジユパードを一着だとしても吉岡選手の二着は動かない、(46)のトーランは(37)のジユパード及びインコースの白い体番をした吉岡選手よりは遲れてゐる、三着のトーランが一着を宣せられるなどアメリカの審判も甚だ危いものである

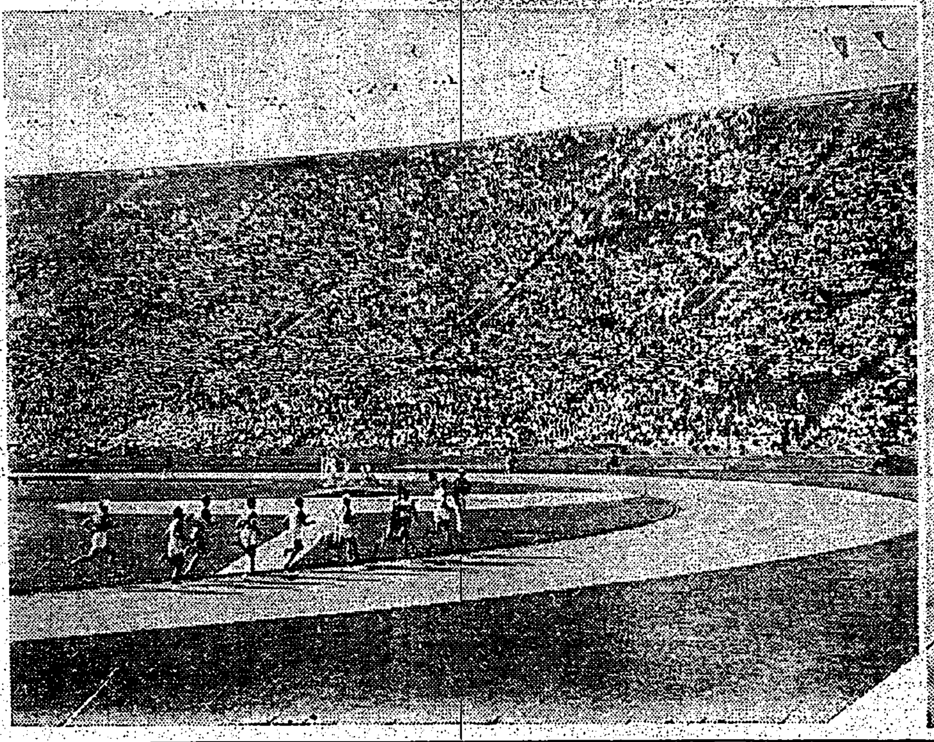
下段(右)棒高跳に四米二八を跳んで米のミラーとオリムピツク開始以來の激戰を演じた西田選手の見事な跳躍フオーム

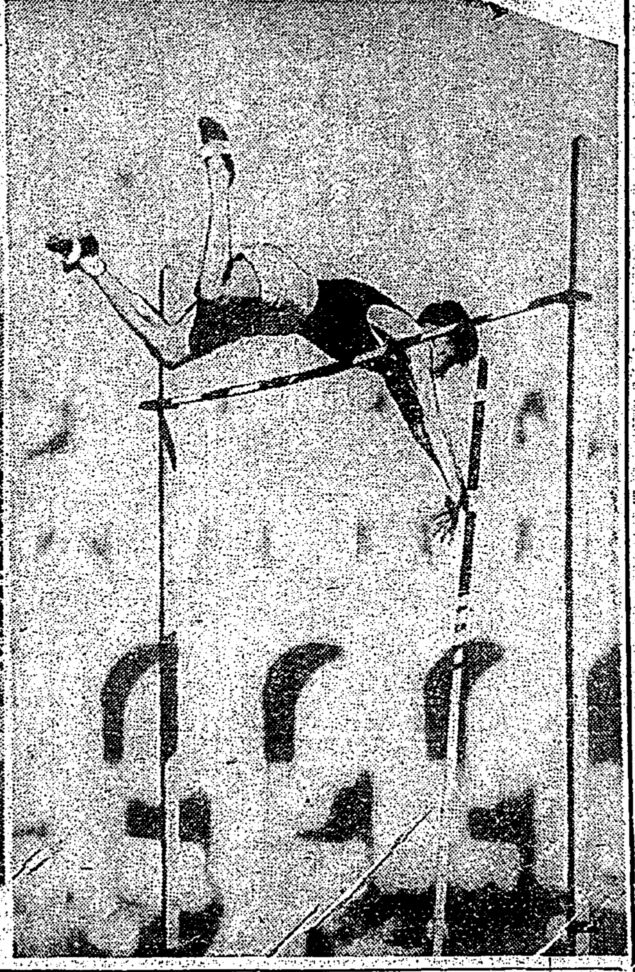
(中)五千米豫選‥先頭から五人目白手拭で頭を卷いてゐるのが北本選手

(左)世界ニユー・レコードを作つて三段跳制霸をなした刹那!南部選手の跳躍









曙光 (85)

生方敏郎作　中野修二畫

悲緣 (五)

春田は自分の家ながら、今日ばかりは閾が高くて跨げないやうに思はれたが、勇氣を振ひ起して玄關の格子を明けた。

茶の間には、はや姉の裁縫の教へ子たちが集つてゐたが、若い姪が走り出て來て中から障子を明けた。

春田は靴をぬぎながら、姉に呼びかけた。

「姉さん、只今ア。」

作り元氣の大聲で喚んだ。姉も障子ぎは迄出て來た。

「昨夜は、お泊りだつたね。」

「ええ、向ふへ著いたら、あんまり疲すぎて、歸れなくなつちやつたから、僕も警察へ泊めてもらひました。」

春田は、姉にウソをついた。ウソは決してつくものでない、と子供の時分、注親に敎へられたことを、この年頃まで實行してゐると、それが常に彼の內心の誇りだつたのに、今にして、その誇りは崩された。

「で飯は?」

「まだ食べたくない。途中でかんたんにすませて來ましたから。」

春田は、姉の敎へ子たちに顏を見られるのがいやさに、すぐ書齋へ入つた。澄江も姉に一寸挨拶して、春田について書齋に入つた。

春田は一人でゐたかつたし、また澄江が自分のそばへ來てゐることは、姉がよく思ふまいと考へたから、一層彼女に姉の室の方へ行つてゐてもらひたかつた。で。

「澄江さん、向ふへいつてゐたら何うです?」

と、いつたが、澄江は否で、姉の弟子たちがゐるのがいやだつたし、春田の側にゐたかつた。

「私がここへ來てゐちや、惡いの?」

と、きいた。

「惡いつてわけでもないが、姉さんの方へいつてゐた方がいいよ。」

と、春田は小聲で答へて、姉に惡いからといふ意味を目くばせしてみせたが、澄江にさつぱりそれが通じなかつた。

「でも私怒がるからいやだわ。」

と、いつて、机の上の雜誌の中から、一册抜き出して、膝の上に展いた。

春田も矢張机上の新聞をとつてしばらく讀んだが、落ち着かないので、記事がよく頭に入つて來なかつた。

「澄江さんは、手紙をまだ出さなかつたらうね?」

「ええ、まだ出さなかつたわ。」

「早く、出しとくといいな。僕も出す暇がなかつた。」

「でも、手紙なんか出しても、今更何うにもならないわ。」

「しかし、やつぱり默つてゐるのは、誤解のもとだからさ。」

「私誤解されたつてかまはない。」

「さうでない。誤解されると、姉が面倒になつて厄介だよ。すぐ書いて出さないか?その方が僕が書くより乾度效果があるから。」

「さうかしら?」

「ペンも封筒もここにあるから……」

と、いつて、春田は封筒まで添へて渡した。

澄江は、ペンをとつた。そして細かい字で、何度かクシャ〳〵書いては捨て、書いては捨てた。

「ああ、頭が痛い。」

と、いつて、澄江は遂にペンを置き、右手の指で額からこめかみのあたりを揉んだ。

春田は、その間、しきりに睡氣を催してきて、椅子に凭りデスクに凭れたままでしばらくうと〳〵した。そして。

「秀さん、困るかえ?」

と、姉の我名を呼ぶ聲に、目覺めた。

反響

◇麥酒王馬越恭平翁から一萬二千といふ大量注文いあつたのをキッカケに各方面の會社商店銀行から千、二千と續々注文をうけた野間清治氏の新著「榮えゆく道」は發賣後幾日にもならないが、スピード時代に拍車をかけた賣行きだ。

優れた子 美しい子を儲ける法
良い子 立派な子に育てる法

第二別册附錄

婦人俱樂部 九月号大奮發 附錄と三冊で五十錢

大評判!到る所で大歡迎の名附錄!

此の內容!

特別口繪

◆優れた子を儲ける配偶者の選び方
◆相性を利用して優れた子を儲ける法
◆優れた子供を儲ける受胎の時期
◆姙娠し易い時と姙娠し難い時
◆不姙の人が姙娠する法
◆安全な姙娠調節の法
◆男女兒を思ひのまゝに儲ける法
◆必ず安產する法
◆姙娠各月によるお腹の大きさ
◆信用出來る產婆の選び方
◆生れてから離乳までの育て方
◆顏目よくする育て方
◆姿を美しくする育て方
◆體を丈夫に鍛錬する法
◆子供の性質の見分け方直し方
◆幼な心の上手な導き方
◆良い習慣は斯うしてつける
◆離乳から學齡までの巧な育て方
◆賢くすんなり可愛く育てる法
◆氣持よく勉強する導き方
◆學用品の買ひ方小遣錢の與へ方
◆不良兒にしない導き方
◆天分の見出し方伸し方
◆小學校時代の子供の上手な導き方
◆研究心・進取の精神の養ひ方
◆油斷のならぬ病氣の容體と手當法

圖解實に四百餘種

第一別册附錄 ペン字 毛筆 女子實用習字帖

ポリドール朋用の蓄音機 三百台進呈の大懸賞

本誌は名記事、名小說滿載 實に素晴しい上出來!

本誌と附錄と二冊で五十錢 大評判ですから至急お求め下さい

大日本雄辯會講談社

顛覆した列車の下から 十四の死體發掘さる
富貴角燈臺の野澤氏一家は全滅か
目もあてられぬ惨狀

淡水線の顛覆列車は既報の如く二十四日午後四時二十分頃淡水郡竹圍驛間に於て顛覆し多數の死傷者を出した事は既報の如くであるが、電信、電話等全部の不通でその後何等の消息にも接し得ず同夜八時二十分小川鐵道部長、[illegible]課長、[illegible]技手等救援列車を仕立て現場に急行すべく出發したまゝ消息不明[illegible]鐵道部では盛んに

氣を揉んで
ゐたが二十五日午後一時に至り漸く臨時電話の架設を見、右の救援車は出水の爲め二十五日午前十時半頃やうやく現場に到著、左記十六名の負傷者が救出、北投の警察官、救護班、北投の[illegible]員數十名の應援を得て懸命の救援作業を行ひ現場に[illegible]官及び警察官の救出に努めた、[illegible]近の水島人住家に收容された負傷者、[illegible]部の下敷となつてゐる死體は十餘にのぼるべきこと判明した、鐵道部では[illegible]せんとしたが救援者不足で

現場に達
し得ず先づバラス列車を四距離にした後午後二時五十五分工夫數十名と急造した[illegible]とを乘せた第二の救援列車は發車した、淡水驛前の[illegible]行を強ひられ列車が現場に着いたのは五時十五分、先著の工夫、警官[illegible]と共に直に死體引揚作業を開始した、大體現場は西は一丈[illegible]下に淡水河を臨み東は一丈五尺の崖下に田圃をひかへた[illegible]であるが、午後四時二十分頃からの突風に機關車と最後の一輛を除く客車三輛が右一丈五尺の崖下の田圃に

もんどり
打つて顛落したもので附近は列車の屋根、[illegible]クッション、流木の破片がいたる所に散在し三輛とも車輪を上にして押しつぶされ死體は全く[illegible]を止めぬ惨狀となつてゐた

第一番に機關車の下から今元本長の死體が取出された、次から次へと、或は頭部のつぶれたもの、或はかたく合掌してゐるもの、或は鼻、口等より出血してゐるもの、皆土色にふくれたもの、小兒、婦人等恐ろしかつたものであらう、富貴角燈臺の野澤氏の子女らしい小兒二人が

抱合つた
まゝで掘り出された、一番小さい坊ちやんらしい幼兒の手を引いて野澤夫人が引揚げられた、恐死ぶものは[illegible]まりにもあはれなこの慘狀に同情の涙しい姿をさへ眼に浮かべてゐた、發掘された死體十四、傷狀はまさに地獄そのまゝと云ふべく立會ふ者皆目をそむける程であつた、こもに包まれて世にもむごたらしい十四の死體は救援列車で一應淡水驛構内の倉庫内に

安置され
淡水驛[illegible]檢視を終つて後午後九時頃死體はそれぞれ遺族に引渡された、激浪者の身元については未だ詳細には判明しないが木紙[illegible]切り同斷[illegible]に判明せる分は左の如くである

△野澤兵作氏(富貴角燈臺勤務)△同夫人 △同子女三名 △今木男(三)(鐵道部工夫)(原籍山口縣)現住所臺北市北門町二△松田芳雄(不明)△村上芳雄(不明)△[illegible]

幼兒の手を固く 握りしめたまゝ
掘出された野澤氏夫人

惨憺たる列車顛覆現場
(死體を掘出すところ)

負傷者氏名
負傷者十六名は何れも輕傷である氏名左の如し

[illegible]樹林△季王△王貿△蔡氏[illegible]△本島人男一名(氏名不明)△李[illegible]△[illegible](三)老梅公學校△(三)臺北驛技巧△王[illegible](三)淡水中學[illegible]△王[illegible](三)同△王東[illegible](七)新莊街[illegible]△李清[illegible](三)臺中州大甲郡大安庄△李清[illegible](八)同△吳成[illegible](三)淡水街三五△鄭江東(三)同△[illegible]

大音響と共に顛覆
生殘つて急を臺北に通じた
車長高澤謙君は語る

…顛覆の[illegible]死[illegible]を拔出した車長高澤謙君は語る

突然猛烈な風が來ましたアッと思ふ間に一大音響と共に後の三輛が右側田圃に落ち私の乘つてゐた車を殘して顛覆しましたさうで竹圍驛まで約二哩線路を走りつづけ驛に連絡しないものですから臺北驛に電話をかけましたところ大たいの要項を報告したところで電話が切れてしまひました、あの時は物凄い風でした、頭が ぼつとして何のことだかわからない樣です

鐵道部から 近く見舞金
鐵道部では今回の淡水線の顛覆列車遭難の死亡者に對して相當の見舞金を贈る事になつてゐるが、[illegible]の遭難者及び負傷者に對して相當の見舞金を贈る事になつてゐるが、尚ほ[illegible]部長は語る
その事は考へてみますが何しろやつと今死傷者の數が判明した樣なわけで、如何なる方法を取るかはまだ決定しません、副内とか内規もあることですし、一時も早く方法を決めて出來る丈の事をしたいと思つてゐます

北投庄△孫[illegible]林(四)淡水街三二八…

雨量六石五斗
山地は六百粍以上

颱風は北部地方を荒しまくつて廿五日午前五時頃新竹附近より大陸に入つた模樣で、臺北測候所は同日午前七時半暴風警報を解除した、いま暴風雨の經路を聞くに颱風が大東島附近からアジンコート方面に向つて進行中、臺北地方は西風が次第に吹き募り二十四日午前八時から強風となり風速十米以上に達し南東風力加はり午後六時より八時迄の二時間は颱風中心が本島北部に最も接近した時で二十米以上の烈風吹荒み最大風速は同六時より七時迄の二十一米八で風向は南西に變り

風向も
南に變つて二十五日朝は殆んど靜穩に歸した、雨は二十三日午後二時頃から降り始め初めは斷續的降雨であつたが二十四日午前一時から雨勢加はり颱風中心が接近した午後九時より十時迄の一時間の雨量二十八粍を記錄したが其後風力衰へると共に雨も小降りとなり二十五日午前十時二十分に至つて降雨止んだ、臺北に於ける此間の雨量は

二十三日　一粍六
二十四日　三二五粍八
二十五日(午前十時二十分迄)　二八粍三
計　三五五粍六

卽ち總雨量三百五十五粍六、一斗六石五斗で普通の雨量で中部として[illegible]アジンコート附近に來て更に勢力を增したので北部の山岳一帶に雨量殊に多く半地の約二倍六百粍以上降つた模樣で淡水河を始め

各河川
の增水甚だしかつたのもこれが爲めである、颱風の中心はアジンコート附近で七百十八粍まで降下し、臺北では四粍六を示し其後風の速さに從ひ漸次上昇して二十五日午前三時には七百四十四粍とたつた、今度の颱風は北東、新竹兩州下に限られ南部は風雨殆ど無事であつた、其雨は颱風中心に最も近く約五十哩の沖合を通過したにも拘らず雨量は臺北よりも少く二十四日午前五時より二十五日午前五時に至る一晝夜の雨量は百四十三粍を計上した

激浪に浚はれた二水兵
奇蹟的にも救助さる
梶も梨も無事基隆に入港
こんな難航は初めて……村上少佐談

【基隆電話】三艦チリヂリバラバラになりその所在を憂慮されてゐた第二十五驅逐隊のうち梶、梨の二艦は二十五日午後六時三十六分漸く基隆に入港第二岸壁に繋留した、午後七時頃錨されるのを待つて鈴木海軍武官、福田港務官、前原隊長等は司令官[illegible]艦に至り司令を訪ひ全員の勞苦を慰め出港までの艦隊の行動につき親しく打合せる所があつた

二艦とも
艦内水びたしで全員を悲壯の如く疲れ切つてゐたが、それでも約二晝夜に互る大激浪が漸く切抜け陸地に辿りついた嬉しさにホッとしたものらしく元氣に語り合つてゐた、分隊所屬の渡邊水兵は奇蹟的にも救助された[illegible]二十五日朝には梨の水兵が同じく激浪に浚はれこれ又救助されてゐる、悽愴大悲壯な談話を聞かせた、梶艦長村上少佐は左の如く語つた

本隊は二十四日午前八時頃までの行動は旣報夕刊所載の通りであるが、八時頃は丁度基隆を去る西北十二、三浬の

沖合で
陸地がボンヤリと見えてゐた、タマ〳〵本艦甲板上を往復中の中川三等水兵は激浪に浚はれるに至つた、三艦とも直ちにダイを放つて救出に努めた結果同水兵は竹の投げたダイに掴り泳ぎ初めたので本艦に風上に廻り三十分後に漸くこれを救助した、何しろ山のやうな波のあることとて目切から遭難者救助の見込はしてゐるもののこれが完全に

救助さ
れやうとは夢にも思つてゐなかつた、實に奇蹟と云はうか天佑と云はうか、かくて午前十一時天地晦冥、形容の言葉もない程の大荒れとなり周圍百米程しか視界がないやうになり激浪のため航行がグル〳〵廻つて航行の自由を失ふに至りつた、それから本艦は基隆を北東で三艦バラ〳〵になつてしまつた、それから本艦は基隆沖合から三浬位の沖に位置を確かめ時間と方向を打消しあてもなく泳ぎ初めた同日午後二時頃三紹角を東に廻つたことを

發見し
たのでそれより南に低氣壓の中心を避けつつスローで逆航、花蓮港の東方五十浬邊りまで行つた、午後五時頃

男女十四名 行方不明となる
慘死四名、金山庄の被害

【基隆電話】基隆郡金山庄の颱風被害は午後五時に至り漸く判明した
金山庄 本島人男一名、女一名[illegible]一名、本島人男八名、女六名行方不明、本島人女二名山崩のため壓死、住家全壞十二戶、浸水三百戶、漁船流失一隻、同流失……
雙溪庄 住家全壞三棟十戶、大破三戶、半壞一戶、橋梁流失六ケ所

激浪に
浚はれたがこれ…
…は梨の甲板で作業中であつた山田三等水兵が激浪に浚はれたがこれ又ダイを投げて十五分位で奇蹟にも救助するを得た、[illegible]北上する中二十五日午後二時頃山影を認め直ちに航路を修正して今朝く基隆にやつて來たのだ、實に言語にならない程の大冒險だつた、我が少佐任官以來艦長がバラ〳〵になるやうな暴風雨には未だ會つて遭遇したことはない

チョット雨が小止みになつた際本艦の東方三千メーター程の海面に梨の艦影を發見した、梨は本艦の打つた電報を傍受したものか或は本艦と同じ航路をやつて來たものか[illegible]にも一致したのでわる[illegible]二十四日午後五時頃基隆に向つた…近づいた二十五日午前八時今度…である

臺北州下の被害
臺北市内の浸水家屋
一萬五千五百餘戶
廿五日午後四時迄に判明の分

二十五日通信交通機關が漸次回復され被害狀況も明かになるにつれ颱風の被害は臺北市北部新莊郡等は甚だしく、四郡三市に於て多大の被害を[illegible]明するに至つた、二十五日午後四時迄に判明せる臺北州下各地の被害狀況は大略左の通りである

臺北市 浸水家屋一萬五千五百餘、家屋の流失六、家屋の倒壞三百八十餘棟、倒壞七百餘、倒木二百九十餘

七星郡 壓死者八名、負傷者二名、家屋の流失五、家屋の倒壞千三百三十、浸水家屋四千二百餘、床上浸水千二百、水田の流失及破損四十八、橋梁流失六

淡水郡 電話不通のため被害判明しなかつたが、颱風下の被害は不明であつたが、二十五日午後四時二十五分左の通り報告あつた
家屋の被害四百餘、船舶の流失七、同破損一、水田の浸水二十五甲步、電話線切斷三十六ケ所、橋梁流失二

基隆郡 家屋の被害四百餘、二十四日夜淡水公會堂の屋根完全に破壞された

文山郡 家屋の被害九十餘、浸水家屋百十三、電話線切斷六、道路崩壞一、田畑の浸水十五甲步、橋梁流失三

海山郡 家屋の被害百六十七、浸水家屋千九百餘、水田の浸水八百甲步、畑の浸水三百三十甲步、電話線切斷十一、橋梁流失一

新莊郡 家屋の被害四百五十餘、浸水家屋千百餘、壓死者一

蘭陽三郡 宜蘭郡の被害浸水家屋三百二十一、流失家屋五戶、(本島人男一名、水田の浸水千四百五十甲步、畑の浸水四百八十甲步) 電話線切斷十一、橋梁流失八、道路破壞十、家屋の被害二、電柱倒壞六、水田の浸水千甲步の外羅東郡蘇澳地に少しの被害あり、蘇澳郡の被害は殆どない模樣である

水害後の衛生に 御注意が肝要
宮川臺北州衛生課長談

暴風雨による浸水家屋は相當數に上り現在判明した所によれば其他の污水を除く殘水せしめチフス等の病原菌等の發生に就て極めて憂慮せられてゐる、右に付宮川臺北州衛生課長は語る
水害後に傳染病が流行を來すことは殆ど定石になつてゐる、豆乘チフスが加速的に頻發してゐる

一、浸水した家は床板を全部上げて床下を淸水で能く洗ひ流すこと
二、床下は能く乾かして後石灰を一面に土の見えぬ程度に撒布すること
三、浸水した品物は日光に能く乾し日光消毒を充分にすること
四、便所下水溝所は三十三倍のクレゾール水又は生石灰で隅隅まで消毒すること
五、飲食物には此際特に注意して野菜果物類は二千倍のクロールカルキで消毒して用ゐること
六、蠅、蚊、鼠族等は特に危險であること

調査報告書の 起草は完了
リ卿、聯盟事務局へ打電

【ゼネバ二十四日發電通】聯盟事務局はリットン卿より本日をもつて調査報告書の起草を終了せる旨の電報に接した右はタイプライターにて打たるゝ二百頁の本文と七百頁の附屬書より成れる膨大のものであると

切斷した高壓 線に觸れ卒倒
【新竹電話】新竹郡新埔庄北埔九番地[illegible]は二十五日午前八時半頃同地信用組合裏側の田畑に高壓線が切斷し垂れてゐたのを知らず進行中にふれ感電卒倒した目下手當中だが生命には別狀あるまいと

紅毛庄海岸に 死體が漂着
【新竹電話】二十五日午前七時頃新竹郡紅毛庄[illegible]海岸に三十歲位の本島人男の死體が漂著してゐるのを附近の者が發見した

豐作を豫想
全國の水稻作況
廿六日に發表さる

【東京二十五日發電通】農林省では八月一日現在の全國水稻作況を二十六日午後三時に發表することとなつたが豐作豫想の見込である

大和丸 神戶出港
【神戶特電二十五日發】大和丸は宗時出港したがソロ〳〵暑休明けも近く各學校とも何れも賑やかな顏觸れである、久しく臺灣に歸省中であつた三好茶苦米[illegible]、片山[illegible]博士も乘船した
三好翁は 久振りの歸省で四十日も居たが矢張臺灣がいゝ、もうブラ〳〵暑いのだからかなわらない、何しろ臺灣からはお客の有るのを充分したし、おまけに昨日は町の若い者が來て送別をしてくれ往時を偲んだし、もう思ひ殘すことなしだが、暫く〳〵一番の土產は今度は利兵衞の銅像が臺北に建てられることになつたことで何より嬉しいと思つてゐる
片山博士は 昨年からの懸案の移大で當地を辭去のための挨拶だ、私が居た時分から來い〳〵と云はれる行きたいと思つてゐたが昨今ブラブラ行くのも何だから行かなかつた、中川總督とも能く知つてゐる筈もゴルフも同じ位の腕だ、當たらずの外に仕事もないからゴルフの練習でもウンとして來る

豪雨を冒して リキリキへ
總督一行の日程變更

【大溪二十五日發特電】中川總督は二十四日大溪に一泊し、二十五日角板山に向ふ筈であつたが昨夜半より雷雨甚だしく林道不可能となつたので翻意、二十五日朝に至るも止まず途に角板山を斷念し大溪より直接リキリキに向ふ事となつたので總督一行は同日リキリキへ向つたのため乘用車を動かしての二十五日正午まで林道を進む筈である、一日位天候の樣子を見ると云ふ說も持上つたがかくてはどうかと云ふ譯で雨を冒して出發することに決し、二十五日はリヤリヤ方面に向ふ豫定で二十六日角板山を經由し一行は雨仕度となりズブ濡れとなる覺悟で午前八時雨をついて出發した

退營期繰上げ
【東京二十五日發電通】陸軍省では今回の陸軍第十八號に依り本年及び明年四月退營する在營兵(臺灣部隊以外の一般兵の退營期を十日間繰上げ、又本年十二月に明年一月及び六月に入營する一般兵の入營期を十日間繰下げることに決し、二十六日の官報で發令することとなつたが之は經費節約のためである

グロナウ大尉 コルドバー著
【コルドバ二十四日發電通】太平洋横斷飛行のグロナウ大尉は二十四日コルドバー(アラスカ)に到着した

田付、松井兩氏の令息重傷
【パリ二十五日發電通】ツール…

お褒めに預りたく 重大犯の共犯を裝ふ
鮮人の陰謀事件(記事解禁)

【長崎二十五日發電通】昨年十月熊本に於ける陸軍特別大演習に大元帥陛下御統監のため佐世保御著の際當時犯人の懷中手帳に由々しき犯罪計畫が記載してあるに驚き取調べると全國各地の鮮人と連絡し國に手配し逃亡者の逮捕に力め一種異樣な書類が發見されたが當局の嚴探に依れば同人は巧妙にも軍部に取入る爲め自ら不穩の計畫を企てたかに見せかけた大罪犯なる事が判明したる為めの犯人の共犯と裝ひ計畫を當局に知らせてお褒めに預らんとの魂膽から右の如く不穩文を記載したもので重大事件と無關係なること判明し長崎地方裁判所で懲役一年に處せられた

特產工藝品
合理的 製作と販賣
郷土特異の材料を以てした工藝品……値段の安いものでも……其の藝術的な雰圍氣に、情調ゆかしい地方色を現はして土產品にふさはしいものを製作して居ります
是非一度御來店御批評下さいませ……
臺北本町 生蕃屋本店 電話五一〇番
臺北宮前町 生蕃屋本店工場

北投庄内床上二、六九二戶、床下一、九五一戶、南投庄内床上五一、床下一、九七〇戶を算し飯池

妻安子儀病氣療養中之處本日午後時永眠致候間此段謹告仕候也
追テ葬儀ハ八月二十六日午後四時三十分自宅出棺同五時於テ臺北市…ニ於テ佛式ヲ以テ相營可申候
昭和七年八月二十五日
臺北市大正町五條通り
山田拍採
山田欽治
親戚代表 楊瀨軍之佐
鈴木茂

野球戰は中止
【高山電話】は二十五日夕刻に至るも淡水の海で二十六日の高松商業對臺北一中の野球戰は中止される由第二十七、八兩日の試合は未定

放送一部變更
二十六日午後八時半からの映畫物語の解說者は和田少佐を取消し三部宜に變更された

山田技師夫人逝く
總督府殖産局商工課技師山田拍採氏令閨安子夫人は久しく病氣臥中のところ本日午二十五日午後一時永眠した、葬儀は二十六日午後四時から三橋町葬儀場で佛式を以て營むと

安井博士夫人逝去
臺北醫院小兒科部長安井博士夫人は二十五日郷里にて逝去した旨通知があつた

特別廣告
日本最初のウエスタン式本格的オールトーキー
電化時代の現代化……
總指揮新派三(〇)大…
浪子
水谷八重子、大日方傳出演
愈明二十七日晝夜より
大公開 ❷世界館

合同義大夫大會
二十七日より二十九日まで三日間夜六時半から榮座で素人義太夫の合同演奏大會を開催する筈であつたが颱風影響の爲め延期されたので一般二十九、三十、三十一の三日間に延期された

大成青年團講習會會期變更
二十五日夕、淡水郡會主催大成青年團講習會は颱風中の爲二十九、三十、三十一の三日間に延期された

航空路開拓の英 探險隊長死去
【コペンハーゲン二十四日發電通】航空路開拓の英探險隊長ワトキンス氏一行の中グリーンランドに於ける測量中の隊長ワトキンス氏はカヤック顛覆し溺死した

專賣局で 新煙草賣出し 米國製キャメル
專賣局では今回米國製の新煙草キャメルを輸入し二十六日から發賣されることになり二十本入[illegible]十錢位を以て賣出すことに決定、同日一般に販賣中である

電に依れば、[illegible]日本大使館…非公式…中石…

漢文臺灣日日新報

知事任命有不該處
山本內相彈劾論又起
政友會內強硬主張

二十五日東京電。政友會內。永井拓相彈劾聲浪甚高。而山本內相亂彈之聲又起頭。預算案通過後。欲提出兩相不信任案。強硬主張。山本內相之彈劾。乃樺太長官時代曾惹利權事件之縣忍氏。任命爲大阪府知事也。

大阪綿絲砂糖株式
期米諸商品皆騰

二十五日大阪電。議會料必無事終了。美國財界回復途岸。昨後場激騰。各市場今朝大電。美國取引所株起八分五。美日低三十七仙四分一。美棉起二圓九十錢。人氣更旺騰。大阪綿絲(當限)起十圓六十錢。即百八十八圓六十錢。棉花起三圓十錢。爲五十九圓。砂糖清算起二十八錢。爲十二圓五十錢。定期米(先限)起百十五丁。爲二十三圓三十四錢。大阪株式短期鐘新起二圓七十錢。爲九十一圓。東新起八圓爲百五十六圓九十錢。大新起一圓六十錢。爲六十一圓二十錢。

日滿華各相依相援
貢獻世界平和
內田外相在兩院演說

二十五日東京電。二十五日議會。內田外相外交演說要旨如左。

滿洲國急激全發達。深爲同慶。帝國政府。認以承認新國家。爲使滿蒙事態安定。極東恆久的平和之唯一方法。故政府宜速正式承認滿洲國。於此決意之下。著々準備。右準備後。不日將實行承認也。

夫近年極東國際關係惡化之主要原因。乃因中國混亂。及排外的革命外交之遂行。列國皆被苦。然此其矯正。欲求聯盟其他。平和機關。實屬至難。乃知中國事情者所能首肯。滿洲事變。不外我國之正當防衛舉動。然此有謂不戰條約違反者。同條約非制限自衛權之行使。右日本之自衛行動。張學良政權。事實的解消。然滿蒙人。急避張家惡政。決然起而創設新國家。即滿洲國之成立。不外對於中國本部。獨立運動之結果。謂帝國承認此新國家。乃違反九國條約。不知九國條約乃前述如中國分離作用。即中國一地方住民。依自己發意。非禁止獨立國之建設。故日本之滿洲國承認。不抵觸同條約。又帝國於滿蒙。無何等領土的意圖。不須多言政府以滿洲國承認。爲滿蒙問題解決唯一方法。政府宜就左記二點。圖問題之根本的解決也。

一、其住民之正當要望充滿。且日本之權益確保。

一、建帝國地內外安住樂土。使極東平和。

二、排除情論。抽象論。以滿蒙現實爲基礎。期問題之解決。

然近時中國本部政權。依何等形式。俾與關係滿蒙以糊塗一時之解決案。有考慮此者。結局事件勃發前之情態。反復而已。徵諸多年經驗。乃不疑處。非日本所得承認。又中國本部政權之滿蒙進出滿洲國人不容認。明如觀火。反之。滿洲國建國宣言。對外聲明等。揭極公正妥當政策。殊如對外關係。以條約之義務履行。門戶解放其他正義及平和親善爲主。及諸其有實行誠意。故承認援助之。即依現實事態。造成滿蒙樂土。此乃滿蒙問題之恆久的解決唯一方法。滿洲國獻此建國純眞精神。孳々不已。即其前途實堪々也。匪賊之跳梁。財政難雖過大視似此悲觀論。不須贊成。余望滿洲國健全發達。成中國本部更生好模範。中國本部。內政紛亂。共匪跳梁。國民政府前途暗影。然排外排日不止。與列國之關係紛糾。助長國內紛亂。國民窮苦。不勝同情。切望中國反省。脫却誤謬對外政策。整頓內政使日滿華三國。爲各獨立國。相依相援。及早貢獻世界平和也。

美棉昂騰
昨夏來新高值

二十四日紐育電。美棉市場。新棉生育狀況不順。逐次昂騰。現物先物各限全部八仙臺。稍昨夏來新高值。現物起五十波引。先物起四十七乃至五十波引。即邦貨二圓九十錢。

紐育株昂

二十四日紐育電。二十四日紐育株式市場。接續道貨物輸送量增大之報。鐵道株起十三返引。諸株昂騰然主力株時食利。每呈軟調。引值稍貴。二十四日大勢稍昂。取引所株四十五弗八分五。即起八分五云。

滙水無底止
望對應策

二十五日東京電。滙水行情。二十五日因上海與實需。紐育美日滙水軟調。寄附對美二十二弗貫。二十二弗四分一貫。對英一志三片十六分三。乃至四分一貫。八分三乃至二分一貫。今者滙水前途。全無底止。要望緊急對應策具體化也。

不況打開
萬國博覽會
勸我國出品

二十五日東京本社特電。萬國博覽會。來年六月一日。將開於市俄古。此乃不況打開之世界復興博覽會。豫算二千五百萬弗。現今之爲替。值一億圓。現勸全世界出品。對日本代表亞爾巴陀博士。去十七日來朝。求各產業團體參加。說明其具體的計畫。結局牧野忠篤子爲會長之市俄古博覽會出品協會成立。二十四日正午。在帝國旅館會合。該博士求日本贊意。大略語左。從來世界博覽會。偏於西洋。東洋方面出品物有如附屬物之概。今回希東洋極東多數出品。余當其衝。若日本不盡力。則東洋關係不成問題也。

防止上海排日暴力
我陸戰隊增巡邏兵
虹口路邦人危險

二十四日上海電。血魂除奸團之排日暴力。且及於虹口路方面邦人。陸戰隊於二十四日。配置一個小隊於日本電信局。增加巡邏兵。對於邦人之暴行若勃發將執徹底的手段。午後陸戰隊。準備萬一時之徹底的手段。整兵配置。監視中國之停戰協定違反。邦人可以安心。有所聲明云。

組合銀行
減利協議

臺北組合銀行。向臺銀發表貸出減利。均決追隨。如三十四。華南。貯銀等各于二十四日實行。同時對預金利息減下。亦必欲實現。乃于二十三日。臨時合合。就減利協議。意見雖一致。唯減下率。將甲種。乙種銀行間。踏襲現行定利五厘或縮少。似有異議。然于二十五日定例木曜合席上。應有何等決定云。

艦艇乘組員水兵一名
廿四日晚被浪捲去
僅竹艦先入基隆港

馬公第二十五驅逐隊。因過暴風雨。無電不能連絡。一時蹤跡不明。此間驅艦乘組員水兵。浚出一名犧牲者。繼續航中。去二十五日午前五時半。竹號始入基隆港。午前七時半。繫于第三岸壁。該艦乘組員。皆不眠不休活動。身體疲勞。據當直將校談曰。去二十三日午後四時。由馬公出港。在澎湖水道。與北上艦。乘行驅擊教練。午後九時。北上艦向南日島。我等三艦。赴基隆。至二十四日午後七時。覺有風浪。同八時四十分。距基隆西北二十浬處。三艦協力。搜查可二時間甚高。在艦後船員室。與艦橋。亦不得連絡。乃中止搜查。赴基隆。同十一時頃。風雨更烈。不辨咫尺。一番艦係艦。二番梨三番係木艦。同時均不見一二番艦。木艦經基隆海面。至蘇澳附近。午後九時。始判明位置。今朝幸得入港。又分離之梨。兩艦。昨晚六時。在距花蓮港東北五十浬處相逢。不久當能入港也。

米移入管理案
不能提出臨時議會
當場時米價悲觀

二十五日東京電。大藏拓務兩省間折衝中之植民地米移入管理法案。因關聯滿洲粟關稅加外。植民地米買上財源諸難問不解決。該法案不能提出臨時議會。不得不依低資融通之窮餘米現地保管。而成或見有秋。米價實難維持也。

高橋藏相轉向於
滙水統制方針
鑑於輿論不可放任

二十五日東京電。滙水前途。高橋藏相及政府方針。皆取放任主義。然最近議會並財界方面。多非議之。高橋藏相。於檢視態度。命大藏當局。調查滙水統制策。大藏意向。今不能即使滙水安定。且須再落然後安定。爲此今議會應不及。先取左記方法。意見一致。

一、買上產金不現送。全部寄積於日銀。

二、內外市場。務買上外貨資金。於政府保有之。藉此寄積五箱資金。俟滙水落至適當之點。乃使用而使其安定。而關此法律案。將提出今議會。又買上產金。寄積日銀。設特別會計。其損失由國庫負擔。

屏東海豐方面
湧出白水
姙婦難產前兆

屏東郡海豐方面。去二十二日。突然起大旋風。前日地下湧出白水。於是同地老幼。均言白水。將有姙婦難產。旋風爲大洪水前兆。相傳遠近。當局聞知。出爲取締云。

臺北州納稅
延至月末

本年度前半期戶稅及雜種稅。納入期限。至去二十五日。臺北州當局。鑑于此回暴風雨害。一般皆忙于被害後之整。故特將納期。延至月三十日云。

萬華河岸酒場主
不聽南署注意
致罹此次慘事

萬華河岸第二水門附近酒場(浮船)沈沒。溺死十名一節。已如前報。關此南署一邊。如左。第二水門之危險。衆人所共知。是故二十四日午後二時。由有明町派出所。以電話注意。該酒場主人。答以是船繫留。有以特種方法。自得無事。但風雨猛烈。危險益加。乃再注意之彼仍答婦女使全部避難僅留男四名於船內。且有不論何時。皆得避難之準備。及至午後五時半。中原警部補。赴到現場之時。電話既不通波浪殊高。船體動搖。言語全然不明。終竟不得救出云。

總督巡視
馬公日程
按乘壹岐丸

中川總督。巡視東部。經四重溪。由高雄乘壹岐丸。按二十七日午後五時。抵馬公。上陸第二棧橋。參拜臺灣神社。同十分抵澎湖廳。訓勵。接見官民。聽取廳長。報告概況。同五十分在廳會議室。招待地方重要官民開茶話會。同六時十分。抵松島紀念館。翌二十八日。午前七時。視察媽祖廟。觀音亭其他。參拜陸軍墓地。同八時五十分。訪要港司令部。同九時二十分。發當地。經文石書院。視察馬公街。聽取三浦街長說明。同十時五分。訪要港司令部。同二十分。抵記念館少憩。同五十五分。由第二棧橋乘軍艦北上。向高雄。又廳長代理坂警務課長。先於二十五日赴馬公。迎接總督一行。

時評

○各地暴風雨慘報。次第發到。爲害之劇。使人酸鼻。

○此去人智進步。天災地變及諸不測之害。務努力使之減少。

○暴風雨後。大掃除法宜急施。其他衛生亦不可不講。勿令時疫發生。

○爲臺民代表上京之臺米陳情團一行。林郭謝三氏負傷。且願其及早全念。再策再勵。以完使命。

○請願確保農民生活權。十二府縣之代表。定必語々沈痛。

○國以農爲本。農村疲弊。皮既不存。毛將安附。

○農村罷弊。官民及資本階級。非不知之。知之而不爲根本的救濟。亦等於不知也。雖然農村自身。亦要謀自力更生之道。

○滙水維持二十二弗。以不再落爲宜。同時貿易之輸出。宜設法有以促進之。

○汪張之確執兩旬。畢究是一場戲劇。戲劇之人物。比較的容易下臺。惟今日之上演者。則容易不肯下臺。欲後鄧五作相。時事可知。然鄧五者。能自勇於下臺之一人也。

○暴風雨害。警官之警戒活動。居第一線。甚至有殉死者。平素一官之綱紀要肅正。人材要登用。同時對於殉難者。宜有以慰撫其死後也。

臺米陳情委員團
歷訪各方面陳情
三氏受傷各免憂慮

臺灣米制限反對陳情。吾等京中陳情團。去二十四日夜十時。有電達本社如左。吾等陳情團。本日午前八時半。訪問鈴木政友會總裁于麹町私宅。如前日述臺灣米使命及特質。而望置于統制圈外。又就將來植民地米統制。切望考究。有理解對策。總裁亦爲體諒。吾等直于民政黨本部訪問若槻總裁不遇。乃到衆議院。求面會。代理總裁之松田總務。與武富總務同聽。吾等詳述。而回答以就臺灣米。在拓務省時經爲研究了解。政府將提出何案雖未可知。然對諸君之望。務爲十分盡力。一同大喜。午前十一時。于大藏省。訪問大臣。而不能面晤。堀切政務次官代爲會見。吾等陳情「米穀統制案若爲全國的。勢當及于植民地亦買上。故希時或依特別會計法之改正。如內地米之買上法。于中央政府爲買上手續」。次官答以關係者尚無何等正式要求。故不能確答。然于陳情理由。則十分採聽之。

歸途欲對元總督府總務長官諸氏表敬意。引歸督府出張所途中。在衆議院前。自動車衝突。三氏受傷。謝大江氏治療約一週間。郭廷俊氏三日間入院日比谷病院。林獻堂氏輕傷。在丸內旅館靜養。謝大江氏眼瞼裂傷。及胸部打撲。各見元氣。不須憂慮云。

新店溪
水漲十尺

文山郡一帶。自二十四日朝。天氣遽變。遠近山村暴風猛雨。溪谷汎濫。新店溪水漲十尺。至午後四時半。各地交通杜絕。新店住民。且觀溪水增漲甚急。因憶過去數次水災之慘。早有豫備逃難者。一時大嘩。至午夜以來。風始靜。水勢漸退。翌二十五日朝。汽車乘合自動車仍舊交通。此次多爲風害。人畜產物之被害數。詳俟後報。

竹東蕃人見學

竹東郡下。斗奈詩社蕃人青年會員。一行十八名。由馬武督於八月二十三日早。副熱行事。至竹山。觀察水道水源地。及農事試驗場等處。在新一泊。翌二十四日。參拜新竹神社。併視察香山苑附屬田圃。薄暮再行車歸社。

松山暴風雨夜
家屋倒壞壓死六名

二十四日暴風雨。松山庄全街黑暗。入夜十一時。松山庄松山二百四十五番地之二家屋一軒崩倒。壓死三名。負傷者三名。又同庄五分埔百四十七番地。住宅崩倒十戶。壓死三名。負傷者十名。慘狀莫名。二十五日早。警官青年團等。努力搬出死屍。救助負傷者。又庄內被害。住家全壞五十戶。半壞二百戶。浸水六百戶。避難民八百餘名云。

警報解除
颱風入大陸

臺北測候所。二十四日午後六時四十七分。發表暴風警報第七報。颱風中心更加勢力。通過北方五十浬海上。二十五日午前七時半。全島警報解除發表如左。第一、二、三區。警戒解除。颱風中心。在北緯二十七度。東經百二十度之邊。勢力稍衰。七百三十耗。進行西北西向。二十五日午前五時。由福州附近。入中華大陸。天候漸得回復。

基隆市
雨害續報

基隆市暴風雨害。其後至判明者。爲明治町三丁目二十五番地林省氏煉瓦五十四。爲隆家煙筒崩倒。負重傷。第一小學校後高等小學校々舍一棟崩倒。又此外各學校亦有被害。基隆神社假拜殿崩壞。蔥拜殿大破。西町派出所管內浸水家屋西町三百戶。觀音町五百戶。寶町五百戶。羅漢氏三千六百人。調查結果。要炊飯救助之人。約六百戶。千七百人。二十五早。市役所炊飯配給云。

平溪線不通
損害額調查中

月二十三日夜。襲來之暴風。至二十四日午後十二時頃始靜。各庄內蒙損害額不少。其中平溪線。自二十四日起。交通杜絕。目下極力復舊工事。其他家屋倒壞。田園及家屋浸水。貯炭場石炭流失。炭坑內浸水崩壞。道路故障。基隆溪底砂金探洗全部受阻礙。詳細並損害額。目下正調查中也。

嘉電拒絕降價要求
需要者將開大會積極行動

既報嘉義電燈降下問題。由昭和新報主催。於七月五日。在公會堂。開期成座談會。要求會社。將現下料金降下三成。乃實行委員。與之交涉。至本二十四日。接到同社鈴木支配人答覆。云難應此要求。於是昭和新報社長徐乃庚氏。訂九月一日。將再集諸實行委員。再一番確商。然後開點燈者大會。入積極的運動云。

華銀貯銀
實行貸出減利

華南銀行。追隨二十四日臺銀發表。貸出利率改正。亦決對各種別。日步減下一厘。又貯蓄銀行。亦隨就同依及有價證券擔保。實施減下。二十四日。內地東西貯蓄銀行組合。決定實施減利。以後俟島內組合銀行態度決定後。擬同時實行減下云。

臺北米庫組合
屋蓋吹去

大稻埕驛構內之米庫利川組合所有倉庫。屋蓋被風吹去。在庫米三百袋。皆被雨所浸。於是米穀商組合長黃金生氏。及同理事黃水沛氏。就借倉庫及乾燥等。講究對策。

沖繩茶市
包種有望
已出一年分

本島包種茶之移出沖繩方面。一箇年十萬斤。而與華茶競爭。本年因對輸入品。課關稅十成。重以最近滙水關係。輸出不利。沖繩現在華茶不能輸出。遂以臺灣茶。獨占舞臺。故最近對沖繩移出茶。益見隆盛。本年上半期。已達十萬斤。以數量觀之。已移出例年之一年分。長此以往。本年中對沖繩移出茶。至少按有二十萬斤其移出該方面。爲包種茶下等品。然際此茶業界之不振。乘此機會。于沖繩推廣消路。殊爲茶業界慶賀也。

暴風雨中
厭世縊死

臺北市下奎府町二丁目二十四番地林五嫂。年五十一。去二十四日午後十一時。乘暴風雨夜。縊死於自宅寢室。被家人發見。原因爲久病貧苦云。

汐止街茶農
組改善會
爲合理經營

臺灣銘茶產地之汐止街。近年來產額激減。茶農者轉耕作物續出。蓋因地處急傾斜。表土流失。且茶農甚難資金。對此毫不加考慮。復因昨年來。茶況不振。至破生產費。以近茶農陷于極度生活難。及茶農者。不愛其茶。使然也。然茶況爲世界的。不得不任其大勢。一面非茶農者自決。則此一兩年間。茶園大部分。行見荒廢。而茲起山間農村之一大問題。故臺北州。自本年度。配置專門技術員。爲積極的指導獎勵。者番以街下白鮑湖諸康坑十三分茶業公司爲中心。網羅茶業有志者三十名。組織茶業改善研究會。卽來二十九日午後一時。于白鮑湖茶業公司內。由州郡多數關係者臨席之下。舉行發會式。而第一期事業。爲茶園合理的共同經營。管理。栽培。製茶研究。販賣改善。研究發表等。

拘忤逆子
膽敢毆傷生父

不良青年蕭俊英。年二十二。嘉義市西門町人。昔於本年六月中毆傷其實父蕭過枝。年六十五。逃走中。月二十三日下午十一時。在同町遊廓近附。徘徊中。被嘉署防犯係捕往。即由鈴木司法主任。依違警例。拘留二十天。

臺北市內
腸疾患者
每日平均一人半

臺北市腸疾。最近急見猖獗。自八月一日起二十三日間。發生有三十五名。一日平均。約一人半強。較前年八月中三十二名。增三名。而至月末。恐少亦有十餘名。又現在入院患者。六十四名。市衛生當局。希望市民注意飲食物云。

義民廟祭典自動車
自背後撞傷行人

新埔參軌合就運轉手久保川。月二十一日早。由新埔向枋寮。操縱義民廟祭典臨時自動車。駛至旱坑子橋附近路上。由背後撞倒行人劉福銀。使之耳下負裂傷。胸部受打撲重傷。目下陷于危篤。

宜蘭

肥料營商

宜蘭肥料商組合。去二十一日午後八時。於中北街該組合事務所。開役員會。協議事項爲組合費徵收。及脫退者取扱方法。總會期日。按九月下旬九時過閉會。

審查員會

宜蘭街店鋪裝飾競技會。自本月二十二日起。十日間實施。是會以小池家北州新聞主宰爲審查長。外屬託內臺各界人士三十名。爲審查員。去二十二日午後七時半。在街役場。開委員會。協議審查方針。有種々議論。結果依昨年方法。任審查員選出採點者。外有臺北州山郡中之後藤保之輔氏。就其實地審查感想及評論。以資採點上之參考。十時閉會。

瑞芳

定期召集

瑞芳臨時憲警察職員。去二十三日。定期召集日時。受瑞芳警察。表彰昭和七年度犯罪檢擧。民情視察。報告期限勵行成績優良者如左。

▲犯罪檢擧。瀨戶口。洪炳松。山巡查。

▲民情觀察。湖上。林。中山巡查。

▲犯罪檢擧並民情視察。張巡查。

▲報告期限勵行。瑞芳監視區[illegible]

炭夫重傷

瑞芳庄猴硐人。吳阿頭。年三十六。月二十二日後三時半。在瑞芳炭坑。距坑口約二百米地點。有六十斗四力之捲揚機。逆解下降。空炭車。陷入米不省。應急醫治後。昇入基隆市久保醫院治療。

斗六

移管完了

斗六街民所期待之斗六街元專賣局酒工場用地。及諸建物。編入于街有財產問題。依專賣局之方針。欲移管於臺南州。然後再移於斗六街。管理處分雖經種々手續。至今未得實現。爾後由介內郡守懇請古川助役等。極力交涉。結局得其斡旋。月二十二日。有專賣局及州各派職員數名來斗。實地引繼。[illegible]

率先栽培

斗六郡達來斗六郡溪米之栽培。逐年增加。然知溪于其方面之壽民則未見有栽作者。此回有溝子坑青年團員黃朝棟氏。率先栽培。故川溝青年團諸氏。對一般農民宣傳。

校長例會

斗六郡小公學校長月例會。二十二日午前九時。開於郡役所樓上。是日提出協議事項爲關於州聯合青年團結團式。及學校職員青年團員陸上競技出場之件。關係選手練習。昔年國產業指導。補習教育實施。關係成績品巡迴展覽之件。國語普及諸件。議至午後一時散會。

乞食取締

斗六街方面委員。對于乞食取締。甚然嚴重。街之乞食俱集北港。然際此乎中元普度。恐再出外方而來。街之方委務能是團與氏。去本月二十二日夜到斗六女子團體所。對于請警生宣傳補當局。對乞食之方針。說使各人不可惠與金品於乞食也。

北港

組織研究

北港街社諸有志。組織研究會。聘北港金池故同社元老李要兩氏。就館教授。擇來古曆二十六日開館。

舉行秋祭

北港[illegible]。定來古曆八月十二日起三日間。照左記順序。舉行秋祭。十二日午後[illegible]

趙子龍玉印

成都有靜遠巷。[illegible]主人胡某。家小康。宅後有空地一畝許。胡親自闢植花木於其中。近在園之後角。掘至丈餘處。挖出鐵匣一個。約五寸見方。胡即啟閱。內貯一玉印。直徑約二寸許。虎頭爲把。上刊篆文爲「常山趙雲」四字知爲三國遺物。珍爲拱璧。親友聞訊爭往觀看。有好古者出價一千金之高。易之。胡不肯。茲表示。將以之攝成影片。並陳列於教育館內。供衆觀覽云。

雜談

詩壇

江村雜詠 笑儂 楊樹德

子婦丁男打稻忙。方知食力異尋常。誰憐穀賤如今日。負々徒呼亦可傷。

釣蛙村落趁相將。蒔秧携竿繞水田。我也追來郭外。否他妙技一嫣然。

放鴨誰家亦可觀。綠陰如幄夕陽殘。盤飧山解相扶助。覓餌遍溪結隊[illegible]。

荒鼓聲聲入耳喧。傳聞社祭宴雞豚。誰知詞客偏閒慣。獨自行吟郭外村。

[illegible]衣中間。客舍淒清覺十分。明月當窗人不寐。臥看[illegible]成紋。

江村蓑笠輕經年。無補於時極自憐。但得吟懷頭且健。滄山樓水亦欣然。

曉步

一鉤殘月尙朦朧。幾處村家淡霧中。嘹鳥樹梢啼乍起。尋詩人在板橋東。

曉步一味清冷。釋詠諸作。得菊中覓步。時聞鳥聲之候。羽客漫評。

英美滙水 廿五日

英美滙水	三弗四六仙一六分五

銀塊行情 廿五日

倫敦現物	一八片一六分一
同 先物	一八片一六分三
紐育現物	二八仙二五分
同 先物	二九仙七二分
大連現物	一〇五四〇圓
同 先物	一〇六四〇圓

對外滙水 二十五日臺銀發表

倫敦電信	一志二片四分三
紐育同	二二弗四分一
孟買同	八二留比
新嘉坡同	一八七圓
爪哇同	五四盾
馬尼剌同	二〇〇圓
上海(參着/區着)	六六兩二分一 / 一〇六[illegible]
漢口參着	五八兩二分一
福州同	一〇四圓二分一
廈門同	一〇四圓二分一
汕頭同	一〇四圓二分一
香港同	一一一圓二分一
廣東同	一一一圓二分一